

市 民 意 識 調 査 等 報 告 書

(概要版)

平成27年8月

掛川市

目 次

1. 市民意識調査	1
(1) 調査概要	2
(2) 集計結果	3
2. 高校生意識調査	33
(1) 調査概要	34
(2) 集計結果	35
3. 転入者理由調査	53
(1) 調査概要	54
(2) 集計結果	55
4. 転出者理由調査	61
(1) 調査概要	62
(2) 集計結果	63
5. 転居者理由調査	69
(1) 調査概要	70
(2) 集計結果	71
6. 結婚・出産・子育て意識等調査	77
(1) 結婚・出産・子育てに関する市民意識調査	78
(2) 「子育てと仕事の両立環境整備事業」にか かかるアンケート調査結果	111

1 . 市 民 意 識 調 査

(1) 調査概要

- 1 調査目的

我が国は2008年をピークに人口減少が続き、この状況が続けば「人口減少が地域経済の縮小を呼び、地域経済の縮小が人口減少を加速させる」という負のスパイラルに陥るリスクが高まる。

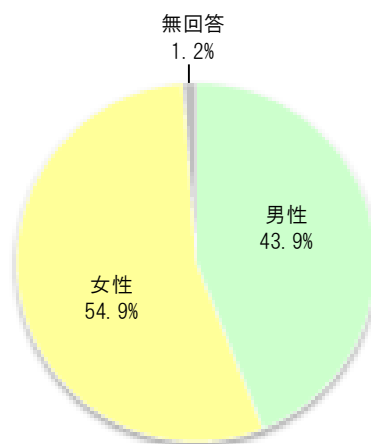
掛川市の人口は、2010年で116,363人となっているが、国立社会保障・人口問題研究所によると、2040年には10万人を割り込むと推計されており、人口減少問題への対策が急務となっている。

この問題に対応し、かつさらに掛川市を発展させていくため、掛川市では今後の掛川市の中長期的な市政運営の指針を示す第2次掛川市総合計画（掛川市地域創生総合戦略）の策定を進めている。

市民サービスの向上と着実な行政運営に活かすとともに、第2次掛川市総合計画（掛川市地域創生総合戦略）の策定に役立てるため、市民意識調査を実施する。
- 2 調査対象 掛川市内在住の満20歳以上の男女（平成27年6月1日現在） 2,500 人
- 3 抽出方法 男女比1対1かつ年代を20歳代から70歳代以上の6階層に区分し、それぞれの割合をほぼ均等とした上で無作為に抽出
- 4 調査方法 郵送による発送・回収
- 5 調査期間 平成27年6月19日～7月2日
- 6 回収結果 1,348 票
- 7 有効回答数（率） 1,348 票 （ 53.9% ）
- 8 報告書を読むに当たっての留意点
 - ・ 回答比率は全て百分率で表し、小数点第1位または第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならないことがあります。
 - ・ 複数回答の設問では、回答者数を基数としているため、百分率の合計は100%を上まわります。

問1 あなたの性別について、次の中から1つ選んでください。

選択肢	件数	比率
1. 男性	592	43.9%
2. 女性	740	54.9%
無回答	16	1.2%
計	1,348	100.0%

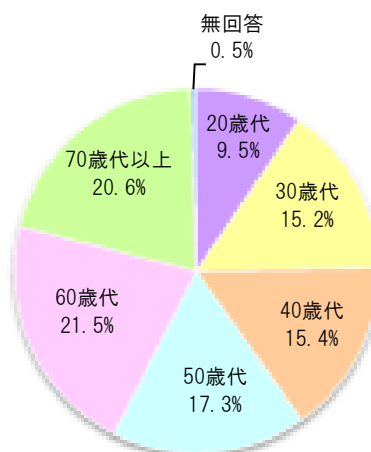


回答者の性別は、「男性」43.9%、「女性」54.9%で女性がやや多くなっている。男女比は例年の調査とほぼ同様であり、女性の回答率のほうが高い傾向にある。

問2 あなたの年齢について、次の中から1つ選んでください。

選択肢	件数	比率
1. 20歳代	128	9.5%
2. 30歳代	205	15.2%
3. 40歳代	208	15.4%
4. 50歳代	233	17.3%
5. 60歳代	289	21.5%
6. 70歳代以上	277	20.6%
無回答	7	0.5%
計	1,347	100.0%

複数回答による集計除外1名

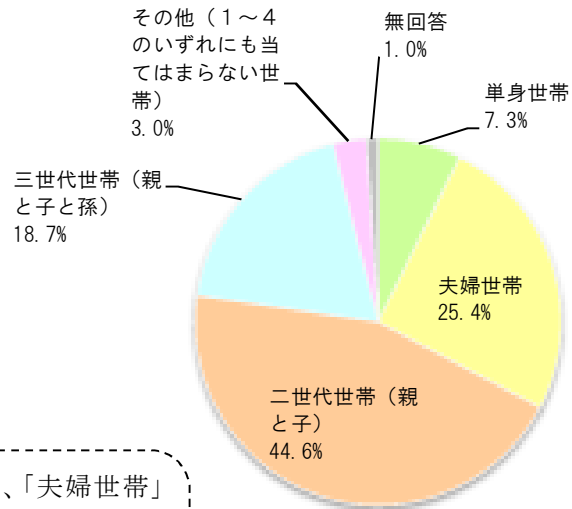


回答者の年代は、「60歳代」が21.5%で最も多く、次いで「70歳代以上」20.6%、「50歳代」17.3%となっており、もっとも少ない「20歳代」は1割に満たない。

若年層「20歳代・30歳代」が24.7%、中年層「40歳代・50歳代」が32.7%、高年層「60歳代・70歳代以上」が42.1%と、高年層が4割を超えており、これまでと同様に、本調査結果には高年層の意向がやや強く反映されていることになる。

問3 あなたの家族構成について、次の中から1つ選んでください。

選択肢	件数	比率
1. 単身世帯	99	7.3%
2. 夫婦世帯	342	25.4%
3. 二世帯世帯(親と子)	601	44.6%
4. 三世帯世帯(親と子と孫)	252	18.7%
5. その他(1～4のいずれにも当てはまらない世帯)	40	3.0%
無回答	14	1.0%
計	1,348	100.0%

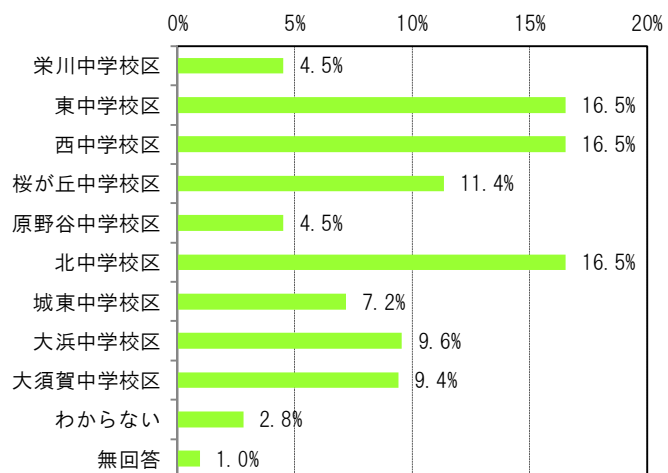


回答者の家族構成は、「二世帯世帯」44.6%、「夫婦世帯」25.4%、「三世帯世帯」18.7%となっている。

「三世帯世帯」については前年調査の22.4%から3.7ポイント低くなっており、核家族化の傾向がより強まっている。

問4 あなたのお住まいの地区(中学校区)について、次の中から1つ選んでください。

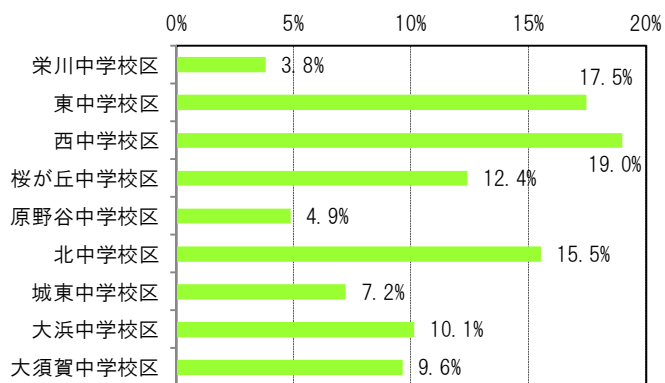
選択肢	件数	比率
1. 栄川中学校区	61	4.5%
2. 東中学校区	223	16.5%
3. 西中学校区	223	16.5%
4. 桜が丘中学校区	153	11.4%
5. 原野谷中学校区	61	4.5%
6. 北中学校区	223	16.5%
7. 城東中学校区	97	7.2%
8. 大浜中学校区	129	9.6%
9. 大須賀中学校区	127	9.4%
10. わからない	38	2.8%
無回答	13	1.0%
計	1,348	100.0%



回答者の住まいは、「西中学校区」「東中学校区」「北中学校区」の3中学校区がそれぞれ16.5%で、他地区に比べ高くなっており、この3中学校区を合計すると、全回答者の約半数を占める。

■掛川市 中学校区別人口（H27年6月末日現在）

中学校区	人口	比率
1. 栄川中学校区	4,464	3.8%
2. 東中学校区	20,517	17.5%
3. 西中学校区	22,329	19.0%
4. 桜が丘中学校区	14,568	12.4%
5. 原野谷中学校区	5,712	4.9%
6. 北中学校区	18,237	15.5%
7. 城東中学校区	8,479	7.2%
8. 大浜中学校区	11,898	10.1%
9. 大須賀中学校区	11,323	9.6%
計	117,527	100.0%



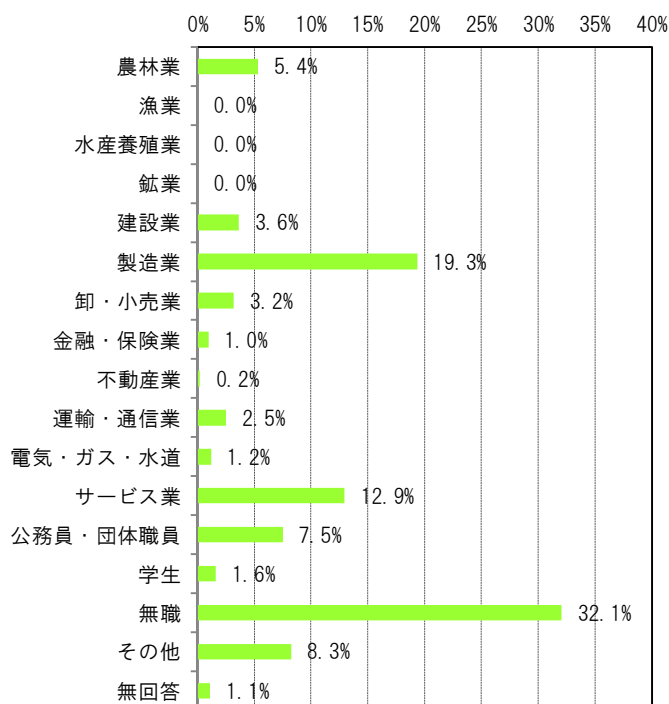
回答者の住まいの比率は、掛川市全体の中中学校区別人口（平成27年6月末日現在）の比率と

比較して、若干の高低はあるものの、概ね似通った構成となっている。

問5 あなたの職業(職種)について、次の中から1つ選んでください。

選択肢	件数	比率
1. 農林業	72	5.4%
2. 漁業	0	0.0%
3. 水産養殖業	0	0.0%
4. 鉱業	0	0.0%
5. 建設業	49	3.6%
6. 製造業	260	19.3%
7. 卸・小売業	43	3.2%
8. 金融・保険業	13	1.0%
9. 不動産業	3	0.2%
10. 運輸・通信業	34	2.5%
11. 電気・ガス・水道	16	1.2%
12. サービス業	174	12.9%
13. 公務員・団体職員	101	7.5%
14. 学生	22	1.6%
15. 無職	431	32.1%
16. その他	111	8.3%
無回答	15	1.1%
計	1,344	100.0%

複数回答による集計除外4名



【16. その他の記入内容】

件数	記入内容	件数	記入内容	件数	記入内容
33件	医療・福祉関連	各1件	会社員	各1件	自由業
各6件	教育・保育関連		事務職		トレーダー
	パート		環境分析		ホテル清掃
	主婦		車部品の検査		休職中
各2件	造園業		塗装業		専従者給与者
	シルバー人材センター		内職		ガソリンスタンド
	飲食関連		熱供給業		レンタルリース
	広告業		物流		事務所経営(土業)
	住宅等設備関連		(空白)		ピアノ講師、シンガーソング・ライター

回答者の職業は、「無職」32.1%がもっとも高く、全体の3割を超えている。次いで、「製造業」19.3%、「サービス業」12.9%、「その他」8.3%の順となっている。

「その他」の内訳は、記入内容から「医療・福祉関係」が多かった。

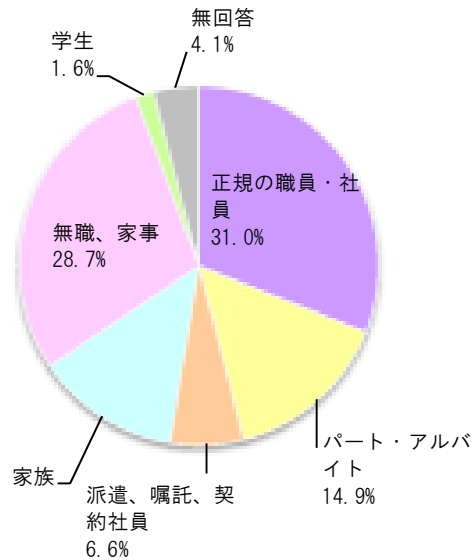
問6 あなたの職業(勤務形態)について、次の中から1つ選んでください。

選択肢	件数	比率
1. 正規の職員・社員	418	31.0%
2. パート・アルバイト	201	14.9%
3. 派遣、嘱託、契約社員	89	6.6%
4. 自営業主、家族従事者	175	13.0%
5. 無職、家事	387	28.7%
6. 学生	22	1.6%
無回答	55	4.1%
計	1,347	100.0%

複数回答による集計除外1名

回答者の勤務形態は、「正規の職員・社員」が31.0%でもっとも多く、次いで「無職、家事」が28.7%となっている。

自営業主、家族従事者
13.0%

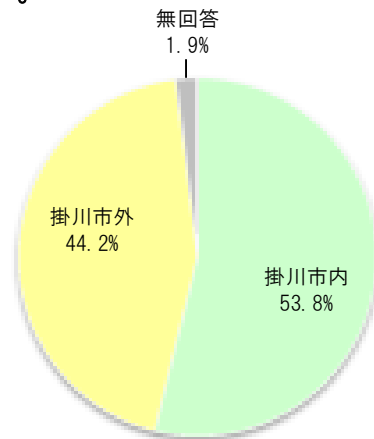


問7 あなたの出生地について、次の中から1つ選んでください。

選択肢	件数	比率
1. 掛川市内	723	53.8%
2. 掛川市外	594	44.2%
無回答	26	1.9%
計	1,343	100.0%

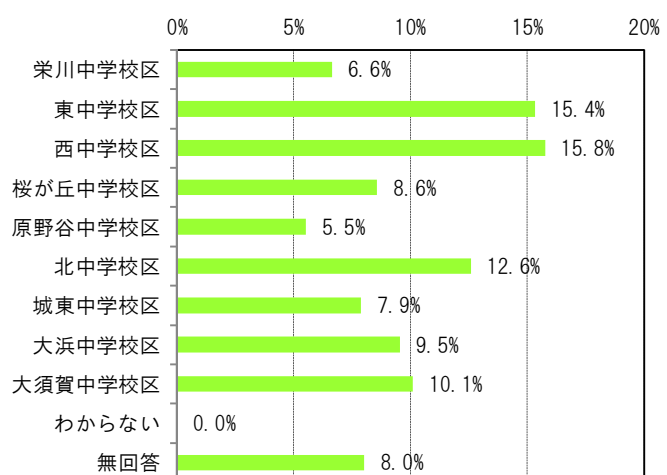
複数回答による集計除外5名

回答者の出生地は、半数以上が「掛川市内」53.8%と回答した。



【1. 掛川市内の中学校区】

選択肢	件数	比率
1. 栄川中学校区	48	6.6%
2. 東中学校区	111	15.4%
3. 西中学校区	114	15.8%
4. 桜が丘中学校区	62	8.6%
5. 原野谷中学校区	40	5.5%
6. 北中学校区	91	12.6%
7. 城東中学校区	57	7.9%
8. 大浜中学校区	69	9.5%
9. 大須賀中学校区	73	10.1%
10. わからない	0	0.0%
無回答	58	8.0%
計	723	100.0%



「掛川市内」出身であると回答した723人の中学校区は、現在の居住地区の上位と同じ「西中学校区」15.8%、「東中学校区」15.4%、「北中学校区」12.6%が上位となった。

【2. 掛川市外の都道府県】

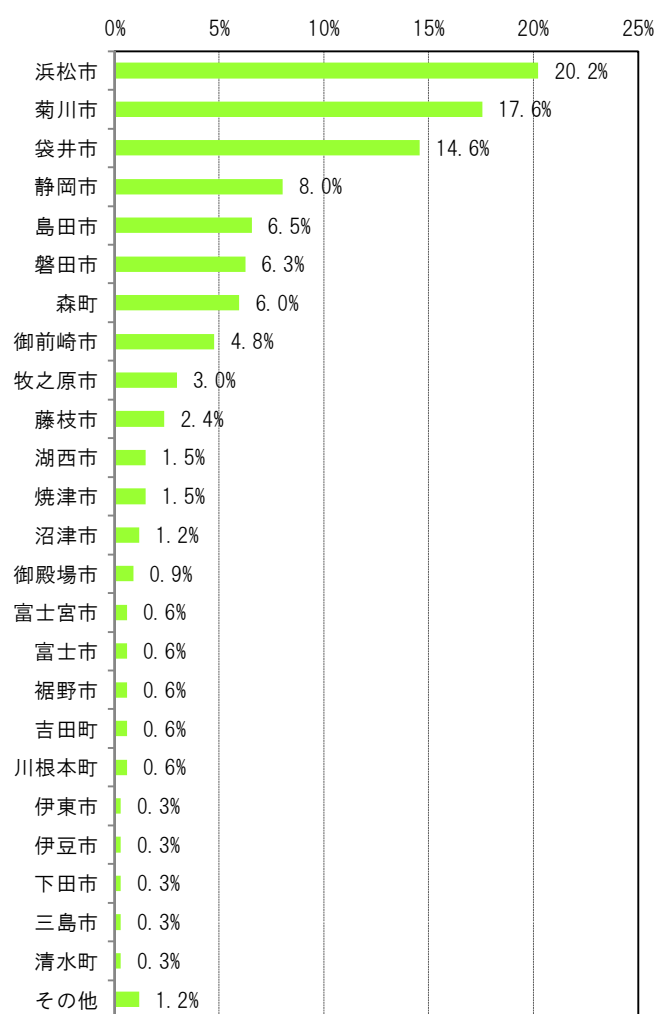
都道府県名	件数	比率
静岡県	336	56.6%
愛知県	31	5.2%
東京都	22	3.7%
神奈川県	21	3.5%
三重県	11	1.9%
兵庫県	9	1.5%
千葉県	8	1.3%
岐阜県	8	1.3%
大阪府	8	1.3%
埼玉県	7	1.2%
長野県	7	1.2%
北海道	6	1.0%
長崎県	6	1.0%
茨城県	6	1.0%
山口県	5	0.8%
福岡県	5	0.8%
山形県	4	0.7%
岩手県	3	0.5%
群馬県	3	0.5%
富山県	4	0.7%
石川県	3	0.5%
京都府	3	0.5%
奈良県	3	0.5%
広島県	3	0.5%
佐賀県	3	0.5%
福島県	3	0.5%
秋田県	2	0.3%
新潟県	2	0.3%
和歌山県	2	0.3%
徳島県	2	0.3%
愛媛県	2	0.3%
熊本県	2	0.3%
鹿児島県	2	0.3%
宮崎県	2	0.3%
青森県	1	0.2%
山梨県	1	0.2%
福井県	1	0.2%
滋賀県	1	0.2%
鳥取県	1	0.2%
岡山県	1	0.2%
香川県	1	0.2%
大分県	1	0.2%
満州	2	0.3%
国外	1	0.2%
無記入	39	6.6%
計	594	100.0%



「掛川市外」出身であると回答した594人の出身都道府県は、「静岡県」56.6%が6割近くを占めた。他の都道府県は「愛知県」5.2%、「東京都」3.7%、「神奈川県」3.5%の順となっている。

【2. 掛川市外のうち静岡県の市町】

都道府県名	件数	比率
浜松市	68	20.2%
菊川市	59	17.6%
袋井市	49	14.6%
静岡市	27	8.0%
島田市	22	6.5%
磐田市	21	6.3%
森町	20	6.0%
御前崎市	16	4.8%
牧之原市	10	3.0%
藤枝市	8	2.4%
湖西市	5	1.5%
焼津市	5	1.5%
沼津市	4	1.2%
御殿場市	3	0.9%
富士宮市	2	0.6%
富士市	2	0.6%
裾野市	2	0.6%
吉田町	2	0.6%
川根本町	2	0.6%
伊東市	1	0.3%
伊豆市	1	0.3%
下田市	1	0.3%
三島市	1	0.3%
清水町	1	0.3%
その他	4	1.2%
計	336	100.0%

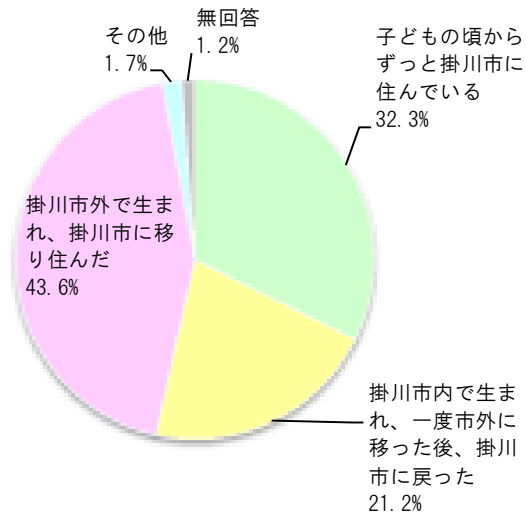


「掛川市外」出身であると回答した594人のうち336人が静岡県出身であると回答したが、出身市町村は、「浜松市」20.2%、「菊川市」17.6%、「袋井市」14.6%の順となっている。

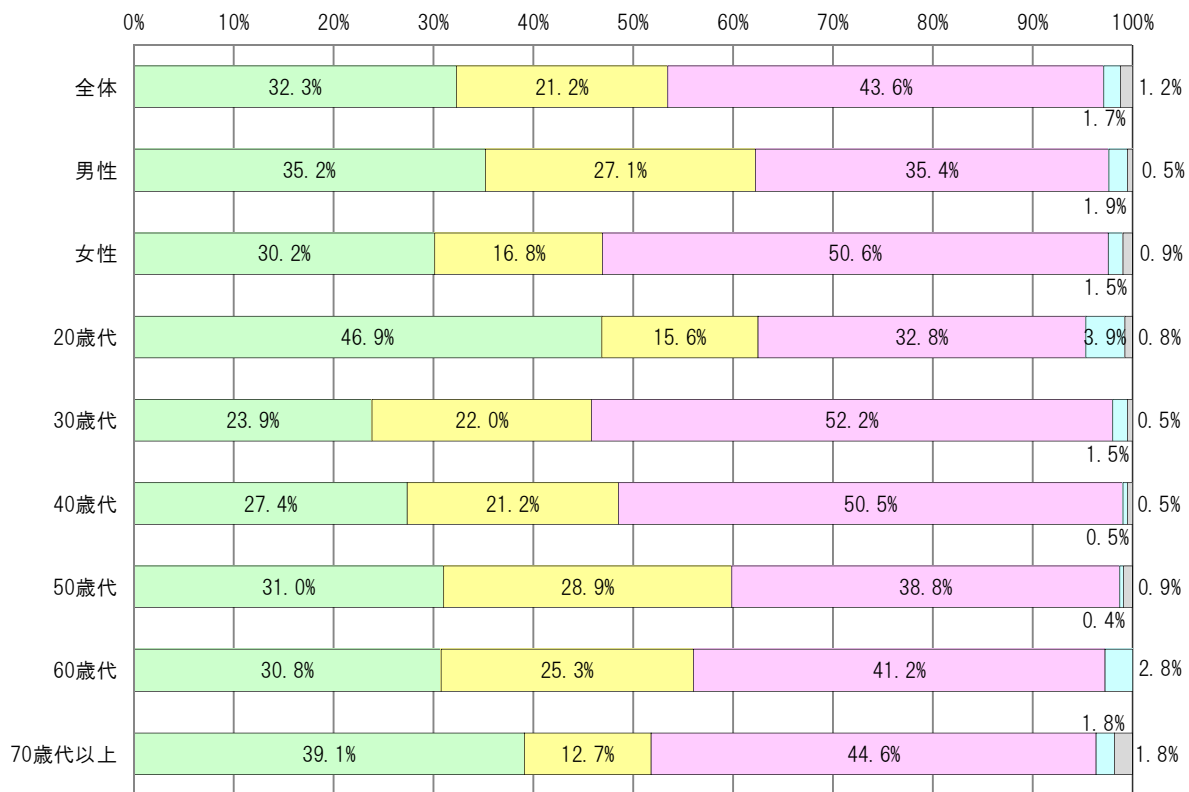
問8 出生から現在に至るまでの居住に関する経緯を、次の中から1つ選んでください。

選択肢	件数	比率
1. 子どもの頃からずっと掛川市に住んでいる	435	32.3%
2. 掛川市内で生まれ、一度市外に移った後、掛川市に戻った	285	21.2%
3. 掛川市外で生まれ、掛川市に移り住んだ	587	43.6%
4. その他	23	1.7%
無回答	16	1.2%
計	1,346	100.0%

複数回答による集計除外2名



■ 性別・年齢別



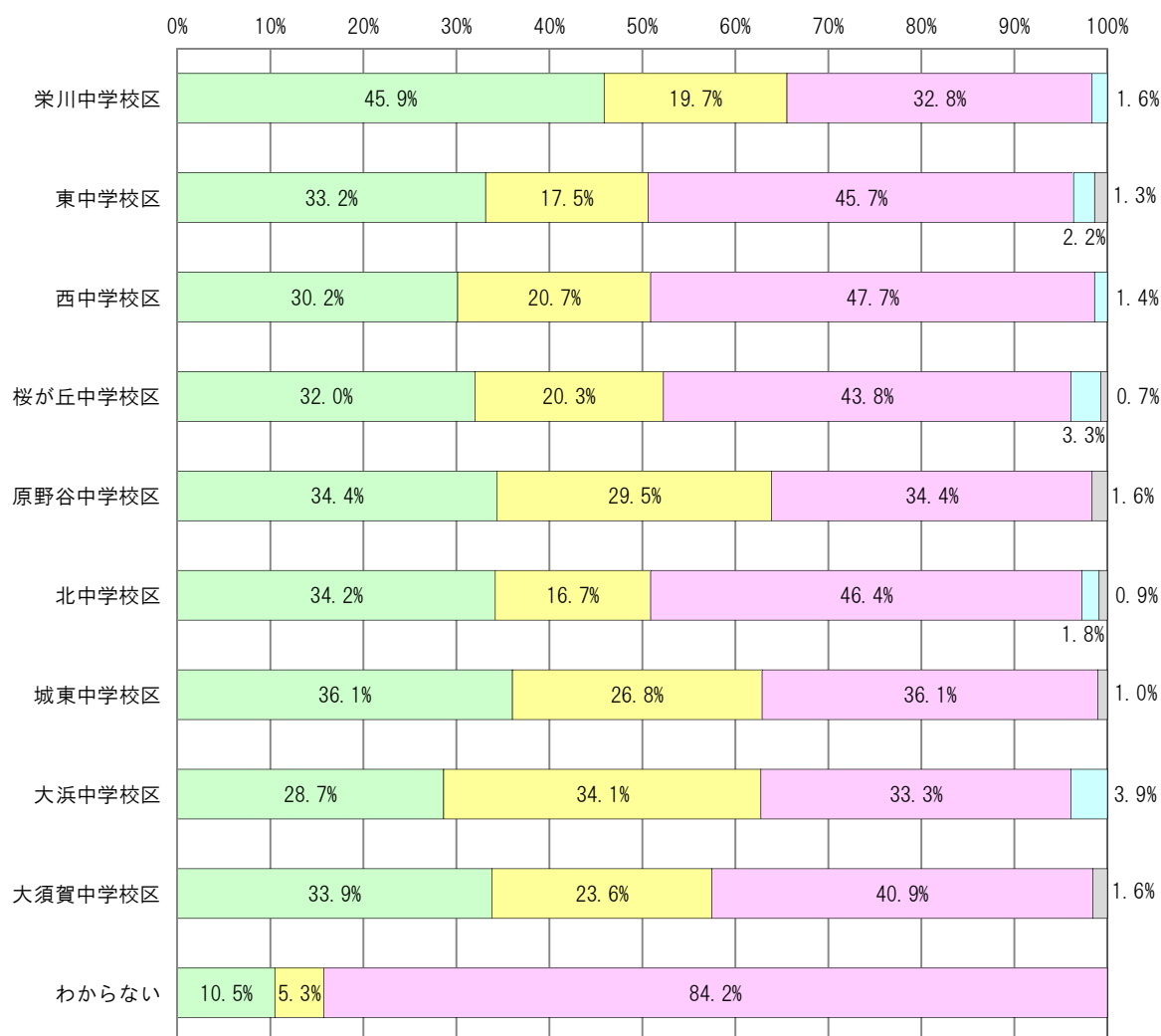
- 子どもの頃からずっと掛川市に住んでいる
- 掛川市内で生まれ、一度市外に移った後、掛川市に戻った
- 掛川市外で生まれ、掛川市に移り住んだ
- その他
- 無回答

出生から現在に至るまでの居住に関する経緯としては、全体では「掛川市外で生まれ、掛川市に移り住んだ」43.6%、「子どもの頃からずっと掛川市に住んでいる」32.3%、「掛川市内で生まれ、一度市外に移った後、掛川市に戻った」21.2%の順となっている。

性別で見ると、女性は「掛川市外で生まれ、掛川市に移り住んだ」が50.6%と男性の35.4%に比べて15.2ポイント高くなっている。

年齢別では、20歳代は「子どもの頃からずっと掛川市に住んでいる」46.9%がもっとも高いが、30歳代・40歳代では「掛川市外で生まれ、掛川市に移り住んだ」が52.2%・50.5%と半数以上となっている。50歳代と60歳代は全体とほぼ同じ傾向となっているが、70歳代以上では「掛川市内で生まれ、一度市外に移った後、掛川市に戻った」が12.7%と比較的低い。

■ 居住地(中学校区)別



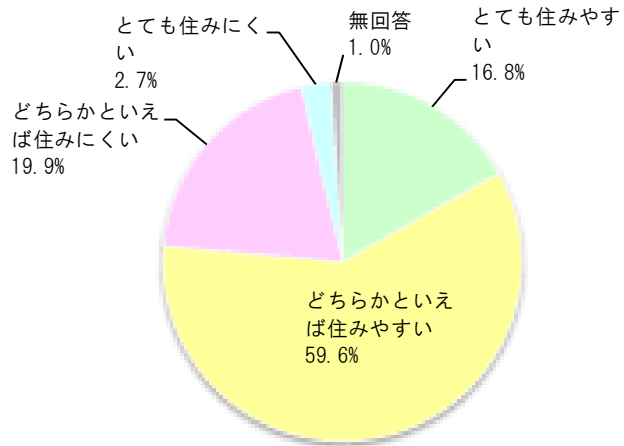
- 子どもの頃からずっと掛川市に住んでいる
- 掛川市内で生まれ、一度市外に移った後、掛川市に戻った
- 掛川市外で生まれ、掛川市に移り住んだ
- その他
- 無回答

居住地別で見ると、栄川中学校区では「子どもの頃からずっと掛川市に住んでいる」が45.9%と全中学校区で一番高い割合となっている。一方、東中学校区・西中学校区・北中学校区では、「掛川市外で生まれ、掛川市に移り住んだ」が5割近くを占めている。

問9 あなたにとって掛川市は住みやすいところですか？次の中から1つ選んでください。

選択肢	件数	比率
1. とても住みやすい	226	16.8%
2. どちらかといえば住みやすい	802	59.6%
3. どちらかといえば住みにくい	268	19.9%
4. とても住みにくい	36	2.7%
無回答	14	1.0%
計	1,346	100.0%

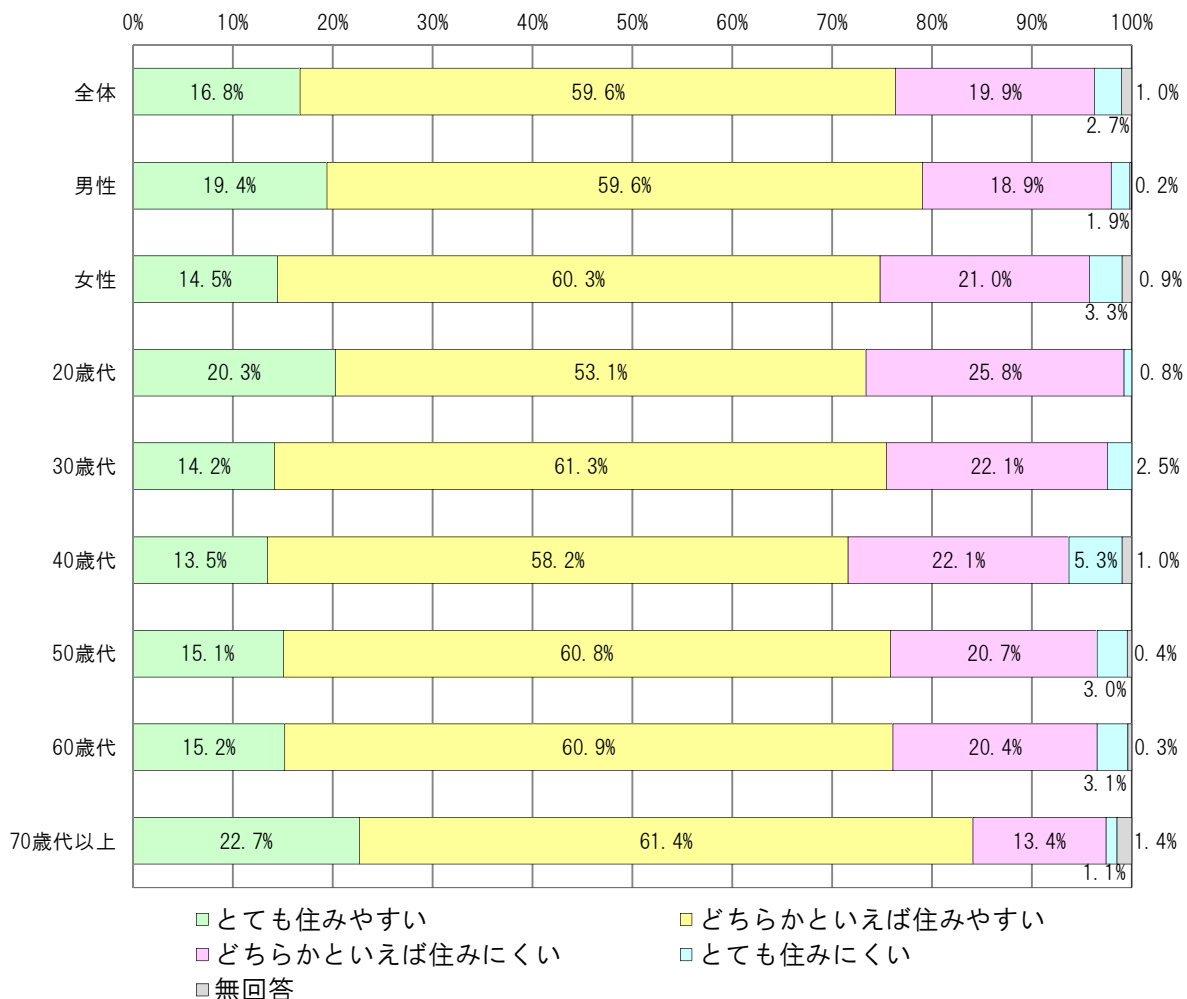
複数回答による集計除外2名



■ 過年度の調査結果

	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
住みやすいと感じる市民の割合	65.1%	78.1%	74.3%	79.6%	79.7%	81.8%	83.9%	80.8%	83.8%	81.3%	76.4%

■ 性別・年齢別



掛川市の住みやすさについては、全体では「どちらかといえば住みやすい」が59.6%で、「とても住みやすい」16.8%と合わせると、76.4%の回答者が「住みやすい」と評価している。過年度の調査と比べると、平成23年度をピークに近年はやや低下傾向が見られ、前年度と比べると4.9ポイントの低下となっている。

性別で見ると、男性の方が女性より「住みやすい」の割合が高いが、大きな差は見られない。年齢別でも、各年代で7割以上が「住みやすい」と回答し、年代で大きな差は見られないが、70歳代以上では「住みやすい」が8割を超えている。

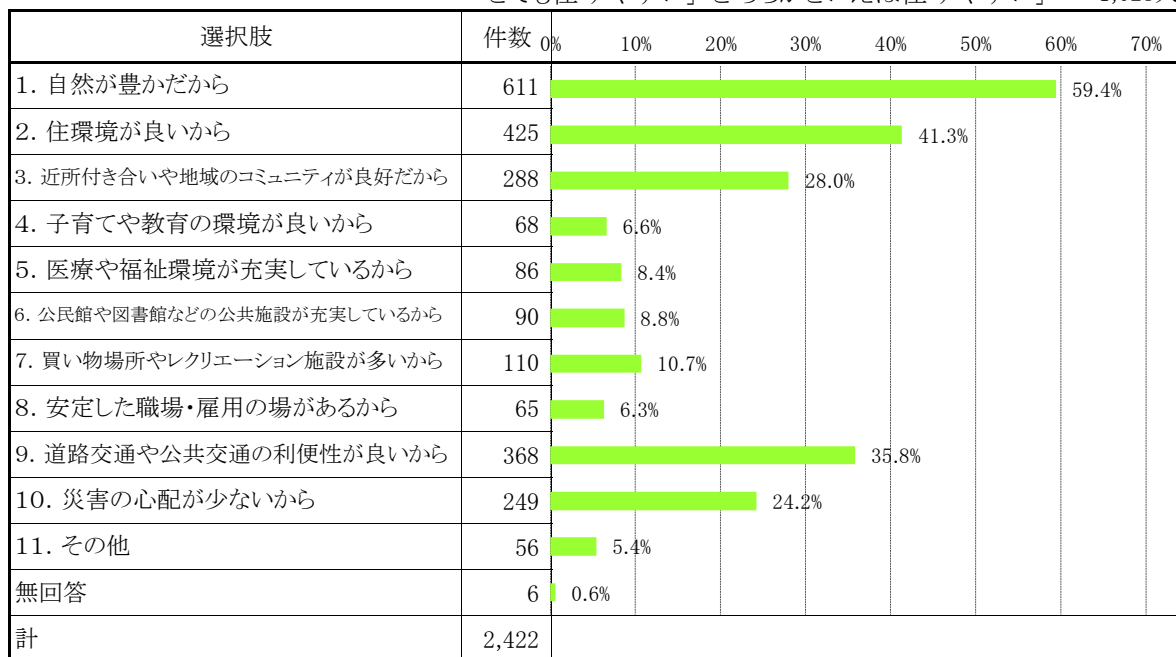
■ 居住地(中学校区)別



居住地別で見ると、ほとんどの中学校区で「住みやすい」が7割以上となっており、東中学校区・西中学校区・北中学校区では8割を超えている。一方、大須賀中学校区だけは「住みやすい」が半数程度となっており、「どちらかといえば住みにくい」が40.9%、「とても住みにくい」が5.5%と全中学校区で「住みにくい」が一番高い割合となっている。

問10 問9で1または2を選んだ方にお聞きます。掛川市が住みやすいと思う理由について、次の中から3つ以内で選んでください。

「とても住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」・・・ 1,028人



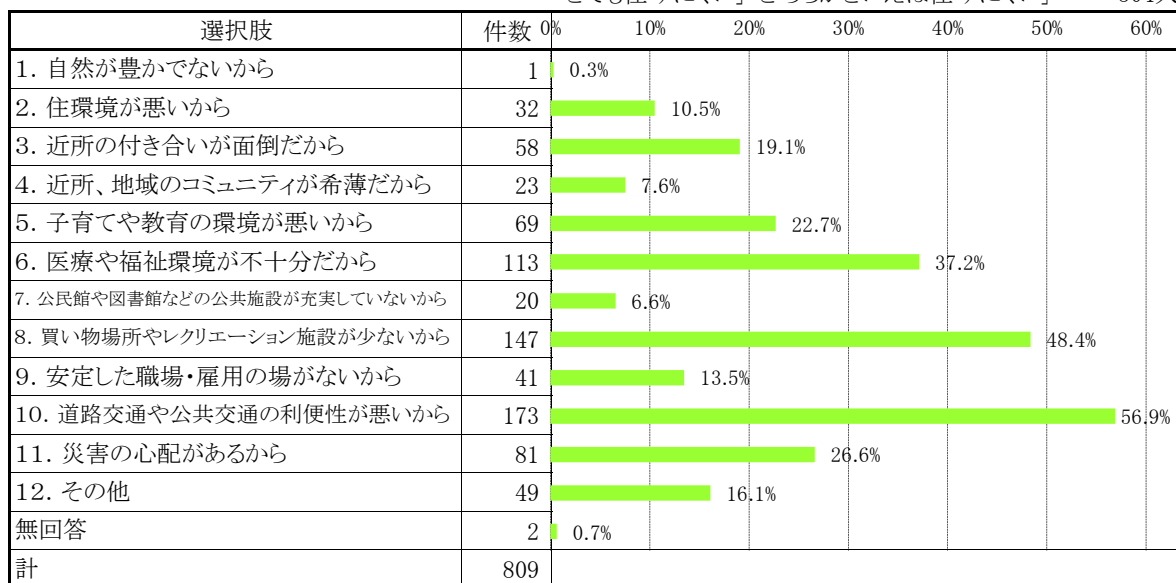
※4つ以上回答した人

14人

複数回答

問11 問9で3または4を選んだ方にお聞きます。掛川市が住みにくいと思う理由について、次の中から3つ以内で選んでください。

「とても住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」・・・ 304人



※4つ以上回答した人

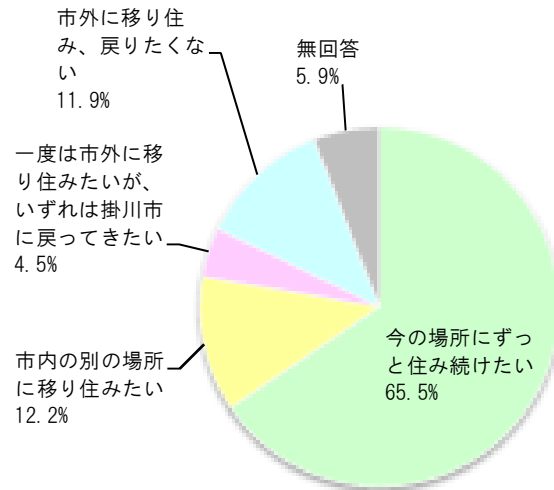
16人

複数回答

問12 あなたは、今後も掛川市に住みたいと思いますか？次の中から1つ選び、その理由についてお答えください。

選択肢	件数	比率
1. 今の場所にずっと住み続けたい	881	65.5%
2. 市内の別の場所に移り住みたい	164	12.2%
3. 一度は市外に移り住みたいが、いずれは掛川市に戻ってきたい	60	4.5%
4. 市外に移り住み、戻りたくない	160	11.9%
無回答	80	5.9%
計	1,345	100.0%

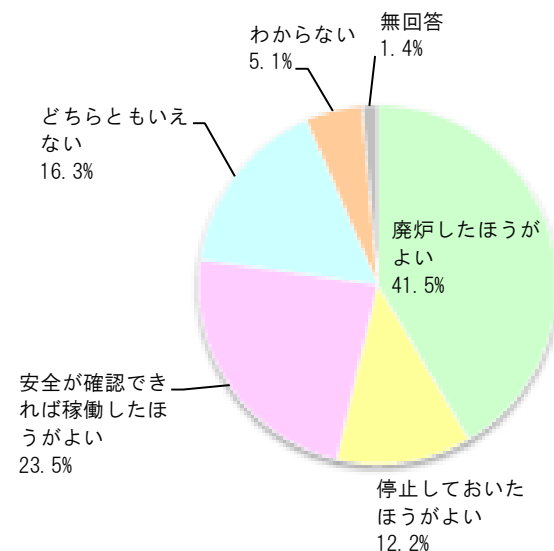
複数回答による集計除外3名



問13 あなたは、浜岡原子力発電所の今後についてどう思いますか？次の中から1つ選んでください。

選択肢	件数	比率
1. 廃炉したほうがよい	559	41.5%
2. 停止しておいたほうがよい	164	12.2%
3. 安全が確認できれば稼働したほうがよい	317	23.5%
4. どちらともいえない	219	16.3%
5. わからない	69	5.1%
無回答	19	1.4%
計	1,347	100.0%

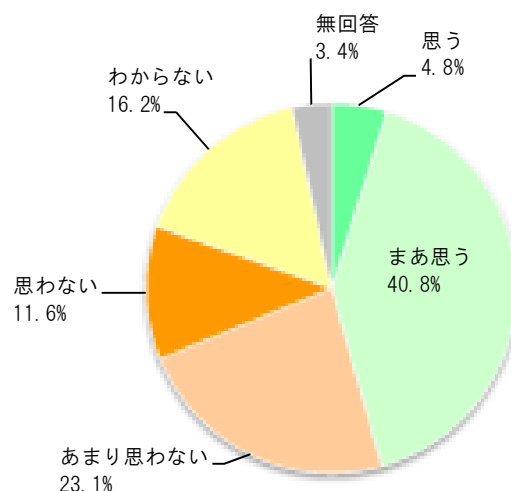
複数回答による集計除外1名



問14 「現在の掛川市」に対して、あなたご自身はどのように感じていますか？各項目の「評価」について、1つ選んでください。

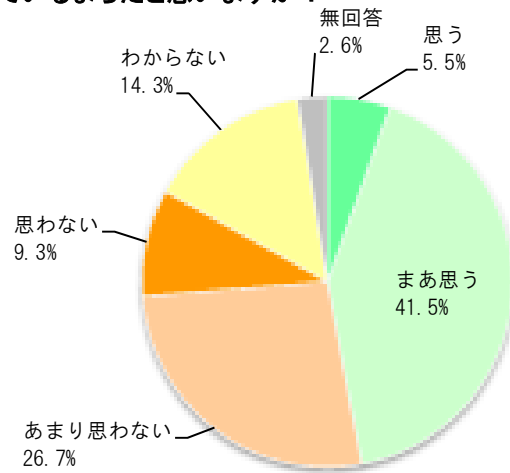
1. 掛川市は、安心して子どもを産み育てる環境が整っているまちだと思いますか？

選択肢	件数	比率
1. 思う	65	4.8%
2. まあ思う	550	40.8%
3. あまり思わない	312	23.1%
4. 思わない	157	11.6%
5. わからない	218	16.2%
無回答	46	3.4%
計	1,348	100.0%



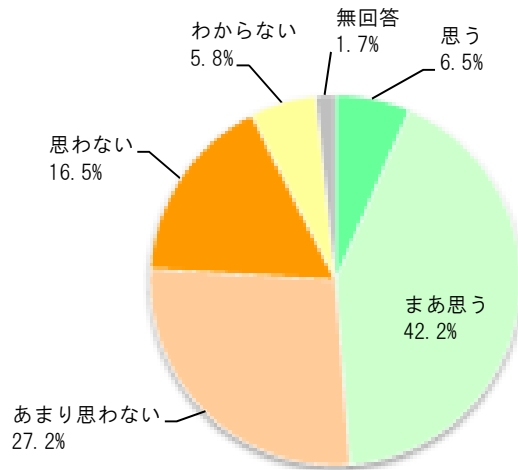
2. 掛川市は、地域ぐるみで子どもたちを育てているまちだと思いますか？

選択肢	件数	比率
1. 思う	74	5.5%
2. まあ思う	560	41.5%
3. あまり思わない	360	26.7%
4. 思わない	126	9.3%
5. わからない	193	14.3%
無回答	35	2.6%
計	1,348	100.0%



3. 掛川市は、病気やケガなど万一の時、いつでも安心した医療が受けられるまちだと思いますか？

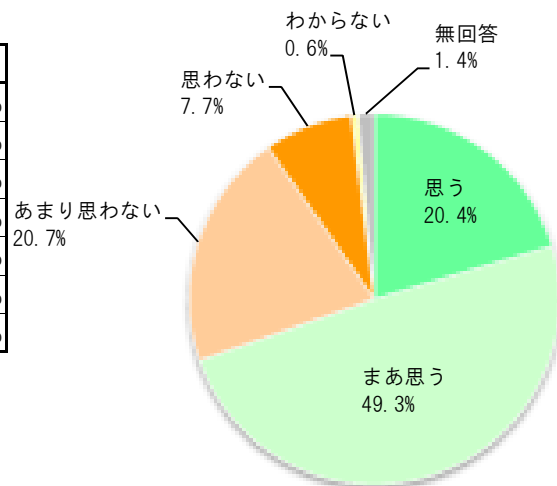
選択肢	件数	比率
1. 思う	88	6.5%
2. まあ思う	569	42.2%
3. あまり思わない	367	27.2%
4. 思わない	223	16.5%
5. わからない	78	5.8%
無回答	23	1.7%
計	1,348	100.0%



4. あなたは栄養バランスに気をつけて食事をしていると思いますか？

選択肢	件数	比率
1. 思う	274	20.4%
2. まあ思う	663	49.3%
3. あまり思わない	278	20.7%
4. 思わない	104	7.7%
5. わからない	8	0.6%
無回答	19	1.4%
計	1,346	100.0%

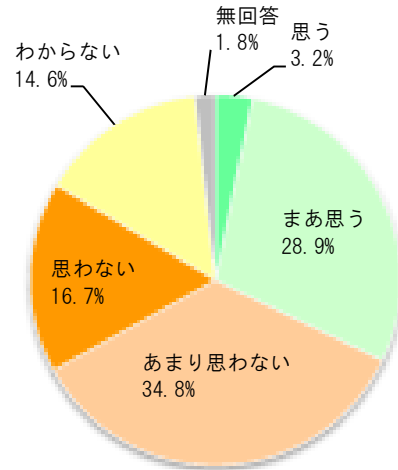
複数回答による集計除外2名



5. 掛川市は病人や障がい者、高齢者になっても安心して暮らしていけるまちだと思いますか？

選択肢	件数	比率
1. 思う	43	3.2%
2. まあ思う	389	28.9%
3. あまり思わない	468	34.8%
4. 思わない	224	16.7%
5. わからない	197	14.6%
無回答	24	1.8%
計	1,345	100.0%

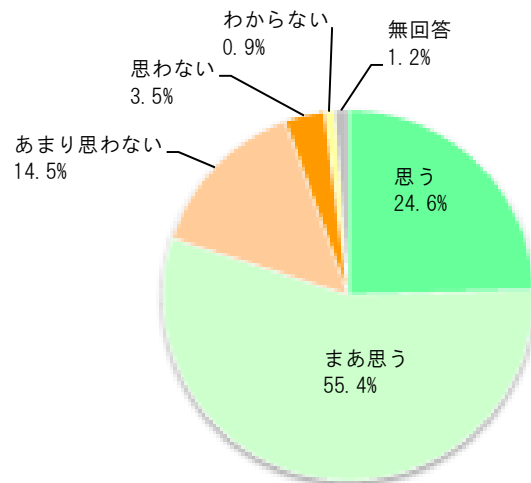
複数回答による集計除外3名



6. あなたは日頃から、ごみの減量化、節水、電気使用量の削減など地球環境保全のために行動していると思いますか？

選択肢	件数	比率
1. 思う	331	24.6%
2. まあ思う	746	55.4%
3. あまり思わない	195	14.5%
4. 思わない	47	3.5%
5. わからない	12	0.9%
無回答	16	1.2%
計	1,347	100.0%

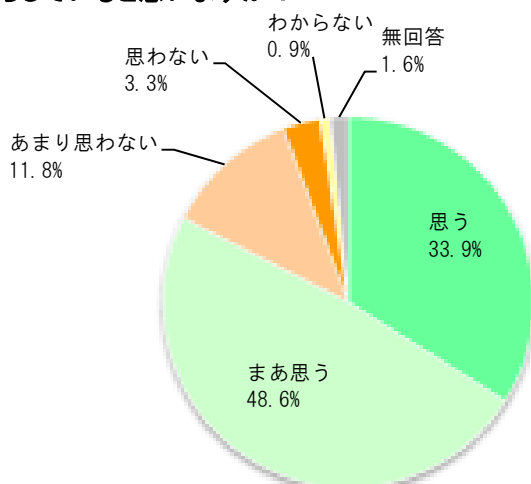
複数回答による集計除外1名



7. あなたは、豊かな自然を身近に感じて暮らしていると思いますか？

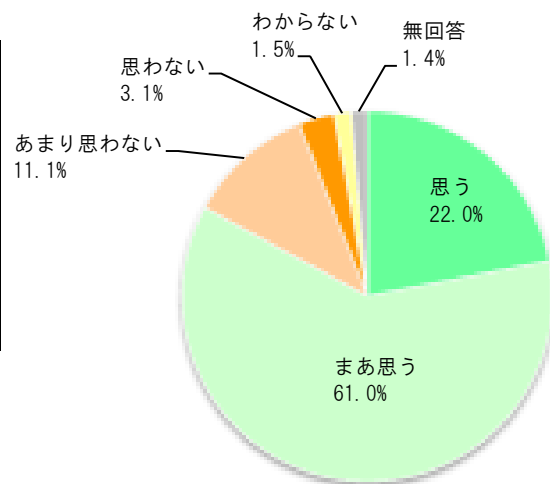
選択肢	件数	比率
1. 思う	457	33.9%
2. まあ思う	654	48.6%
3. あまり思わない	159	11.8%
4. 思わない	44	3.3%
5. わからない	12	0.9%
無回答	21	1.6%
計	1,347	100.0%

複数回答による集計除外1名



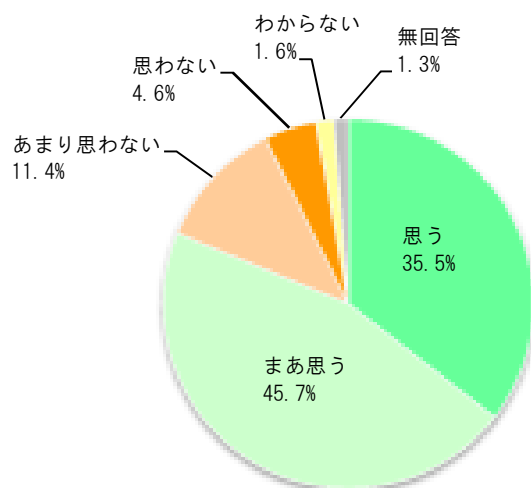
8. あなたがお住みの地域は、清潔できれいな生活環境が保たれていると思いますか？

選択肢	件数	比率
1. 思う	296	22.0%
2. まあ思う	822	61.0%
3. あまり思わない	149	11.1%
4. 思わない	42	3.1%
5. わからない	20	1.5%
無回答	19	1.4%
計	1,348	100.0%



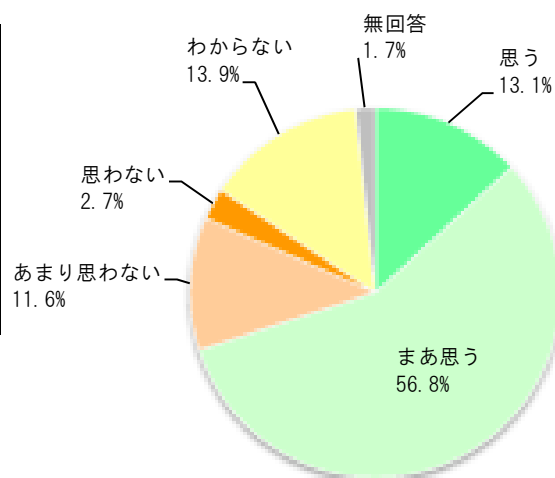
9. あなたは、上水道が安心して飲め、断水などが無く安定して供給されていると思いますか？

選択肢	件数	比率
1. 思う	479	35.5%
2. まあ思う	616	45.7%
3. あまり思わない	153	11.4%
4. 思わない	62	4.6%
5. わからない	21	1.6%
無回答	17	1.3%
計	1,348	100.0%



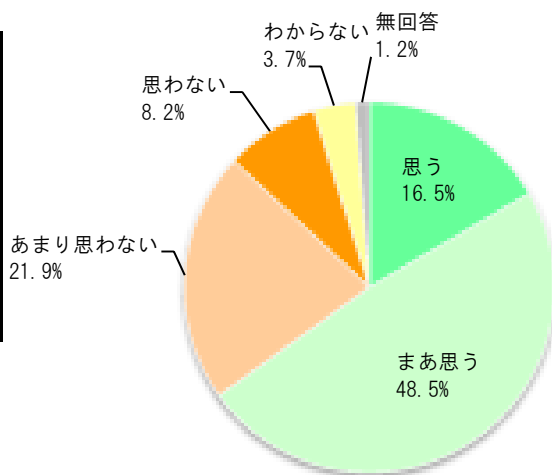
10. あなたは、地域の子ども達が、心身ともに健全に成長していると思いますか？

選択肢	件数	比率
1. 思う	177	13.1%
2. まあ思う	766	56.8%
3. あまり思わない	157	11.6%
4. 思わない	37	2.7%
5. わからない	188	13.9%
無回答	23	1.7%
計	1,348	100.0%



11. あなたは、健康で生きがいを持って人生を送れていると思いますか？

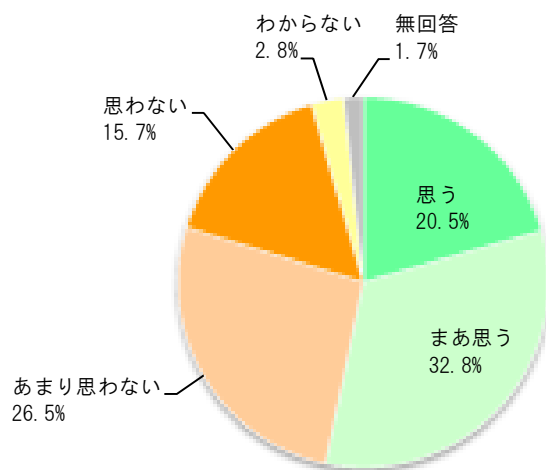
選択肢	件数	比率
1. 思う	223	16.5%
2. まあ思う	654	48.5%
3. あまり思わない	295	21.9%
4. 思わない	110	8.2%
5. わからない	50	3.7%
無回答	16	1.2%
計	1,348	100.0%



12. あなたは、生きがいを感じる趣味や活動に取り組んでいますか？

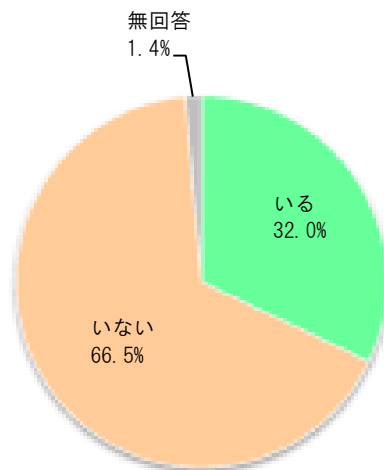
選択肢	件数	比率
1. 思う	276	20.5%
2. まあ思う	441	32.8%
3. あまり思わない	357	26.5%
4. 思わない	211	15.7%
5. わからない	38	2.8%
無回答	23	1.7%
計	1,346	100.0%

複数回答による集計除外2名



13. あなたは、週1回以上スポーツやレクリエーションをしていますか？

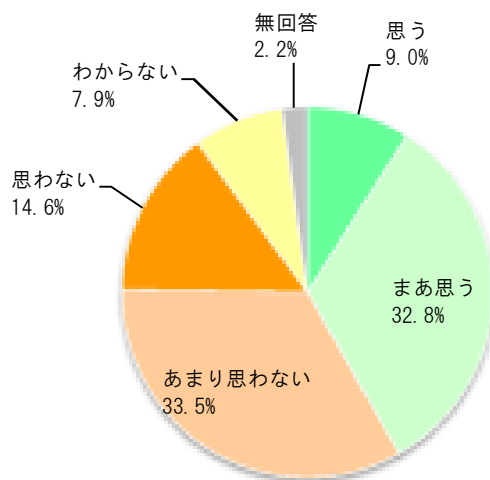
選択肢	件数	比率
1. いる	432	32.0%
2. いない	897	66.5%
無回答	19	1.4%
計	1,348	100.0%



14. あなたは、郷土の歴史や文化に誇りと愛着を持っていますか？

選択肢	件数	比率
1. 思う	121	9.0%
2. まあ思う	441	32.8%
3. あまり思わない	450	33.5%
4. 思わない	197	14.6%
5. わからない	106	7.9%
無回答	30	2.2%
計	1,345	100.0%

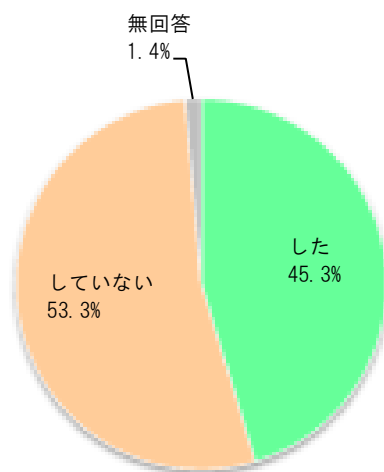
複数回答による集計除外3名



15. あなたは、この一年間において文化・芸術の催しを鑑賞しましたか？

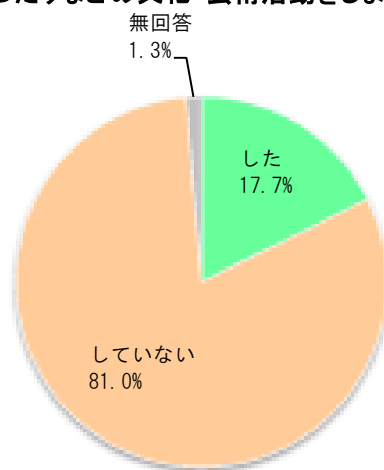
選択肢	件数	比率
1. した	610	45.3%
2. していない	718	53.3%
無回答	19	1.4%
計	1,347	100.0%

複数回答による集計除外1名



16. あなたは、この一年間においてご自分で演じたり、作ったりなどの文化・芸術活動をしましたか？

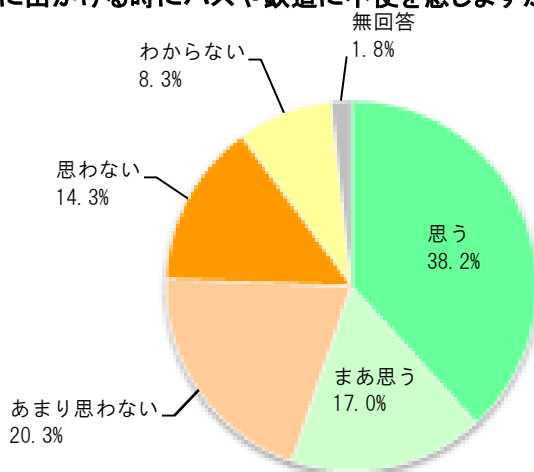
選択肢	件数	比率
1. した	238	17.7%
2. していない	1,092	81.0%
無回答	18	1.3%
計	1,348	100.0%



17. あなたは、通勤・通学・通院・買い物などに出かける時にバスや鉄道に不便を感じますか？

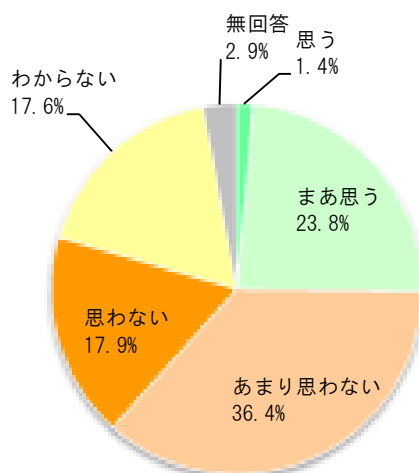
選択肢	件数	比率
1. 思う	515	38.2%
2. まあ思う	229	17.0%
3. あまり思わない	274	20.3%
4. 思わない	193	14.3%
5. わからない	112	8.3%
無回答	24	1.8%
計	1,347	100.0%

複数回答による集計除外1名



18. 掛川市は、計画的な土地利用や都市計画により、住宅・商業・農業・工業などがバランス良く配置されているまちだと思いますか？

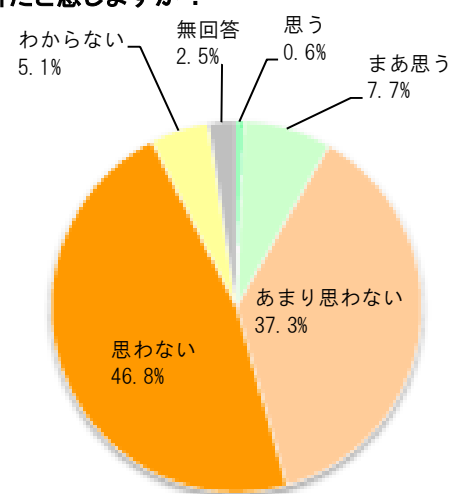
選択肢	件数	比率
1. 思う	19	1.4%
2. まあ思う	321	23.8%
3. あまり思わない	491	36.4%
4. 思わない	241	17.9%
5. わからない	237	17.6%
無回答	39	2.9%
計	1,348	100.0%



19. 掛川駅周辺の中心市街地は、魅力的で楽しい場所だと感じますか？

選択肢	件数	比率
1. 思う	8	0.6%
2. まあ思う	104	7.7%
3. あまり思わない	502	37.3%
4. 思わない	630	46.8%
5. わからない	69	5.1%
無回答	33	2.5%
計	1,346	100.0%

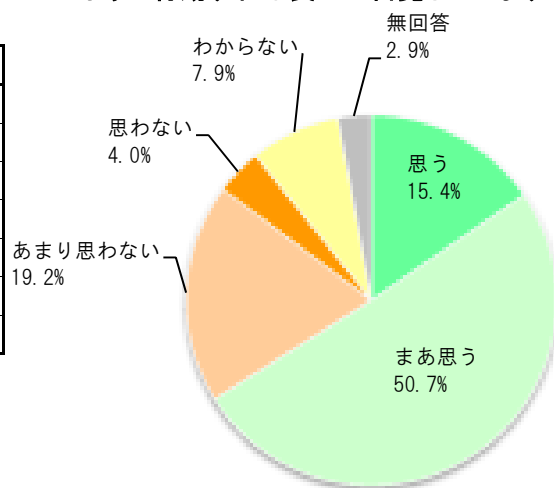
複数回答による集計除外2名



20. あなたは、地震発生など災害時に自分がどのように行動すれば良いか自覚していますか？

選択肢	件数	比率
1. 思う	207	15.4%
2. まあ思う	682	50.7%
3. あまり思わない	258	19.2%
4. 思わない	54	4.0%
5. わからない	106	7.9%
無回答	39	2.9%
計	1,346	100.0%

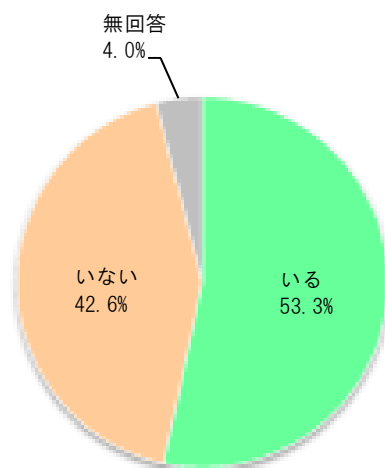
複数回答による集計除外2名



21. あなたは、災害に備えて水や食料等非常持ち出し品を準備していますか？

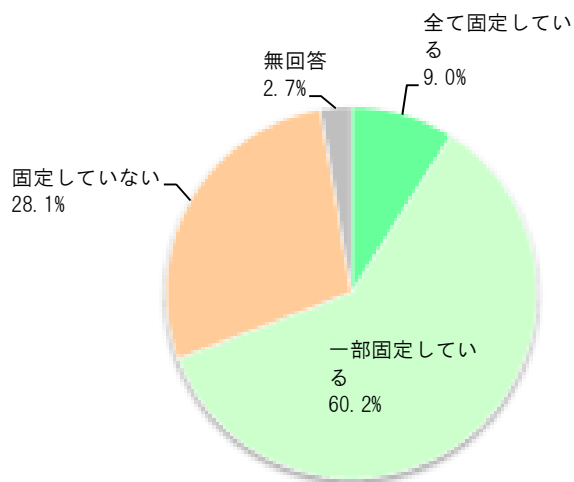
選択肢	件数	比率
1. いる	717	53.3%
2. いない	573	42.6%
無回答	54	4.0%
計	1,344	100.0%

複数回答による集計除外4名



22. あなたの自宅では、地震対策のために家具の固定が行われていますか？

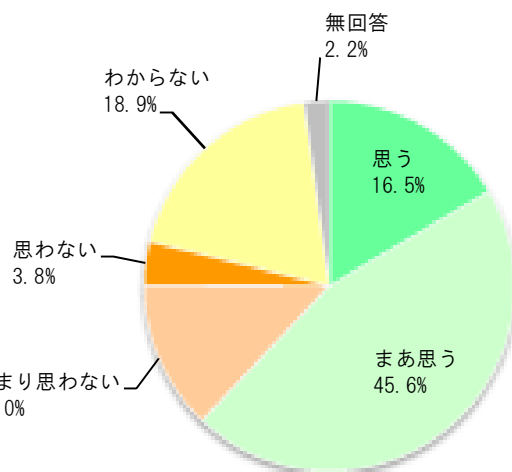
選択肢	件数	比率
1. 全て固定している	121	9.0%
2. 一部固定している	812	60.2%
3. 固定していない	379	28.1%
無回答	36	2.7%
計	1,348	100.0%



23. 掛川市は、火事や急病の時に直ちに駆けつけてくれる、信頼のできる消防救急体制が確保されていると思いますか？

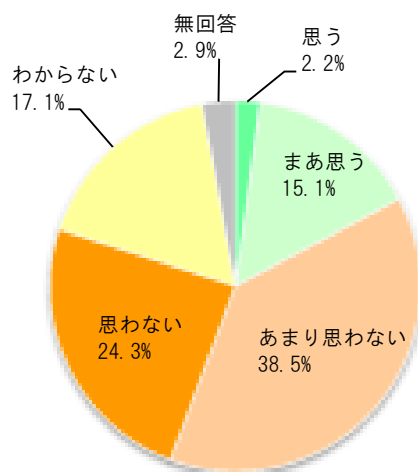
選択肢	件数	比率
1. 思う	222	16.5%
2. まあ思う	614	45.6%
3. あまり思わない	175	13.0%
4. 思わない	51	3.8%
5. わからない	255	18.9%
無回答	30	2.2%
計	1,347	100.0%

複数回答による集計除外1名
あまり思わない 13.0%



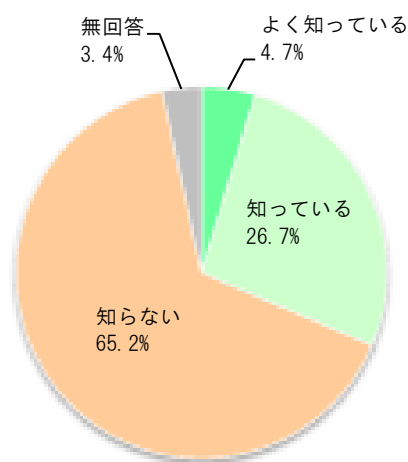
24. あなたの力は、より良い地域づくり・まちづくりに生かされていると思いますか？

選択肢	件数	比率
1. 思う	29	2.2%
2. まあ思う	203	15.1%
3. あまり思わない	519	38.5%
4. 思わない	327	24.3%
5. わからない	231	17.1%
無回答	39	2.9%
計	1,348	100.0%



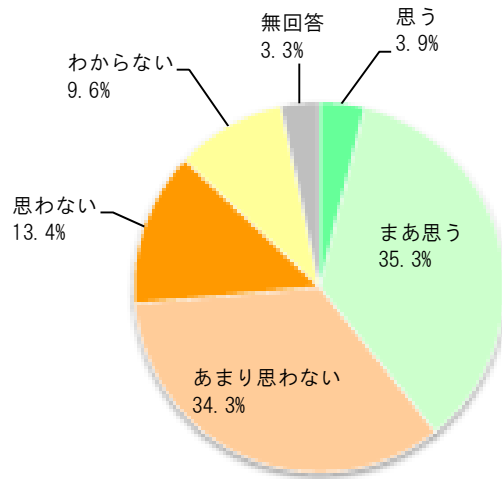
25. あなたは、掛川市が「協働まちづくり」を進めていることを知っていますか？

選択肢	件数	比率
1. よく知っている	63	4.7%
2. 知っている	360	26.7%
3. 知らない	879	65.2%
無回答	46	3.4%
計	1,348	100.0%



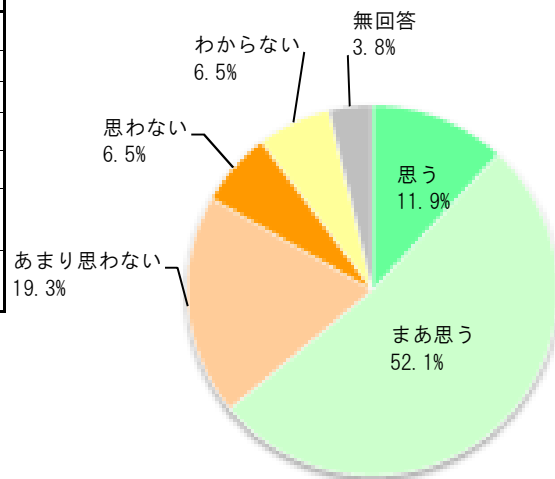
26. あなたは、必要な時に必要な市の情報が手に入っていると思いますか？

選択肢	件数	比率
1. 思う	53	3.9%
2. まあ思う	476	35.3%
3. あまり思わない	463	34.3%
4. 思わない	181	13.4%
5. わからない	130	9.6%
無回答	45	3.3%
計	1,348	100.0%



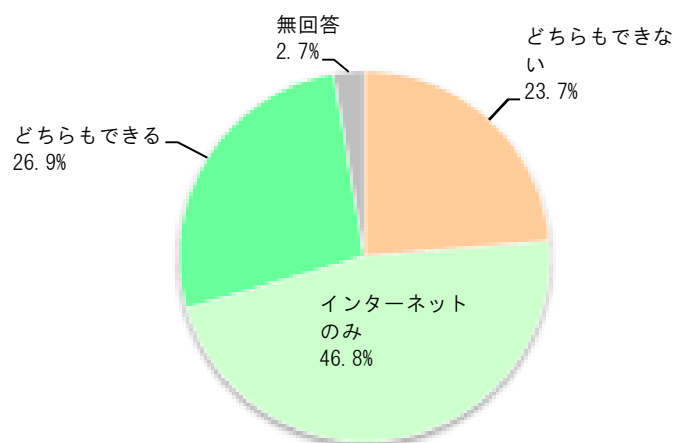
27. あなたは、「広報かけがわ」で必要な市の情報を得られていますか？

選択肢	件数	比率
1. 思う	160	11.9%
2. まあ思う	702	52.1%
3. あまり思わない	260	19.3%
4. 思わない	88	6.5%
5. わからない	87	6.5%
無回答	51	3.8%
計	1,348	100.0%



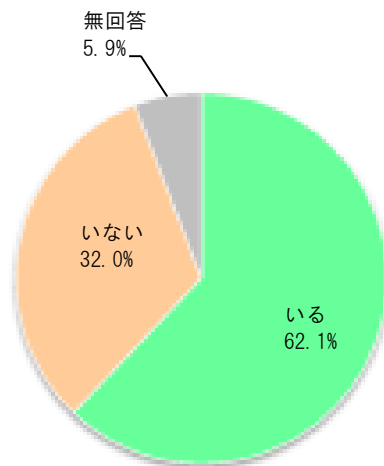
28. あなたの自宅ではインターネットを利用することができますか？またブログやSNSを利用していますか？

選択肢	件数	比率
1. どちらもできない	319	23.7%
2. インターネットのみ	631	46.8%
3. どちらもできる	362	26.9%
無回答	36	2.7%
計	1,348	100.0%



29. あなたの自宅のインターネットは光ブロードバンドサービスに加入していますか？

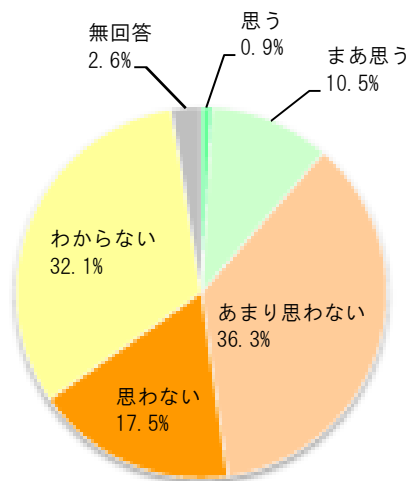
選択肢	件数	比率
1. いる	837	62.1%
2. いない	432	32.0%
無回答	79	5.9%
計	1,348	100.0%



30. 掛川市は、ほかの自治体に比べ行政改革が進んでいると思いますか？

選択肢	件数	比率
1. 思う	12	0.9%
2. まあ思う	142	10.5%
3. あまり思わない	489	36.3%
4. 思わない	236	17.5%
5. わからない	433	32.1%
無回答	35	2.6%
計	1,347	100.0%

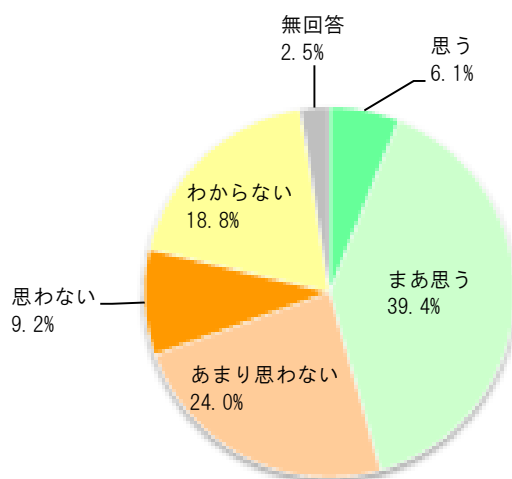
複数回答による集計除外1名



31. あなたは、掛川市役所の窓口サービスが迅速で効率よく提供されていると思いますか？

選択肢	件数	比率
1. 思う	82	6.1%
2. まあ思う	530	39.4%
3. あまり思わない	322	24.0%
4. 思わない	124	9.2%
5. わからない	252	18.8%
無回答	34	2.5%
計	1,344	100.0%

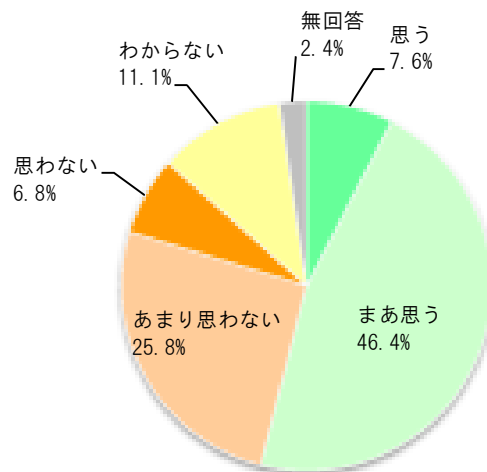
複数回答による集計除外4名



32. あなたがお住まいの地域は、人と人とが信頼し、助け合える環境になっていると思いますか？

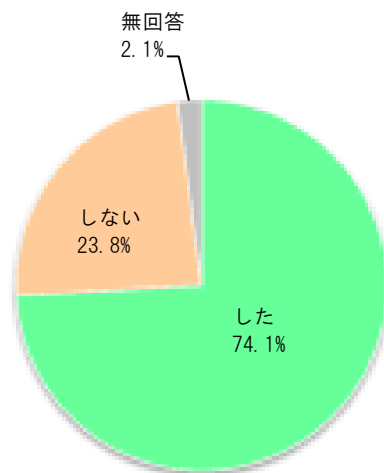
選択肢	件数	比率
1. 思う	102	7.6%
2. まあ思う	625	46.4%
3. あまり思わない	347	25.8%
4. 思わない	92	6.8%
5. わからない	149	11.1%
無回答	32	2.4%
計	1,347	100.0%

複数回答による集計除外1名



33. あなたは一年間に一回以上、地域の活動(奉仕活動やイベントなど)に参加しましたか？

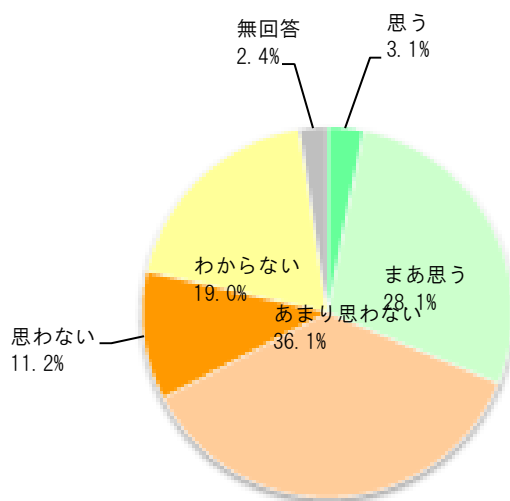
選択肢	件数	比率
1. した	999	74.1%
2. しない	321	23.8%
無回答	28	2.1%
計	1,348	100.0%



34. あなたは、家庭・地域・職場などあらゆる場面で、男女共同参画が進んでいると思いますか？

選択肢	件数	比率
1. 思う	42	3.1%
2. まあ思う	379	28.1%
3. あまり思わない	486	36.1%
4. 思わない	151	11.2%
5. わからない	256	19.0%
無回答	33	2.4%
計	1,347	100.0%

複数回答による集計除外1名



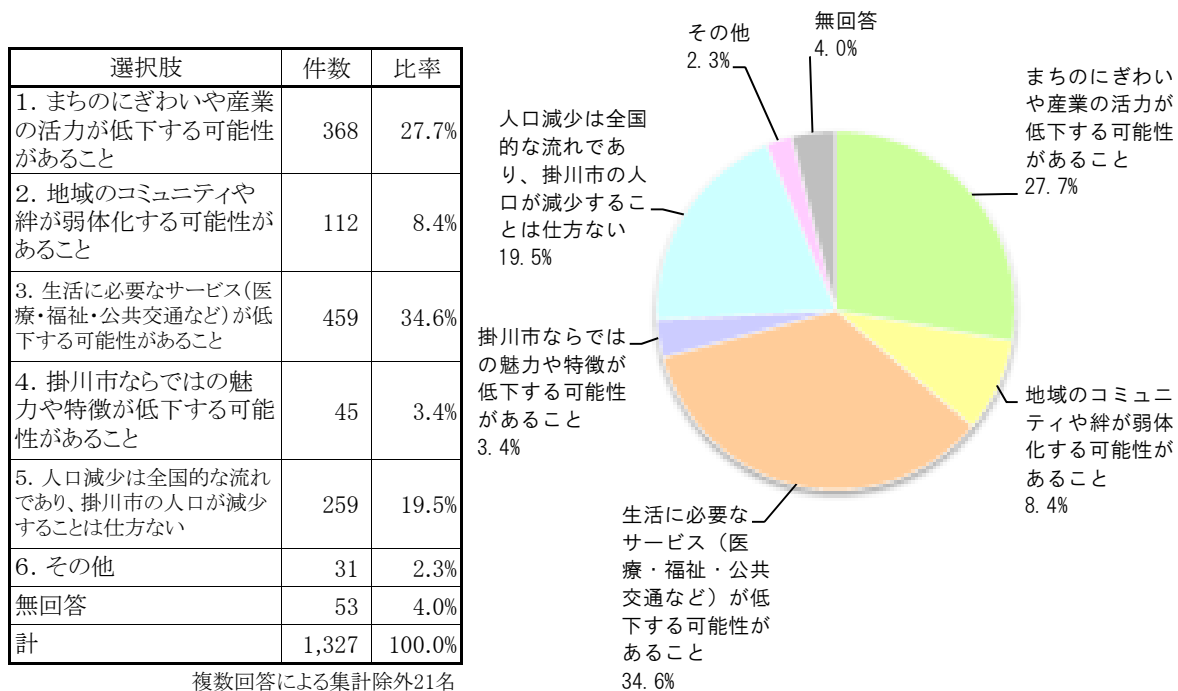
問15 掛川市では、現在策定中の「第2次掛川市総合計画」の中で、

- 掛川への新しいひとの動きをつくる
- 掛川にしごとをつくり安心して働けるようにする
- 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- 明日の掛川をつくり豊かで潤いのある安心な暮らしを守る

の4つを、まちづくりの戦略の柱として掲げることを予定しています。

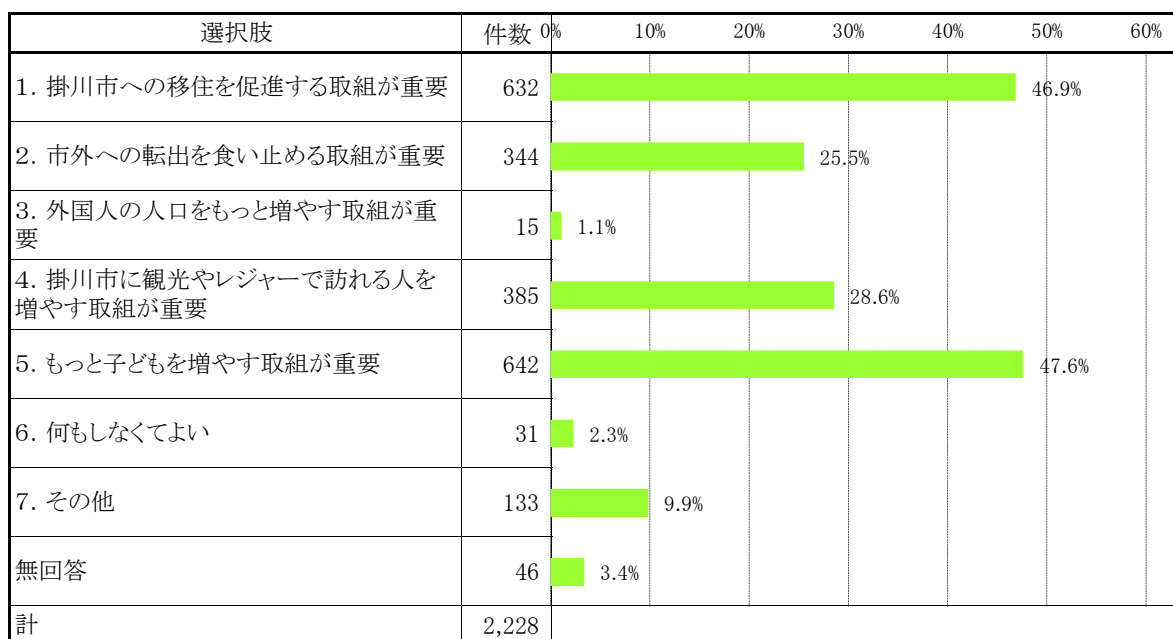
これら4つの戦略に関して、以下の(1)～(4)の設問にお答えください。

- (1) 全国的に人口減少社会が進展しているなか、掛川市においても、今後人口は減少していくと推測されています。掛川市の人口が減少することに対して、あなたはどのような問題意識をお持ちですか？次の中から特に強く感じているものを1つ選んでください。



人口減少に対する問題意識としては、「生活に必要なサービス(医療・福祉・公共交通など)が低下する可能性があること」が34.6%でもっとも多く、次いで「まちのにぎわいや産業の活力が低下する可能性があること」が27.7%、「人口減少は全国的な流れであり、掛川市の人口が減少することは仕方ない」が19.5%の順となっている。「地域のコミュニティや絆が弱体化する可能性があること」「掛川市ならではの魅力や特徴が低下する可能性があること」を問題とする意見は比較的少なかった。

(2) 人口減少といった社会的課題に対し、掛川市では今後、どのような取組が重要だと思いますか？次の中から最も重要と思う取組を2つ選んでください。



※3つ以上回答した人

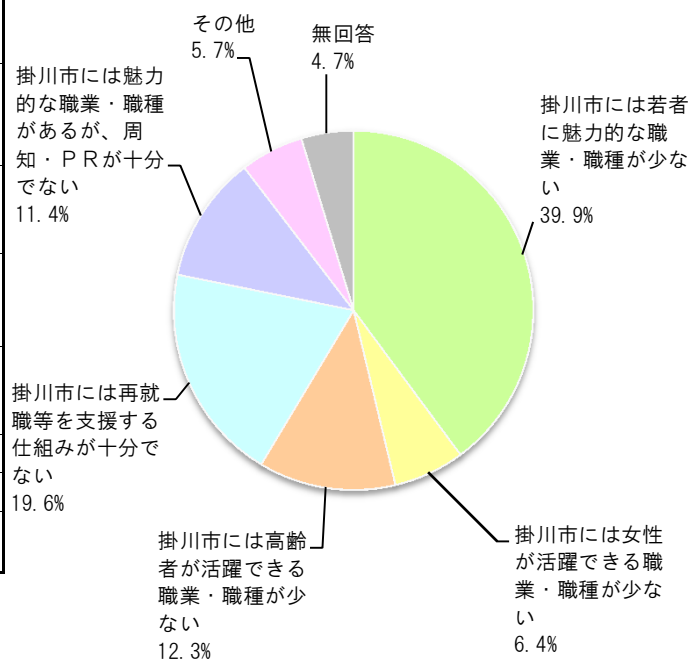
5人

複数回答

(3) 人が暮らし、定着するには、安心して働ける環境がそこにあることが一つの重要な要素です。あなたは、掛川市の雇用環境などについて、何が不足していると感じていますか？次の中から特に強く感じているものを1つ選んでください。

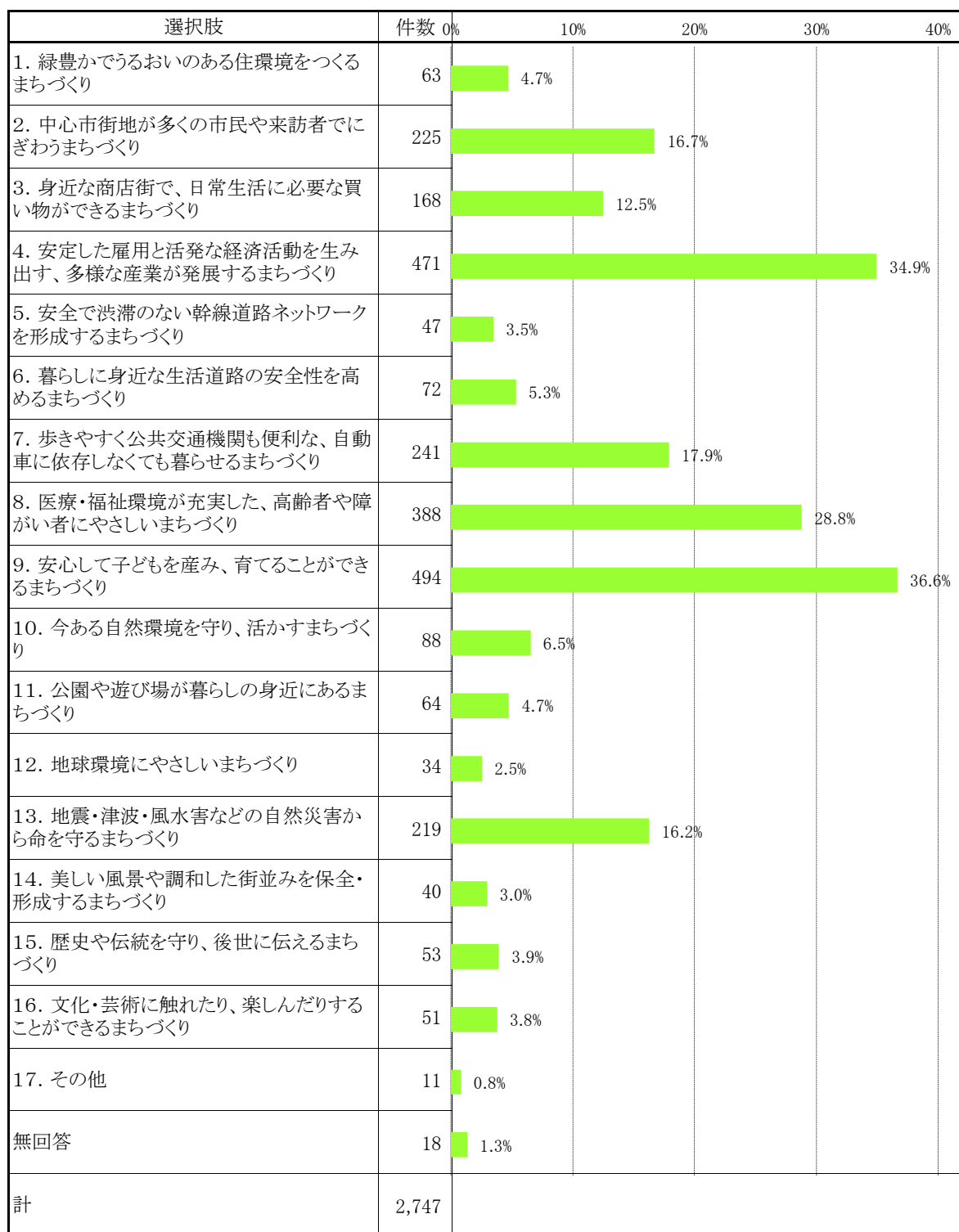
選択肢	件数	比率
1. 掛川市には若者に魅力的な職業・職種が少ない	517	39.9%
2. 掛川市には女性が活躍できる職業・職種が少ない	83	6.4%
3. 掛川市には高齢者が活躍できる職業・職種が少ない	160	12.3%
4. 掛川市には再就職等を支援する仕組みが十分でない	254	19.6%
5. 掛川市には魅力的な職業・職種があるが、周知・PRが十分でない	148	11.4%
6. その他	74	5.7%
無回答	61	4.7%
計	1,297	100.0%

複数回答による集計除外51名



雇用環境の不足については、「掛川市には若者に魅力的な職業・職種が少ない」が39.9%で最も多く、次いで「掛川市には再就職等を支援する仕組みが十分でない」が19.6%、「掛川市には高齢者が活躍できる職業・職種が少ない」が12.3%、「掛川市には魅力的な職業・職種があるが、周知・PRが十分でない」が11.4%の順となっている。

(4) 豊かで潤いのある安心な暮らしを守るために、今後掛川市では、どのようなまちづくりが重要だと思いますか？次の中から特に強く感じているものを2つ以内で選んでください。



複数回答

重要なまちづくりとしては、「安心して子どもを産み、育てることができるまちづくり」36.6%がもっとも高く、「安定した雇用と活発な経済活動を生み出す、多様な産業が発展するまちづくり」が34.9%、「医療・福祉環境が充実した、高齢者や障がい者にやさしいまちづくり」28.8%の順となった。

問16 最後に、将来の掛川市のことについて、ご意見やご提案があればお書きください。

項目		細目		件数
1	道路・交通	1-1	交通機関	43 件
		1-2	道路・駐車場	42 件
2	産業(農業・工業・商業・観光)	2-1	産業(農林・工・商業)	62 件
		2-2	駅前(中心市街地)開発	61 件
		2-3	観光(祭り・イベント)	25 件
		2-4	PR・広報	22 件
3	環境保全・整備(自然・土地利用・上下水道・ごみ)	3-1	環境・自然・公園	28 件
		3-2	土地利用(空家・空地・耕作放棄地)	16 件
		3-3	上下水道・ごみ	8 件
4	教育・文化(スポーツ)	4	教育・文化(スポーツ)	36 件
5	医療・福祉・子育て	5	医療・福祉・子育て	140 件
6	安全・防災	6-1	安全(治安)・防災	27 件
		6-2	原発関連	23 件
7	コミュニティ	7	コミュニティ	27 件
8	行政・政策	8-1	行政・政策(合併関連)	64 件
		8-2	税・公共料金	45 件
9	雇用問題	9	雇用問題	28 件
10	人口減少問題	10	人口減少問題	56 件
11	まちづくり全般	11	まちづくり全般	74 件
12	役所に対して	12-1	役所への要望	19 件
		12-2	アンケートについて	7 件
13	その他	13	その他	8 件

2 . 高 校 生 意 識 調 査

(1) 調査概要

- 1 調査目的

我が国は2008年をピークに人口減少が続き、この状況が続けば「人口減少が地域経済の縮小を呼び、地域経済の縮小が人口減少を加速させる」という負のスパイラルに陥るリスクが高まる。

掛川市の人口は、2010年で116,363人となっているが、国立社会保障・人口問題研究所によると、2040年には10万人を割り込むと推計されており、人口減少問題への対策が急務となっている。

この問題に対応し、かつさらに掛川市を発展させていくため、掛川市では今後の掛川市の中長期的な市政運営の指針を示す第2次掛川市総合計画（掛川市地域創生総合戦略）の策定を進めている。

市民サービスの向上と着実な行政運営に活かすとともに、第2次掛川市総合計画（掛川市地域創生総合戦略）の策定に役立てるため、高校生意識調査を実施する。
- 2 調査対象

掛川市内の高等学校に在籍する3年生男女

掛川西高等学校	320
掛川工業高等学校	195
掛川東高等学校	244
横須賀高等学校	154
計	913 人
- 3 抽出方法

—
- 4 調査方法

直接配布・回収
- 5 調査期間

平成27年6月
- 6 回収結果

886 票
- 7 有効回答数（率）

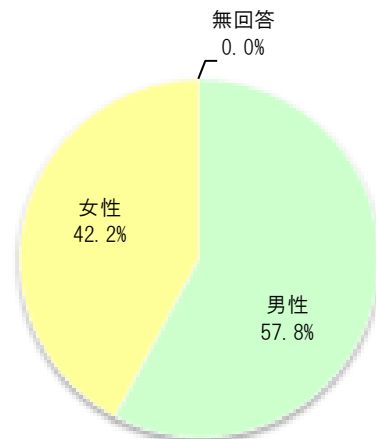
886 票 （ 97.0% ）
- 8 報告書を読むに当たっての留意点
 - 回答比率は全て百分率で表し、小数点第1位または第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならないことがあります。
 - 複数回答の設問では、回答者数を基数としているため、百分率の合計は100%を上まわります。

第2次掛川市総合計画（掛川市地域創生総合戦略）の策定にあたっての高校生意識調査

問1 あなたの性別について、次の中から1つ選んでください。

選択肢	件数	比率
1. 男性	512	57.8%
2. 女性	374	42.2%
無回答	0	0.0%
計	886	100.0%

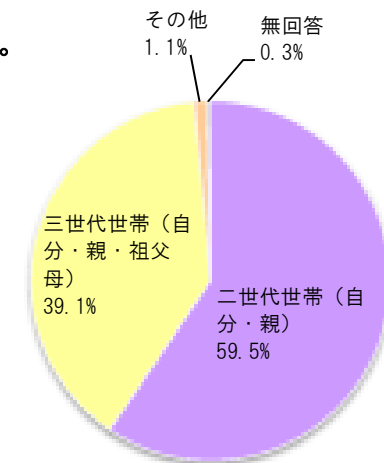
回答者の性別は、「男性」57.8%、「女性」42.2%で男性がやや多くなっている。



問2 あなたの家族構成について、次の中から1つ選んでください。

選択肢	件数	比率
1. 二世帯世帯（自分・親）	527	59.5%
2. 三世帯世帯（自分・親・祖父母）	346	39.1%
3. その他	10	1.1%
無回答	3	0.3%
計	886	100.0%

回答者の家族構成は、「二世帯世帯」59.5%、「三世帯世帯」39.1%、「その他」1.1%となっている。
「その他」1.1%は、記入内容から四世代世帯、自分、祖父母等となっている。



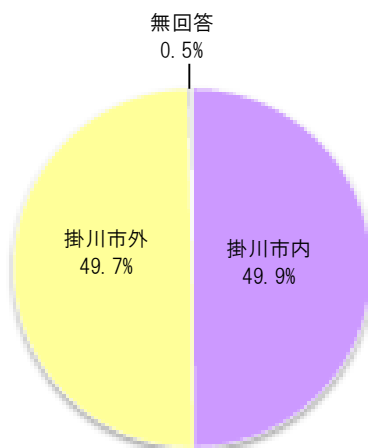
【3. その他の記入内容】

件数	記入内容
4件	四世代世帯
3件	自分、祖父母
各1件	自分、親、祖父母、叔父母
	弟、姉
	無記入

問3 あなたのお住まいについて、次の中から1つ選んでください。

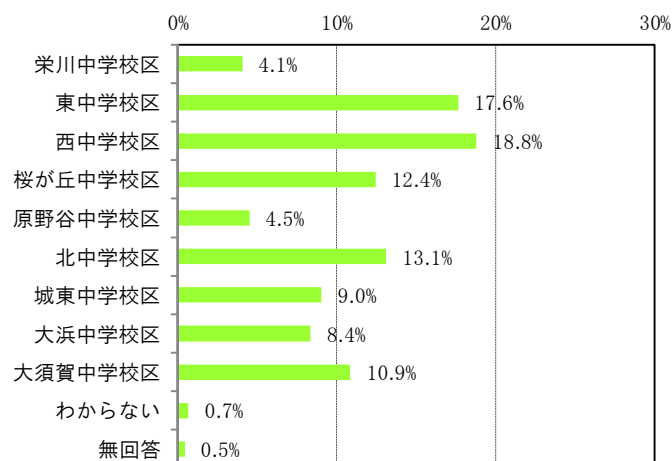
選択肢	件数	比率
1. 掛川市内	442	49.9%
2. 掛川市外	440	49.7%
無回答	4	0.5%
計	886	100.0%

回答者の住まいは、「掛川市内」49.9%、「掛川市外」49.7%で市内外がほぼ半々となっている。



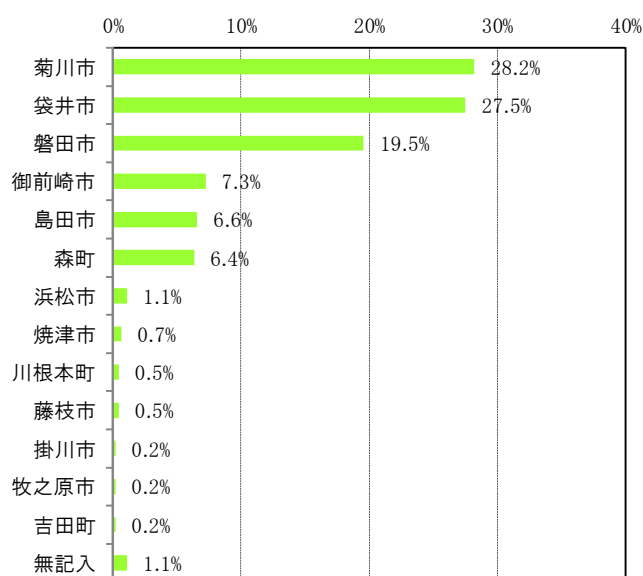
【1. 掛川市内の中学校区】

選択肢	件数	比率
1. 栄川中学校区	18	4.1%
2. 東中学校区	78	17.6%
3. 西中学校区	83	18.8%
4. 桜が丘中学校区	55	12.4%
5. 原野谷中学校区	20	4.5%
6. 北中学校区	58	13.1%
7. 城東中学校区	40	9.0%
8. 大浜中学校区	37	8.4%
9. 大須賀中学校区	48	10.9%
10. わからない	3	0.7%
無回答	2	0.5%
計	442	100.0%



【2. 掛川市外の市町】

市町	件数	比率
菊川市	124	28.2%
袋井市	121	27.5%
磐田市	86	19.5%
御前崎市	32	7.3%
島田市	29	6.6%
森町	28	6.4%
浜松市	5	1.1%
焼津市	3	0.7%
川根本町	2	0.5%
藤枝市	2	0.5%
掛川市	1	0.2%
牧之原市	1	0.2%
吉田町	1	0.2%
無記入	5	1.1%
計	440	100.0%

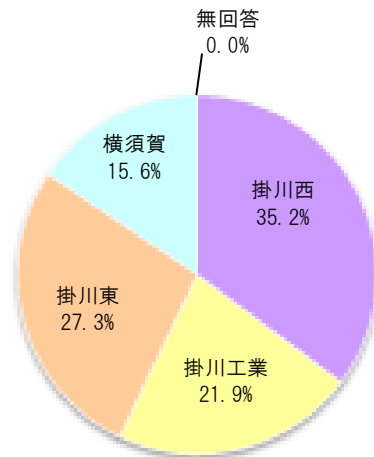


掛川市内と回答した442人の中学校区は、「西中学校区」18.8%、「東中学校区」17.6%、「北中学校区」13.1%、「桜が丘中学校区」12.4%の順に多い。

掛川市外と回答した440人の住まいは、「菊川市」28.2%、「袋井市」27.5%、「磐田市」19.5%順に多く、上位3市で7割を超えている。

問4 あなたは現在、どの高校に通っていますか？

選択肢	件数	比率
1. 掛川西	312	35.2%
2. 掛川工業	194	21.9%
3. 掛川東	242	27.3%
4. 横須賀	138	15.6%
無回答	0	0.0%
計	886	100.0%

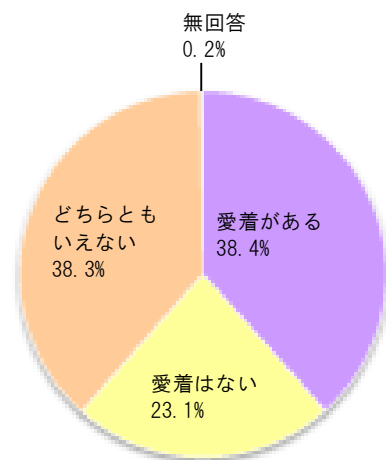


回答者の通学先は「掛川西」「掛川工業」「掛川東」「横須賀」の4つの高等学校であり、掛川西がやや多く、横須賀がやや少ないものの、4校全てから比較的バランスのとれた回答を得ている。

高校名	科	学年	件数	高校名	科	学年	件数
掛川西	普通	3	267	掛川東	普通	1	1
		無記入	2			3	234
	理数	3	40			無記入	2
	無記入	3	3	横須賀	理系	3	1
掛川工業	機械	3	41		ヒューマンサービス	3	4
	情報技術	3	37		家庭	3	1
		無記入	2		工業	3	2
	設備システム	3	37		普通	2	1
	電子機械	3	38			3	134
	電子電気	3	37				
		無記入	1				
	無記入	無記入	1	計			886

問5 あなたは、掛川市に愛着がありますか？次の中から1つ選んでください。

選択肢	件数	比率
1. 愛着がある	340	38.4%
2. 愛着はない	205	23.1%
3. どちらともいえない	339	38.3%
無回答	2	0.2%
計	886	100.0%

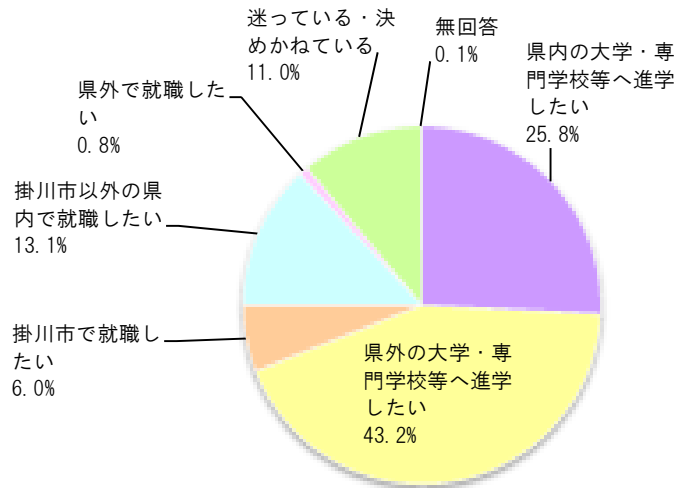


掛川市に対する愛着の有無は、「愛着がある」38.4%と「どちらともいえない」38.3%がほぼ同数となり、「愛着はない」は23.1%とやや少なかった。

問6 あなたは、高校卒業後の進路についてどのように考えていますか？次の中から1つ選んでください。

選択肢	件数	比率
1. 県内の大学・専門学校等へ進学したい	227	25.8%
2. 県外の大学・専門学校等へ進学したい	380	43.2%
3. 掛川市で就職したい	53	6.0%
4. 掛川市以外の県内で就職したい	115	13.1%
5. 県外で就職したい	7	0.8%
6. 迷っている・決めかねている	97	11.0%
無回答	1	0.1%
計	880	100.0%

複数回答による集計除外6名



1. 県内の大学・専門学校等へ進学したい 第一志望の大学等名

無記入	50件	西部美容専門学校	1件
静岡大学	42件	焼津水産漁業学園	1件
静岡県立大学	32件	静岡インターナショナル、エアリゾート専門学校	1件
常葉大学	13件	静岡県医療科学専門学校	1件
静岡理工科大学	9件	浜松歯科衛生士専門学校	1件
浜松医科大学	8件	静岡県歯科衛生士専門学校	1件
東海アクシス看護専門学校	7件	東海大学	1件
聖隷クリストファー大学	7件	静岡県新美容専門学校	1件
静岡文化芸術大学	6件	日建工科専門学校	1件
静岡工科自動車大学校	6件	大原公務員専門学校	1件
浜松情報専門学校	5件	静岡産業大学	1件
静岡医療科学専門学校	3件	中遠調理	1件
浜松学院大学短期大学部	3件	浜松調理菓子専門学校	1件
東海福祉専門学校	2件	静岡	1件
静岡県立文化芸術大学	2件	静岡県	1件
国際観光専門学校	2件	東海こども専門学校	1件
静岡福祉大学	2件	静岡西部理容美容専門学校	1件
静岡英和学院大学	2件	ルネサンスベッタアカデミー	1件
浜松短期大学	2件	ルネサンスデザインアカデミー	1件
フリーエース美容学校	2件	静岡福祉医療専門学校	1件
浜松日建工科専門学校	2件	計	227件

2. 県外の大学・専門学校等へ進学したい 第一志望の大学等の所在地

東京都	114件	山梨県	7件	奈良県	2件	滋賀県	1件
愛知県	93件	岐阜県	5件	和歌山県	1件	北海道	1件
無記入	28件	兵庫県	4件	群馬県	1件	鳥取県	1件
神奈川県	23件	宮城県	4件	徳島県	1件	秋田県、東京都	1件
千葉県	20件	石川県	4件	栃木県	1件	岩手県	1件
京都府	20件	沖縄県	3件	三重県	1件	静岡県	1件
長野県	12件	埼玉県	3件	福井県	1件		
大阪府	10件	福島県	3件	広島県	1件		
茨城県	9件	富山県	2件	秋田県	1件	計	380件

4. 掛川市以外の県内で就職したい 第一志望の就職先の所在地

磐田市	36件	御前崎市	3件	竜洋	1件	磐田市・浜松市	1件
無記入	32件	浜松市	2件	浜松市、静岡市	1件	島田市	1件
袋井市	25件	静岡市	2件	県内(県警)	1件		
菊川市	8件	袋井市、磐田市	1件	熱海市	1件	計	115件

5. 県外で就職したい 第一志望の就職先の所在地

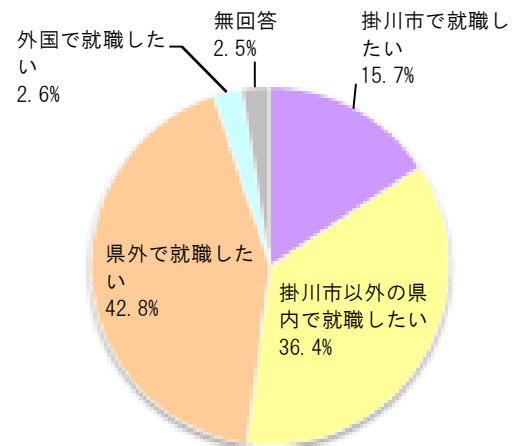
愛知県	2件	東京都	1件	神奈川県	1件
無記入	2件	岩手県	1件	計	7件

問7 問6で1または2を選んだ方にお聞きます。あなたは、大学や専門学校等の卒業後の就職に関してどのように考えていますか？（どうなるといいなと考えていますか？）
次の中から1つ選んでください。

「県内の大学・専門学校等へ進学したい」「県外の大学・専門学校等へ進学したい」・・・ 607人

選択肢	件数	比率
1. 掛川市で就職したい	95	15.7%
2. 掛川市以外の県内で就職したい	220	36.4%
3. 県外で就職したい	259	42.8%
4. 外国で就職したい	16	2.6%
無回答	15	2.5%
計	605	100.0%

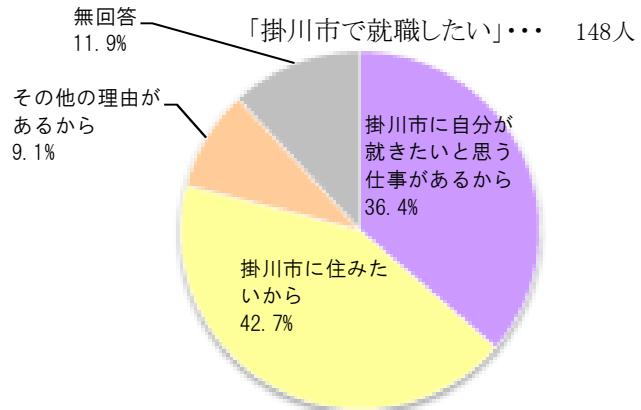
複数回答による集計除外2名



問8 問6で3を選んだ方、問7で1を選んだ方にお聞きします。掛川市で就職したい理由は何ですか？
次の中から1つ選んでください。

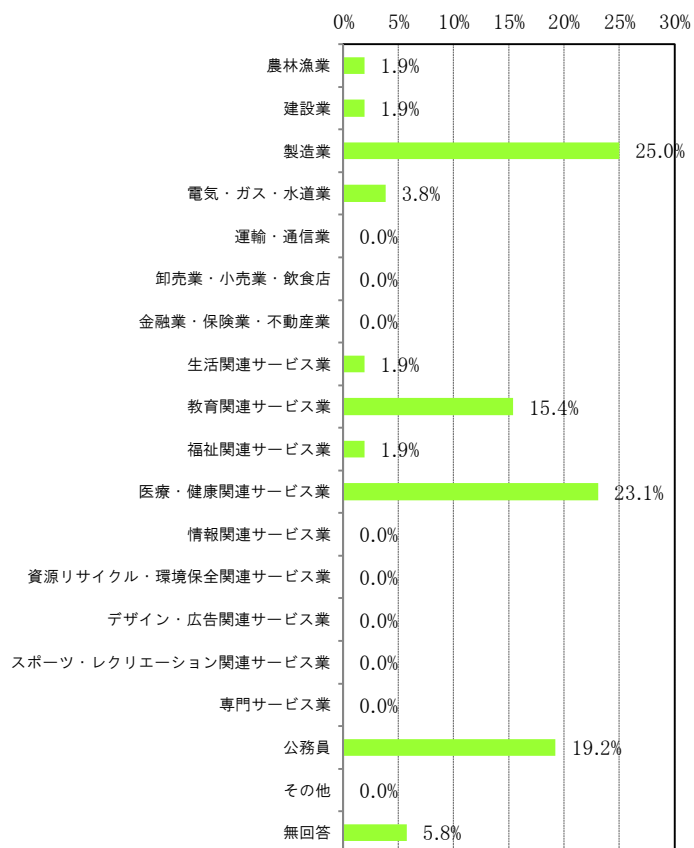
選択肢	件数	比率
1. 掛川市に自分が就きたいと思う仕事があるから	52	36.4%
2. 掛川市に住みたいから	61	42.7%
3. その他の理由があるから	13	9.1%
無回答	17	11.9%
計	143	100.0%

複数回答による集計除外5名



1. 掛川市に自分が就きたいと思う仕事があるから 自分が就きたいと思う仕事

選択肢	件数	比率
1. 農林漁業	1	1.9%
2. 建設業	1	1.9%
3. 製造業	13	25.0%
4. 電気・ガス・水道業	2	3.8%
5. 運輸・通信業	0	0.0%
6. 卸売業・小売業・飲食店	0	0.0%
7. 金融業・保険業・不動産業	0	0.0%
8. 生活関連サービス業	1	1.9%
9. 教育関連サービス業	8	15.4%
10. 福祉関連サービス業	1	1.9%
11. 医療・健康関連サービス業	12	23.1%
12. 情報関連サービス業	0	0.0%
13. 資源リサイクル・環境保全関連サービス業	0	0.0%
14. デザイン・広告関連サービス業	0	0.0%
15. スポーツ・レクリエーション関連サービス業	0	0.0%
16. 専門サービス業	0	0.0%
17. 公務員	10	19.2%
18. その他	0	0.0%
無回答	3	5.8%
計	52	100.0%



3. その他の理由があるから その他の理由

家から近いから	1件
家から就職した場所が近い方が楽だから	1件
掛川が好きだから	1件
近場がいい	1件
自宅があるため	1件
自宅から通いたいから	1件
自分のお世話になった母校で仕事をしたいから。	1件
自分の家から近いから	1件
実家で暮らすから	1件
親から近いところにいてほしいと言われているから。	1件
推薦で進学するときの決まりだから。本当はどこでもよい。	1件
どこでもいい	1件
無記入	1件

問9 問6で4または5を選んだ方、問7で2または3または4を選んだ方にお聞きします。

掛川市以外で就職したい理由は何ですか？次の中から1つ選んでください。

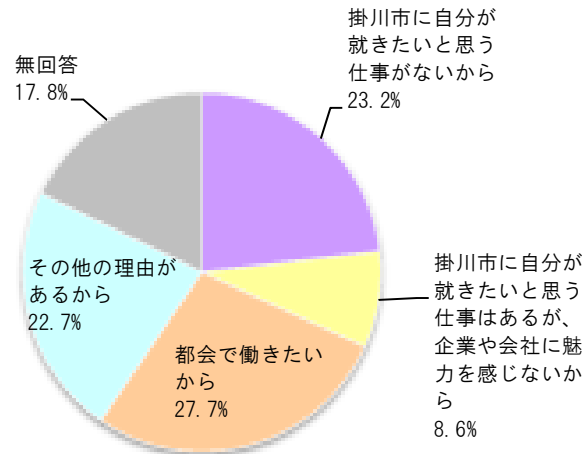
問6で「掛川市以外の県内で就職したい」「県外で就職したい」・・・ 122人

問7で「掛川市以外の県内で就職したい」「県外で就職したい」「外国で就職したい」・・・ 495人

計 617人

選択肢	件数	比率
1. 掛川市に自分が就きたいと思う仕事がないから	142	23.2%
2. 掛川市に自分が就きたいと思う仕事はあるが、企業や会社に魅力を感じないから	53	8.6%
3. 都会で働きたいから	170	27.7%
4. その他の理由があるから	139	22.7%
無回答	109	17.8%
計	613	100.0%

複数回答による集計除外4名

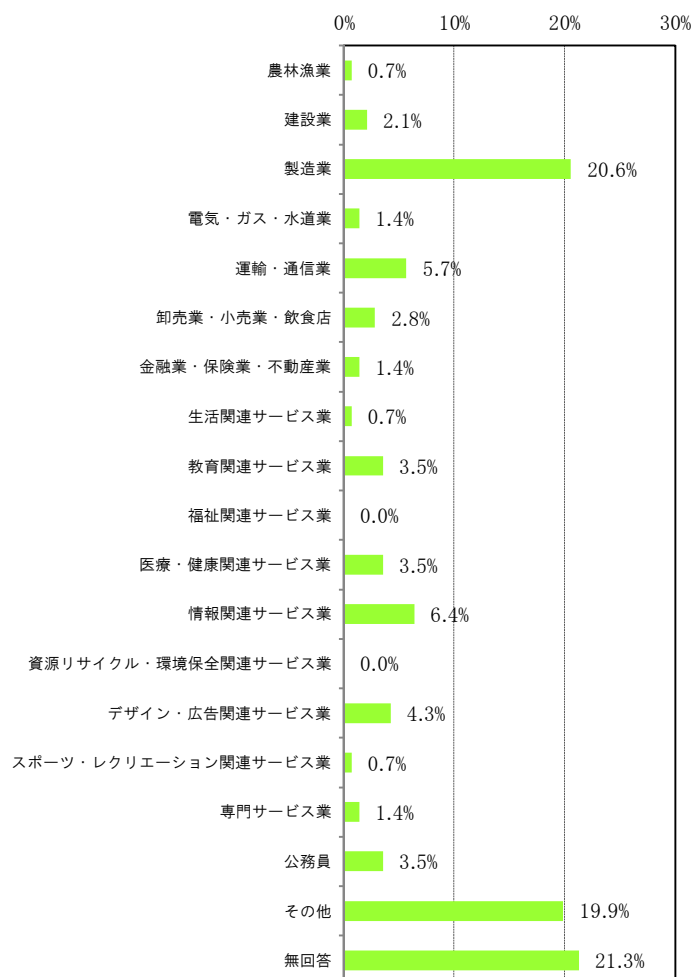


1. 掛川市に自分が就きたいと思う仕事がないから

自分が就きたいと思う仕事

選択肢	件数	比率
1. 農林漁業	1	0.7%
2. 建設業	3	2.1%
3. 製造業	29	20.6%
4. 電気・ガス・水道業	2	1.4%
5. 運輸・通信業	8	5.7%
6. 卸売業・小売業・飲食店	4	2.8%
7. 金融業・保険業・不動産業	2	1.4%
8. 生活関連サービス業	1	0.7%
9. 教育関連サービス業	5	3.5%
10. 福祉関連サービス業	0	0.0%
11. 医療・健康関連サービス業	5	3.5%
12. 情報関連サービス業	9	6.4%
13. 資源リサイクル・環境保全関連サービス業	0	0.0%
14. デザイン・広告関連サービス業	6	4.3%
15. スポーツ・レクリエーション関連サービス業	1	0.7%
16. 専門サービス業	2	1.4%
17. 公務員	5	3.5%
18. その他	28	19.9%
無回答	30	21.3%
計	141	100.0%

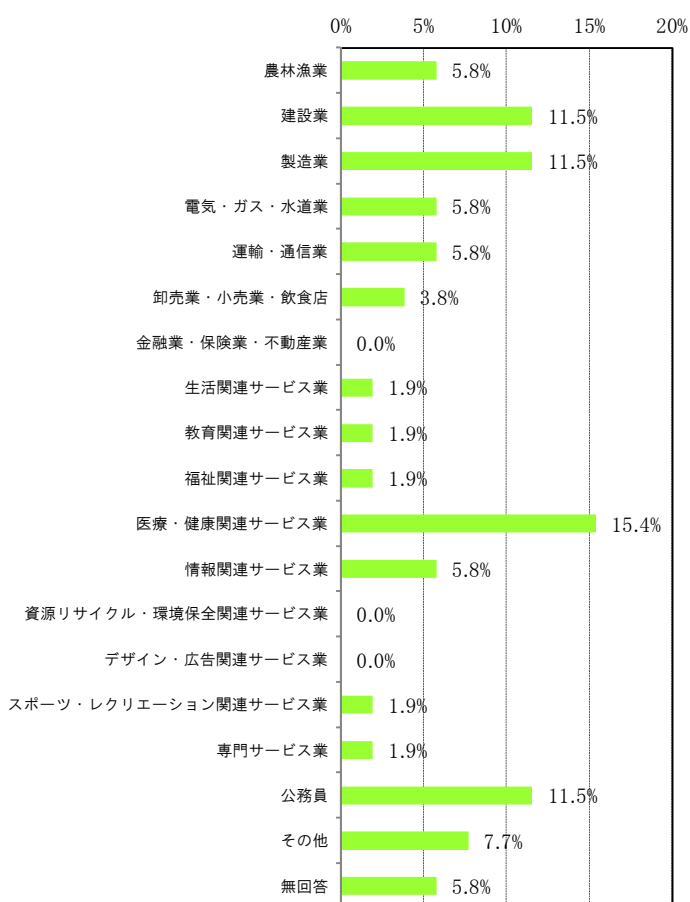
複数回答による集計除外1名



2. 掛川市に自分が就きたいと思う仕事はあるが、企業や会社に魅力を感じないから
自分が就きたいと思う仕事

選択肢	件数	比率
1. 農林漁業	3	5.8%
2. 建設業	6	11.5%
3. 製造業	6	11.5%
4. 電気・ガス・水道業	3	5.8%
5. 運輸・通信業	3	5.8%
6. 卸売業・小売業・飲食店	2	3.8%
7. 金融業・保険業・不動産業	0	0.0%
8. 生活関連サービス業	1	1.9%
9. 教育関連サービス業	1	1.9%
10. 福祉関連サービス業	1	1.9%
11. 医療・健康関連サービス業	8	15.4%
12. 情報関連サービス業	3	5.8%
13. 資源リサイクル・環境保全関連サービス業	0	0.0%
14. デザイン・広告関連サービス業	0	0.0%
15. スポーツ・レクリエーション関連サービス業	1	1.9%
16. 専門サービス業	1	1.9%
17. 公務員	6	11.5%
18. その他	4	7.7%
無回答	3	5.8%
計	52	100.0%

企業名(ヤマハ)回答による集計除外1名



掛川市以外での就職を希望した617人の理由は、全体では「都会で働きたいから」が27.7%と最も多くなっている。次いで「掛川市に自分が就きたいと思う仕事がないから」が23.2%、「その他の理由があるから」22.7%の順となっている。「その他の理由」としては「地元・家の近くで働きたい」という意見が多かった。(詳細は次頁)

「自分が就きたいと思うが掛川市にない仕事」としては、「無回答」21.3%が最も多く、「整備業」20.6%、「その他」19.9%の順となった。

「掛川市にあるが企業や会社に魅力を感じない仕事」としては、「医療・健康関連サービス業」15.4%、「建設業」11.5%、「製造業」11.5%、「公務員」11.5%がそれぞれ5人以上の回答を得た。

4. その他の理由があるから	その他の理由
----------------	--------

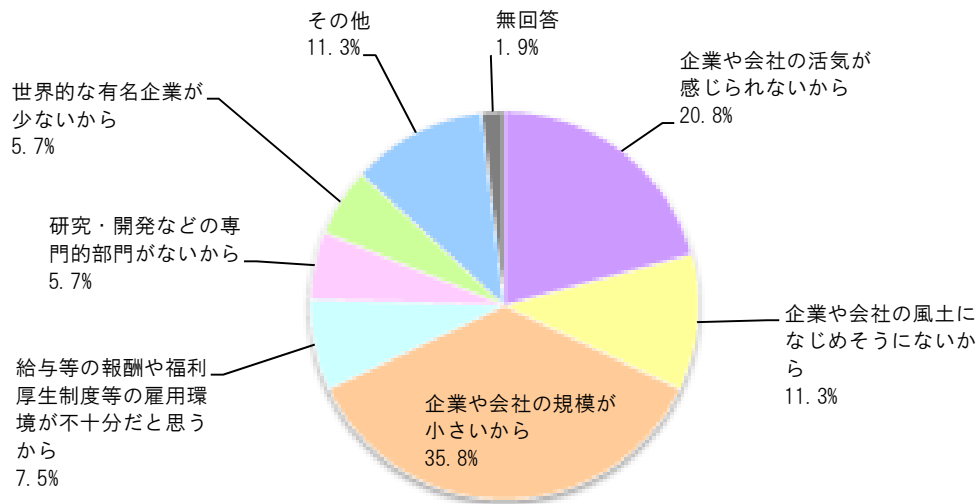
地元・家の近くで働きたいから	38件
無記入	22件
特にこだわりがないので、どこでも構わない。	8件
掛川市にこだわる理由がないから。	5件
県内で就職したい	3件
掛川市民ではないから	3件
一人暮らしがしたいから	2件
まだ決めていない。	2件
菊川市で就職したいから。	2件
自分の行きたい企業が掛川市にない	2件
他国で働きたいから	1件
親になるべく帰ってきてほしいと言われたから。	1件
田舎で自然のたくさんあるところに住みたいから。	1件
掛川の事を知らない	1件
静岡県内で就職したいので、掛川市内でも良いと思っている。	1件
掛川市が好きではないから。	1件
大手の企業が県内にないから	1件
違い場所で暮らしたい。	1件
働きたい会社が決まっており県外にあるから。	1件
どこに配属されるかわからない	1件
親元を離れて自立した生活がおくれるようになりたいから。	1件
菊川に行きたい会社があるから。	1件
選択肢にはないですが、場所には特にこだわりがないので掛川市含め県内でも県外でもどこでもいいです。	1件
家庭の事情	1件
袋井市で働きたいから。	1件
菊川市民だから。	1件
”他の県”その土地の風習、習慣などに興味があるから。	1件
距離が遠い	1件
都会の方が就職先が多くありそうだから。	1件
近いから	1件
森林関係の仕事につきたく、より多くの森林があるところで仕事をしたいから。	1件
警察なので、どこに行くかわからない。	1件
親のツテで就職するから。それが袋井にあるから。	1件
県外で一人暮らしをしたいから。	1件
生物系の研究職につきたい。	1件
外国で働きたいから	1件
静岡市にある病院で働きたいため。	1件
広島で過ごしたいから→掛川市より魅力があるところで働きたいから。	1件
他の県で就きたい職場があるから。	1件
今住んでいる島田市で就職したいため。	1件
袋井市で働きたい(掛川市でもいいですが…)。	1件
志望大学が県外のため、そこでの就職を考えている。	1件
大学卒業後についての就職場までは、考えていないから。	1件
自分の見る世界を静岡県内よりも広くしたいから。	1件
地域医療や僻地医療に貢献したいと考えていて、都会である掛川市よりは他の場所で経験を積みたいと思っているからです。	1件
働きたい会社が袋井市にあるから。	1件
地震があるから	1件
働きたい企業が袋井にあるから。	1件
田舎はこりごり、静岡県だるい。	1件
楽器の町である浜松で働きたいから	1件
東海地震が起きると被害が大きそうだから。	1件
NTNに就職したいから	1件

掛川の企業や会社についてあまり知らないので、特に理由はないが3と書いた。	1件
女子の求人があるから	1件
働く土地を選択できない。	1件
自分の実家にもっと近いか、自分の家より東方面で働きたいから。	1件
浜松医科大学附属病院で働きたいから。	1件
母校の中学校で働きたいから	1件
両親の実家が他県だから	1件
就きたい仕事は磐田にもあるから	1件
(病院の)レベルが低い、責任とかの問題で。	1件
就職したい企業が別にあるから	1件
計	139件

問10 問9で2を選んだ方にお聞きします。具体的に、掛川市の企業や会社に魅力を感じられない点は何か？次の中から1つ選んでください。

「掛川市に自分が就きたいと思う仕事はあるが、企業や会社に魅力を感じないから」・・・ 53人

選択肢	件数	比率
1. 企業や会社の活気が感じられないから	11	20.8%
2. 企業や会社の風土になじめそうにないから	6	11.3%
3. 企業や会社の規模が小さいから	19	35.8%
4. 給与等の報酬や福利厚生制度等の雇用環境が不十分だと思うから	4	7.5%
5. 研究・開発などの専門的部門がないから	3	5.7%
6. 世界的な有名企業が少ないから	3	5.7%
7. その他	6	11.3%
無回答	1	1.9%
計	53	100.0%

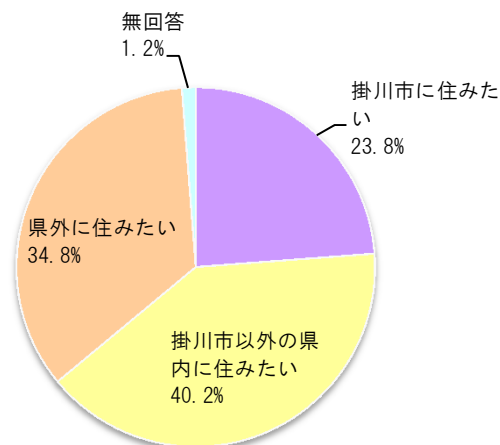


【7. その他の記入内容】

件数	記入内容
各1件	あまり掛川市の企業のことを知らないから。
	海外にしか興味がないです。
	自分の住んでいる市の方で働きたいから。
	他の会社に興味があるから
	袋井に住んでいるから。
	無記入

問11 皆さんにお聞きします。あなたは、高校や大学などを卒業して就職した時、掛川市に住みたいですか？次の中から1つ選んでください。

選択肢	件数	比率
1. 掛川市に住みたい	211	23.8%
2. 掛川市以外の県内に住みたい	356	40.2%
3. 県外に住みたい	308	34.8%
無回答	11	1.2%
計	886	100.0%



問12 問11で1を選んだ方にお聞きします。掛川市に住みたい理由は何ですか？

次の中から2つ以内で選んでください。

「掛川市に住みたい」・・・ 211人

選択肢	件数	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%
1. 長男または長女だから	26	12.3%						
2. 親と一緒に住みたいから	30	14.2%						
3. 友人から離れたくないから	23	10.9%						
4. 掛川市が一番住みやすいと思うから	115	54.5%						
5. 掛川市に自分が就きたいと思う仕事があるから	29	13.7%						
6. その他	26	12.3%						
無回答	2	0.9%						
計	251							

※3つ以上回答した人

1人

複数回答

【6. その他の記入内容】

件数	記入内容	
4件	特に理由はない	
3件	地元が好きだから	
各2件	住みなれてるから	
	住みやすいと思うから	
各1件	お店が自分の地域よりたくさんあるから	思い出があるから
	ひいおばあちゃんいる。	自然豊か
	まつり	新幹線がとまるから
	移動するのがめんどうだから	親と一緒にでなくとも近い方がいい。
	駅があるから	本当はどこでもよいが、しいて言うなら。
	家が一番楽だから	無記入
	今住んでる家があるから	

問13 問11で2または3を選んだ方にお聞きします。掛川市に住みたくない理由は何ですか？

次の中から2つ以内で選んでください。

「掛川市以外の県内に住みたい」「県外に住みたい」・・・ 664人

選択肢	件数	0%	10%	20%	30%	40%
1. 生活が不便だから	46		6.9%			
2. 掛川市に賑わいや活気が感じられないから	33		5.0%			
3. 掛川市に愛着がないから	111			16.7%		
4. 家族から離れて自立した生活を送りたいから	99			14.9%		
5. 掛川市に自分が就きたいと思う仕事がないから	80			12.0%		
6. もっと都会に出たいから	136			20.5%		
7. 特に理由はない・なんとなくそう思っているから	215				32.4%	
8. その他	78			11.7%		
無回答	18		2.7%			
計	816					

※3つ以上回答した人

3人

複数回答

【8. その他の記入内容】

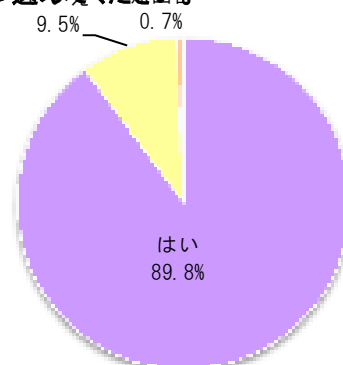
件数	記入内容
10件	菊川市に住みたいから・菊川市民だから
7件	地元に住みたいから
7件	今の家・実家に住みたいから
6件	家が袋井市にあるから
3件	職場に近い所に住みたいから
各2件	自分の家が島田市だから 磐田に住みたい
各1件	アニメの放映が少ない。娯楽が少ない。 なぜか落ち着かない まだ考えていない。 もともと住んでた岐阜にもどりたいから。 駅付近にも関わらず、若者が利用しやすい施設がないから。 掛川に住んでもいいけど、住まなくてもいい。とりあえず県内。 菊川も掛川もそんなに変わらないから。 警察官になりたいので、自宅の近くに住むことはできないからです。 研究機関がないから。 県外で仕事につくなら、県外に住みたい。 県内ならいい 原発に近いから 御前崎(実家)とそれほど遠くないからわざわざ住む理由がない 自分の働きたい場所が県外にあるから。 住みたい市があるから 住めればどこでも良いが、選択になかったため 出身が掛川でない 将来、自分の就きたい職が決まっているから。 森林関係の仕事につきたく、より多くの森林があるところで仕事をしたいから。 選択肢にはないですが、場所には特にこだわりがないので掛川市含め県内でも県外でもどこでもいいです。 騒音、工事が多いイメージあり 他の所に出てみたいから。 地元が御前崎だから 地元に住んでも世界が狭いままだから。広い世界を経験したい。 中遠えん総合医療センターが遠い。 津波等、地震のときにもっと安全な内部にいたい。 働きたいところが静岡にあるため。 別に掛川でも良い。選択しなければいけないから。
5件	無記入

問14 あらためて皆さんにお聞きします。

あなたが将来築きたい理想の家族像に関して、以下の(1)～(3)の設問にお答えください。

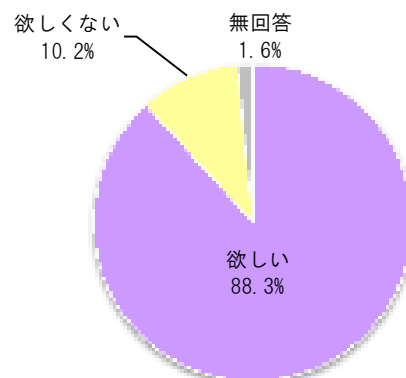
(1) あなたは、将来結婚したいと考えていますか？次の中から1つ選んでください。

選択肢	件数	比率
1. はい	796	89.8%
2. いいえ	84	9.5%
無回答	6	0.7%
計	886	100.0%



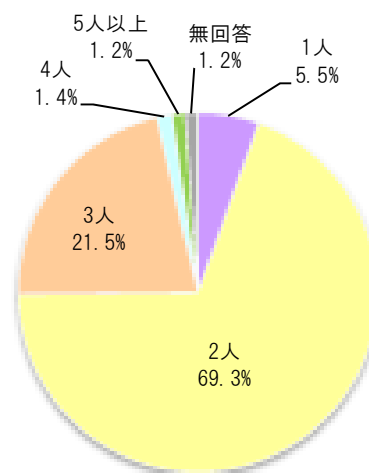
(2) 将来、子どもは何人くらい欲しいですか？次の中から1つ選んでください。

選択肢	件数	比率
1. 欲しい	782	88.3%
2. 欲しくない	90	10.2%
無回答	14	1.6%
計	886	100.0%



【ほしいと思う子どもの人数】

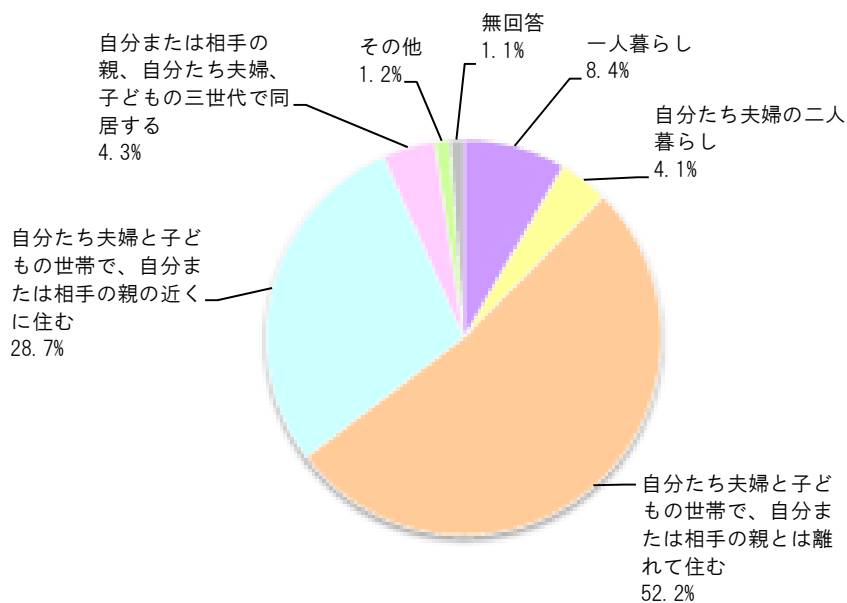
選択肢	件数	比率
1. 1人	43	5.5%
2. 2人	542	69.3%
3. 3人	168	21.5%
4. 4人	11	1.4%
5. 5人以上	9	1.2%
無回答	9	1.2%
計	782	100.0%



(3) あなたが理想とする家族はどのような形態ですか？次の中から1つ選んでください。

選択肢	件数	比率
1. 一人暮らし	74	8.4%
2. 自分たち夫婦の二人暮らし	36	4.1%
3. 自分たち夫婦と子どもの世帯で、自分または相手の親とは離れて住む	461	52.2%
4. 自分たち夫婦と子どもの世帯で、自分または相手の親の近くに住む	253	28.7%
5. 自分または相手の親、自分たち夫婦、子どもの三世代で同居する	38	4.3%
6. その他	11	1.2%
無回答	10	1.1%
計	883	100.0%

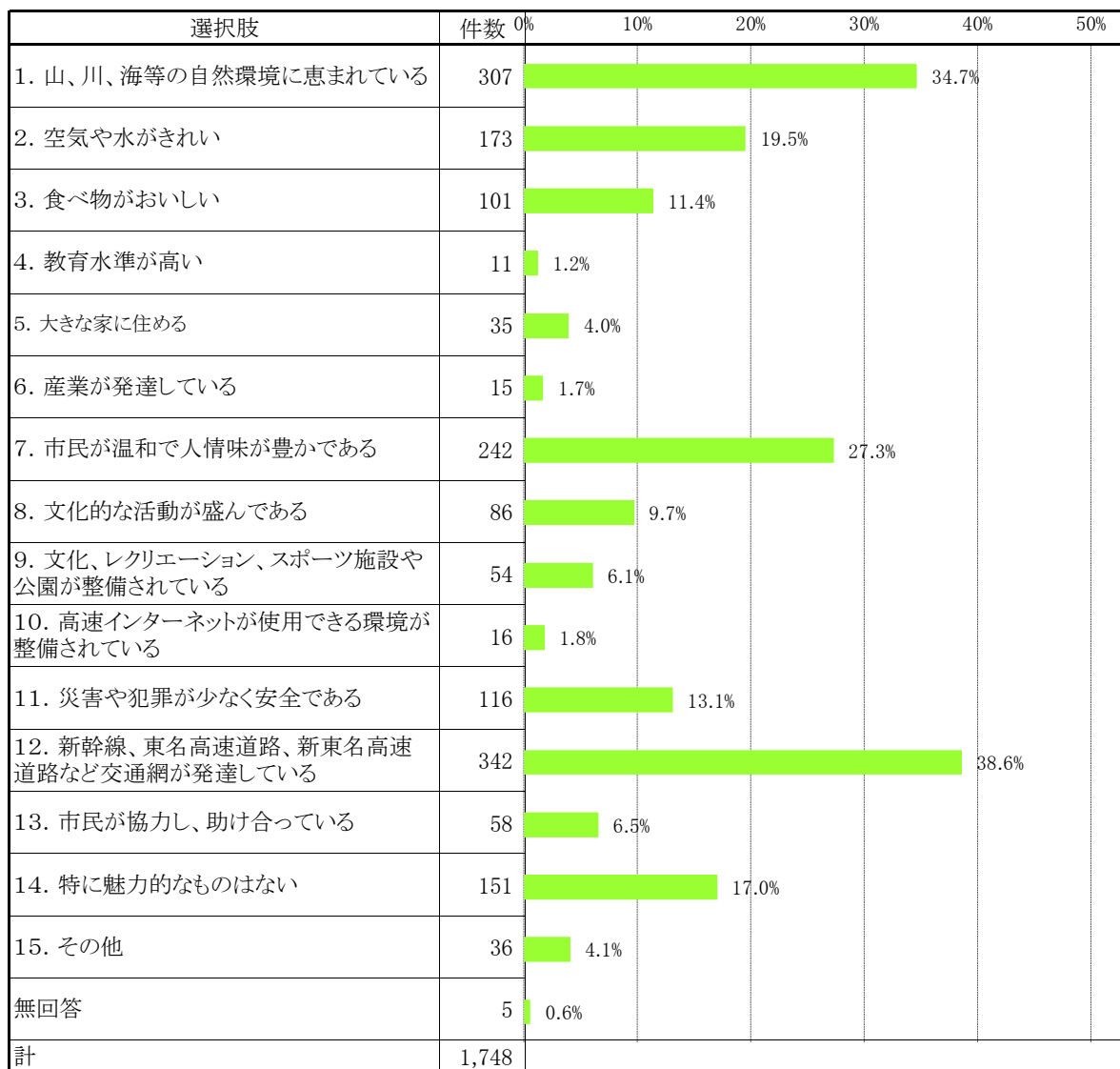
複数回答による集計除外3名



【6. その他の記入内容】

件数	記入内容
4件	特に考えていない
各1件	状況による
	別居
	自分たち夫婦と祖父母
	特にこだわりはない
	自分と親
	一人暮らしでなければどうでもいい。
	若い時は3、年とったら5

問15 あなたにとって、掛川市の魅力は何ですか？次の中から3つ以内で選んでください。



※4つ以上回答した人

8人

複数回答

【15. その他の記入内容】

件数	記入内容	
10件	よく分からない・知らない	
各4件	祭り・イベントがある	
	掛川城・城下町	
2件	お茶の香りが感じられる・お茶がおいしい	
各1件	コンビニが近くにある	栄川の人たちがすごくいい人。
	田舎だが、ある程度は店があるところ。	掛川西のみんながいい人なところ。
	昭和堂があるところ	母校がある
	さんりーなが良い。	地元の友達が素敵
	ロックタウンが近い	工業系の会社が多い
	過しやすい気候	新幹線が通ってる
	街の雰囲気が良い	野池がたくさんある。
	さわやか	特にない

掛川市の魅力は、全体では「新幹線、東名高速道路、新東名高速道路など交通網が発達している」が38.6%でもっとも多く、交通利便性を魅力と感じている人が多かった。次いで「山、川、海等の自然環境に恵まれている」34.7%、「市民が温和で人情味が豊かである」27.3%の順となっている。

問16 あなたにとって、掛川市に足りないものは何ですか？次の中から3つ以内で選んでください。

選択肢	件数	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%
1. 魅力ある大学などの高等教育機関・研究機関	175			19.8%					
2. 公園や文化施設	97		10.9%						
3. 通勤、通学、買い物など、日常生活を送る上での公共交通機関の利便性	204			23.0%					
4. 有名な進学塾	51		5.8%						
5. まちのにぎわい	243			27.4%					
6. 魅力ある企業・就職先	120		13.5%						
7. ITやロボットなどの先進的企業	60		6.8%						
8. 魅力あるイベント・コンサート	163			18.4%					
9. レクリエーション・スポーツ施設	133			15.0%					
10. 流行の商品が買える店・大規模店	481							54.3%	
11. 現状に満足しており、特に足りないものはない	79		8.9%						
12. その他	46		5.2%						
無回答	11		1.2%						
計	1,863								

※3つ以上回答した人 377人

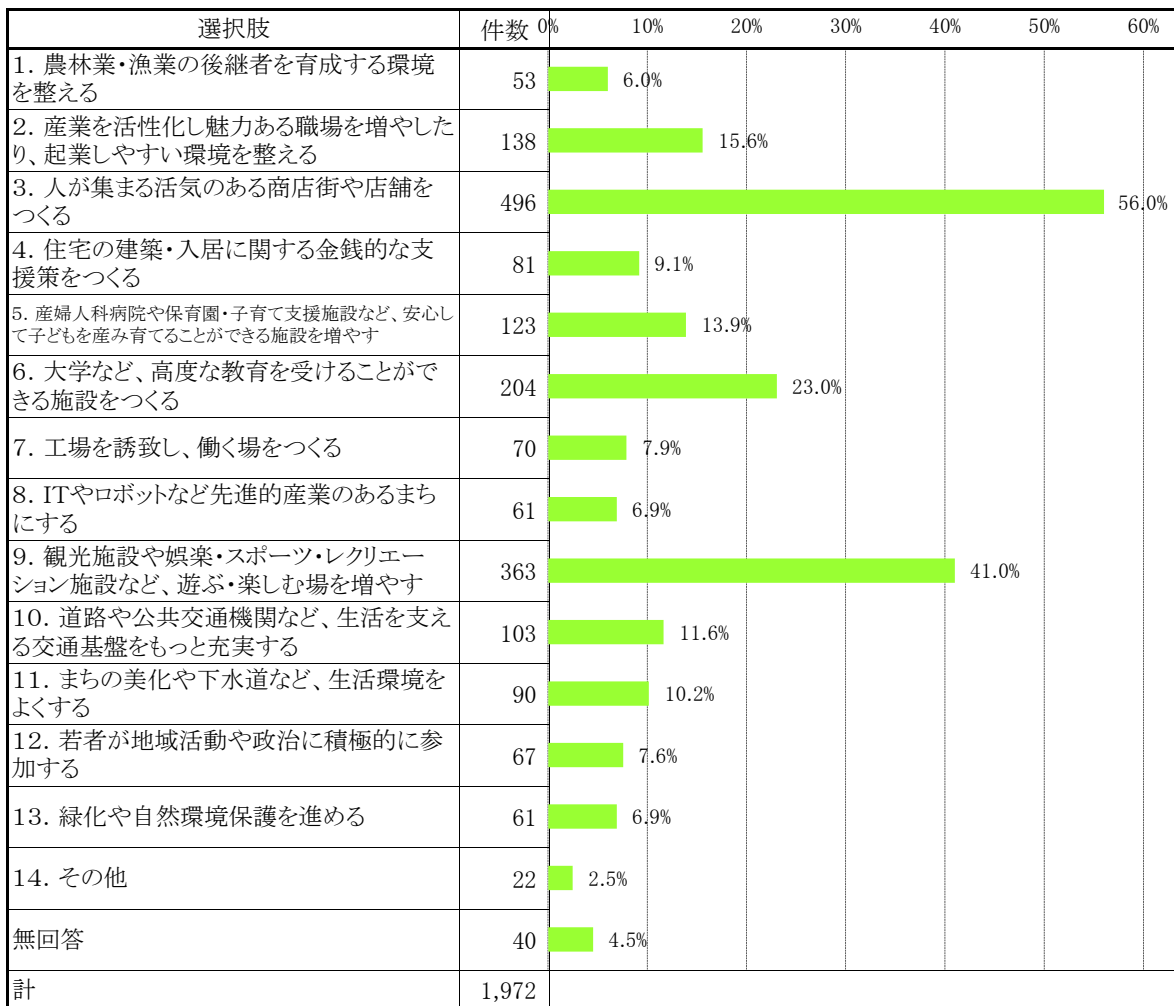
複数回答

【12. その他の記入内容】

件数	記入内容	件数	記入内容
5件	よく分からない・知らない	各1件	きれい(清潔)な建物や施設がない。
各2件	コンビニエンスストアが少ない		きれいな街(ゴミのない)
	映画館		こだま以外のとまる環境
	駅周辺に施設がない		温和で人情味が豊かな市民、有能な市長。
各1件	大きなショッピングモール		高速インターネットが使用できる設備。
	大きな建物で、パツとするものがない。		市内の景観(城下)をそろえるべき
	商店街のにぎわい、城や城下町のPR		病院の質(中東遠のレベルの低さ)
	商店街をアピールすべき		菊川市民なので掛川市はわかりません。
	城下町を生かしたお店。		資金
	飲食店		水産系の ※記入通り
	楽器屋		想像力
	商業施設		特に電車
	デパート		農業施設
	大型ショッピングモール、バスケットゴール		ゴミ処理施設
	サッカー場		シンプルさ
	バスケットコート		ない
	バスケットやサッカーができる公園がある。		アニメ
	学生が十分に勉強できる施設。図書館が5時で閉館してしまうので。		無記入
	学生が夜遅くまで勉強できる施設		
	大学		
	勉強施設		

掛川市に足りないものは、全体では「流行の商品が買える店・大規模店」が54.3%でもっとも多く、半数を超える回答を得た。

問17 皆さんのような若い世代の方々が、掛川市に愛着を持ち、魅力を感じて、「掛川市に住みたい」「掛川市で働きたい」と思うようになるためには、今後どのような取組が必要だと思いますか？次の中から3つ以内で選んでください。



※3つ以上回答した人 431人

複数回答

【14. その他の記入内容】

件数	記入内容		
2件	分からない	スタバがほしい	今さら遅いと思う
各1件	お金をわける	市民税を安くする	都会に近づけていく。
	お店を充実させる	大手の会社	現状がわからない
	サッカーができる所を増やす。	町の活気を取りもどす	特になし
	スポーツ環境をよくする。(バスケットボール)		
	とにかく遊び場がないと思います。家の中でもやることない。外もなにもない。スポーツセンターやレクリエーション施設などがほしいですね。そして、たまにいくのではなく(つま恋とか週1〜2)いきませんか？日常的に行けるお店やショッピングモールがほしいですね。(大きいやつ)カフェや喫茶店もあまりないのでほしいです。よりよい環境、期待しています。		
	学生がLIVEできるような会場をつくる。		
	学生が勉強するための施設		
	菊川市や袋井市などと合併して、規模を大きくする。		
	大型ショッピングモールをつくれ。ガス代安くしろ。交通の便を良くしろ。		
3件	無記入		

今後必要な取り組みは、全体では「人が集まる活気のある商店街や店舗をつくる」56.0%がもっとも多く半数を超える回答を得た。次いで、「観光施設や娯楽・スポーツ・レクリエーション施設など、遊ぶ・楽しむ場を増やす」41.0%、「大学など、高度な教育を受けることができる施設をつくる」23.0%の順となった。

3 . 転入者理由調査

(1) 調査概要

- 1 調査目的

我が国は2008年をピークに人口減少が続き、この状況が続けば「人口減少が地域経済の縮小を呼び、地域経済の縮小が人口減少を加速させる」という負のスパイラルに陥るリスクが高まる。

掛川市の人口は、2010年で116,363人となっているが、国立社会保障・人口問題研究所によると、2040年には10万人を割り込むと推計されており、人口減少問題への対策が急務となっている。

この問題に対応し、かつさらに掛川市を発展させていくため、掛川市では今後の掛川市の中長期的な市政運営の指針を示す第2次掛川市総合計画（掛川市地域創生総合戦略）の策定を進めている。

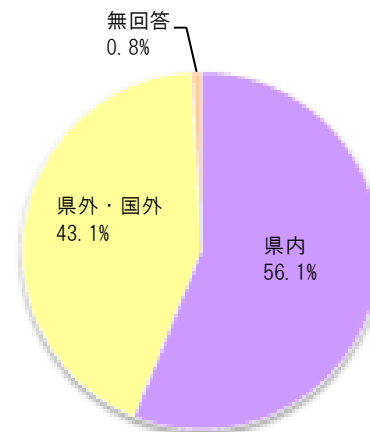
市民サービスの向上と着実な行政運営に活かすとともに、第2次掛川市総合計画（掛川市地域創生総合戦略）の策定に役立てるため、転入者理由調査を実施する。
- 2 調査対象 平成27年3月1日～5月31日に転入届をされた方 738 人
- 3 抽出方法 —
- 4 調査方法 市民課窓口への届出時に記入
- 5 調査期間 平成27年3月～5月
- 6 回収結果 738 票
- 7 有効回答数（率） 738 票 （ — ）
- 8 報告書を読むに当たっての留意点
 - 回答比率は全て百分率で表し、小数点第1位または第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならないことがあります。
 - 複数回答の設問では、回答者数を基数としているため、百分率の合計は100%を上まわります。

人口移動に関するアンケート調査【転入】

問1 転入前にお住まいの市町村について

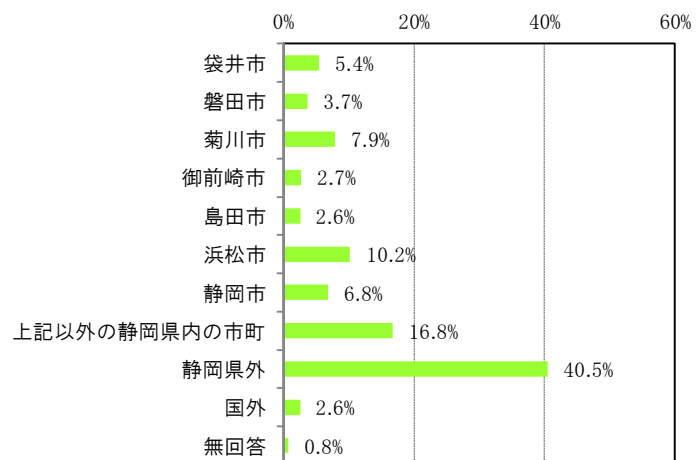
選択肢	件数	比率
県内	412	56.1%
県外・国外	316	43.1%
無回答	6	0.8%
計	734	100.0%

複数回答による集計除外4人



選択肢	件数	比率
1. 袋井市	40	5.4%
2. 磐田市	27	3.7%
3. 菊川市	58	7.9%
4. 御前崎市	20	2.7%
5. 島田市	19	2.6%
6. 浜松市	75	10.2%
7. 静岡市	50	6.8%
8. 上記以外の静岡県内の市町	123	16.8%
9. 静岡県外	297	40.5%
10. 国外	19	2.6%
無回答	6	0.8%
計	734	100.0%

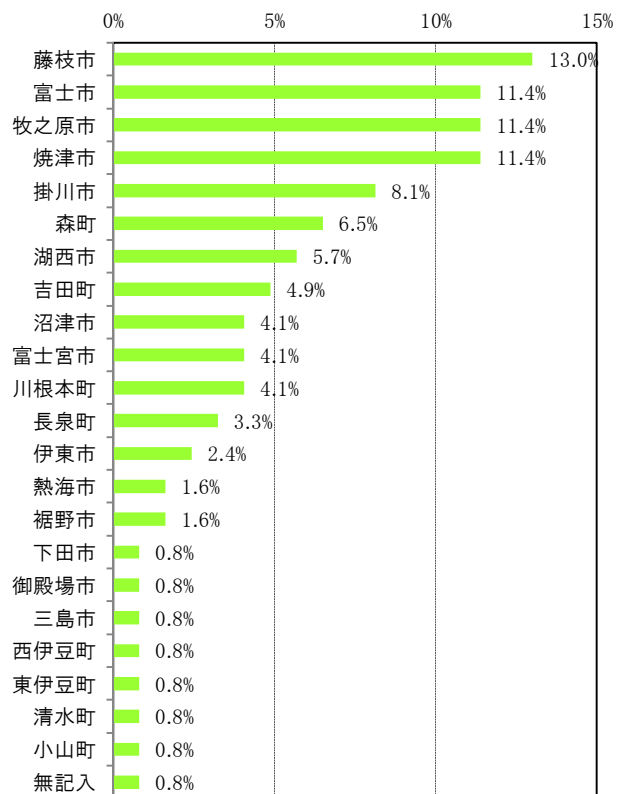
複数回答による集計除外4人



-81ページ番号-

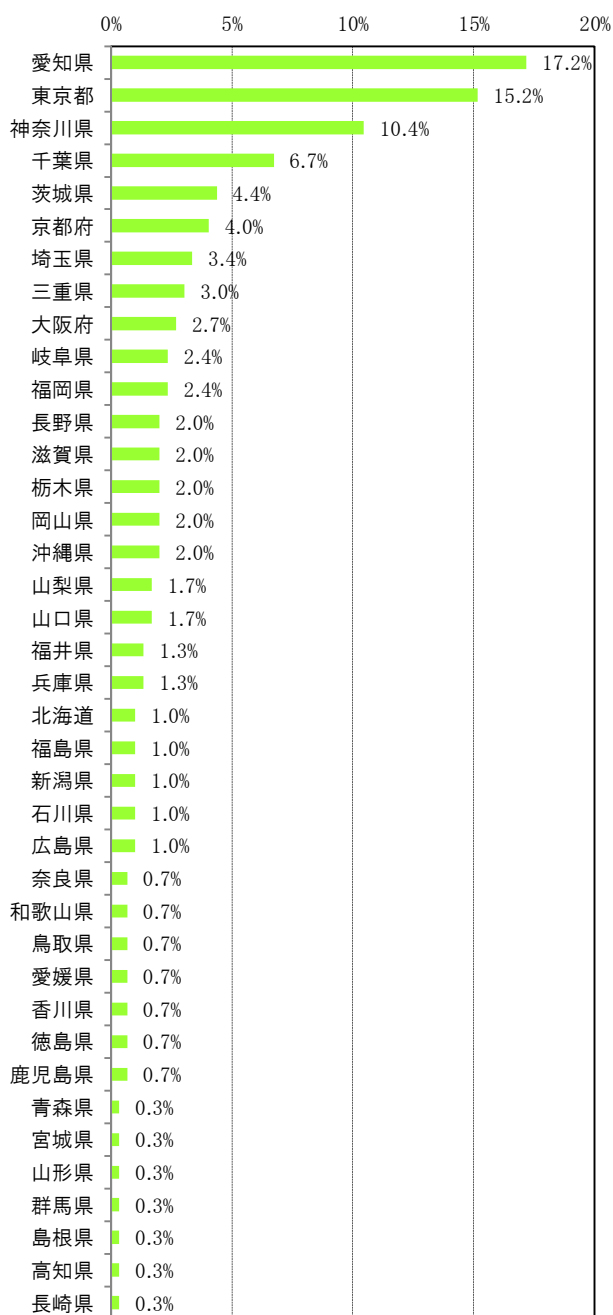
【8. 上記以外の静岡県内の市町】

市町名	件数	比率
藤枝市	16	13.0%
富士市	14	11.4%
牧之原市	14	11.4%
焼津市	14	11.4%
掛川市	10	8.1%
森町	8	6.5%
湖西市	7	5.7%
吉田町	6	4.9%
沼津市	5	4.1%
富士宮市	5	4.1%
川根本町	5	4.1%
長泉町	4	3.3%
伊東市	3	2.4%
熱海市	2	1.6%
裾野市	2	1.6%
下田市	1	0.8%
御殿場市	1	0.8%
三島市	1	0.8%
西伊豆町	1	0.8%
東伊豆町	1	0.8%
清水町	1	0.8%
小山町	1	0.8%
無記入	1	0.8%
計	123	100.0%



【9. 静岡県外】

都道府県名	件数	比率
愛知県	51	17.2%
東京都	45	15.2%
神奈川県	31	10.4%
千葉県	20	6.7%
茨城県	13	4.4%
京都府	12	4.0%
埼玉県	10	3.4%
三重県	9	3.0%
大阪府	8	2.7%
岐阜県	7	2.4%
福岡県	7	2.4%
長野県	6	2.0%
滋賀県	6	2.0%
栃木県	6	2.0%
岡山県	6	2.0%
沖縄県	6	2.0%
山梨県	5	1.7%
山口県	5	1.7%
福井県	4	1.3%
兵庫県	4	1.3%
北海道	3	1.0%
福島県	3	1.0%
新潟県	3	1.0%
石川県	3	1.0%
広島県	3	1.0%
奈良県	2	0.7%
和歌山県	2	0.7%
鳥取県	2	0.7%
愛媛県	2	0.7%
香川県	2	0.7%
徳島県	2	0.7%
鹿児島県	2	0.7%
青森県	1	0.3%
宮城県	1	0.3%
山形県	1	0.3%
群馬県	1	0.3%
島根県	1	0.3%
高知県	1	0.3%
長崎県	1	0.3%
計	297	100.0%



回答者の転入前の居住地は、「県内」56.1%、「県外・国外」43.1%で県内からの転入がやや多い。

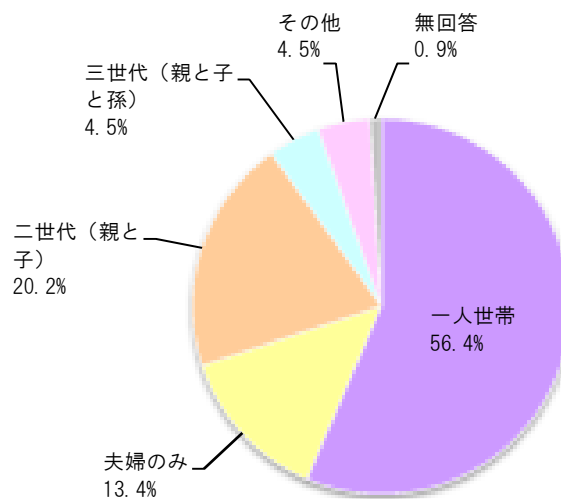
県内では「浜松市」10.2%、「菊川市」7.9%、「静岡市」6.8%の順に多いが、16.8%の回答があった「上記以外の静岡県内の市町」の内訳としては、「藤枝市」「富士市」「牧之原市」「焼津市」にそれぞれ10件を超える回答があった。

「静岡県外」では、「愛知県」が51件で最も多く、次いで「東京都」45件、「神奈川県」31件となっている。

問2 転入される世帯の構成について

選択肢	件数	比率
1. 一人世帯	416	56.4%
2. 夫婦のみ	99	13.4%
3. 二世帯(親と子)	149	20.2%
4. 三世帯(親と子と孫)	33	4.5%
5. その他	33	4.5%
無回答	7	0.9%
計	737	100.0%

複数回答による集計除外1人



回答者の世帯構成は「一人世帯」が56.4%で半数以上を占め、次いで「二世帯」20.2%、「夫婦のみ」13.4%の順となっており、「三世帯」は4.5%と少なかった。

「その他」4.5%は記入内容から同居人・子・婚約者・友人等となっている。

【5. その他の記入内容】

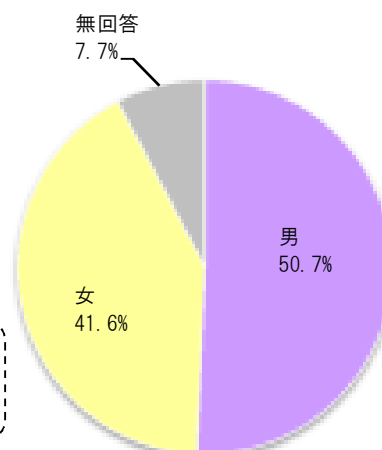
件数	記入内容
5件	同居人
3件	子
2件	婚約者
2件	友人
各1件	世帯の一部 寮
	4世代 施設1人
	妻のみ 親と孫
15件	無記入

問3 転入される方の年齢・性別

【性別】

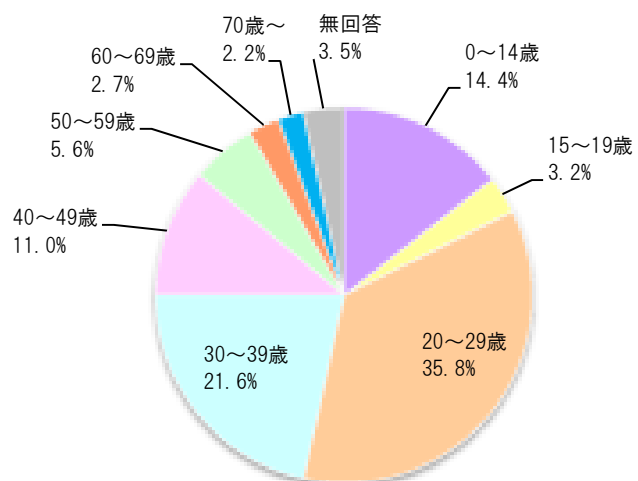
選択肢	件数	比率
1. 男	552	50.7%
2. 女	453	41.6%
無回答	84	7.7%
計	1,089	100.0%

転入者の性別は、「男性」50.7%、「女性」41.6%で男性がやや多くなっている。



【年齢】

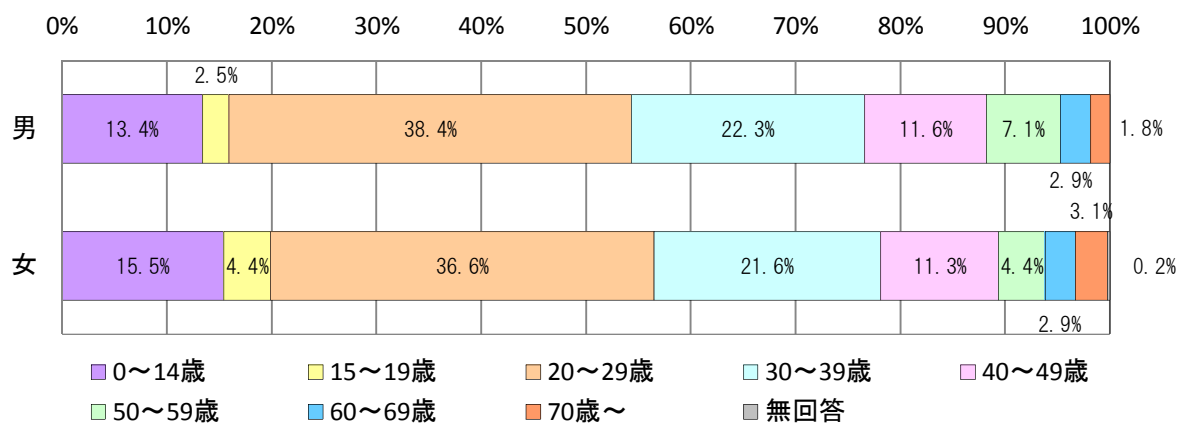
選択肢	件数	比率
1. 0～14歳	157	14.4%
2. 15～19歳	35	3.2%
3. 20～29歳	390	35.8%
4. 30～39歳	235	21.6%
5. 40～49歳	120	11.0%
6. 50～59歳	61	5.6%
7. 60～69歳	29	2.7%
8. 70歳～	24	2.2%
無回答	38	3.5%
計	1,089	100.0%



転入者の年代は、「20～29歳」が35.8%、「30～39歳」が21.6%、「0～14歳」が14.4%で、この3つの世代で転入者の7割を超える。若い世代では「15～19歳」が3.2%と目立って少ない。

【年齢・性別】

選択肢	男		女		性別無回答		計	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率
1. 0～14歳	74	13.4%	70	15.5%	13	15.5%	157	14.4%
2. 15～19歳	14	2.5%	20	4.4%	1	1.2%	35	3.2%
3. 20～29歳	212	38.4%	166	36.6%	12	14.3%	390	35.8%
4. 30～39歳	123	22.3%	98	21.6%	14	16.7%	235	21.6%
5. 40～49歳	64	11.6%	51	11.3%	5	6.0%	120	11.0%
6. 50～59歳	39	7.1%	20	4.4%	2	2.4%	61	5.6%
7. 60～69歳	16	2.9%	13	2.9%	0	0.0%	29	2.7%
8. 70歳～	10	1.8%	14	3.1%	0	0.0%	24	2.2%
無回答	0	0.0%	1	0.2%	37	44.0%	38	3.5%
計	552	100.0%	453	100.0%	84	100.0%	1,089	100.0%



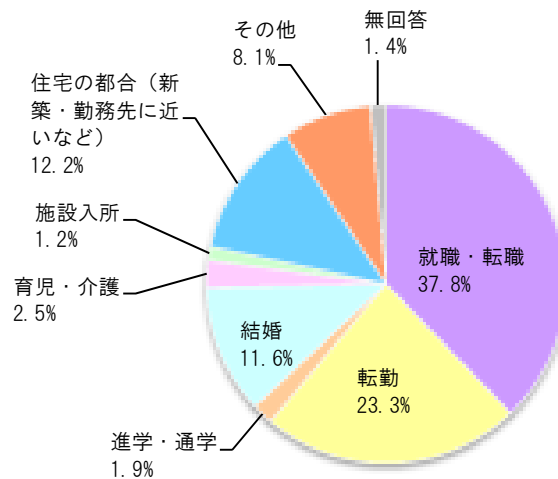
転出者の年齢を性別で見ると、男女ともに30歳代以下が8割近くを占めており、男女とも「20～29歳」が38.4%と36.6%でもっとも多くなっている。次いで、「30～39歳」が22.3%と21.6%、「0～14歳」が13.4%と15.5%の順となっている。

40歳代以上についても男女でほぼ同様の割合となっており、全体に性別による年齢差は特に見られなかった。

問4 転入される理由

選択肢	件数	比率
1. 就職・転職	276	37.8%
2. 転勤	170	23.3%
3. 進学・通学	14	1.9%
4. 結婚	85	11.6%
5. 育児・介護	18	2.5%
6. 施設入所	9	1.2%
7. 住宅の都合(新築・勤務先に近いなど)	89	12.2%
8. その他	59	8.1%
無回答	10	1.4%
計	730	100.0%

複数回答による集計除外8人



転入の理由としては、「就職・転職」が37.8%でもっとも多く、次いで「転勤」23.3%と仕事に関連する理由が6割以上を占めた。「住宅の都合」は12.2%、「結婚」は11.6%となっているが、「施設入所」1.2%、「育児・介護」2.5%は少なかった。

「その他」は8.1%だが、記入内容から退職、離婚、家庭の都合等となっている。中には「仕事の都合」ではないかと推察されるものも含まれるが、回答者の意志を尊重して回答通りの整理とした。

【8. その他の記入内容】

件数	記入内容
各2件	家庭の都合
	退職
	離婚
各1件	離婚のため
	海外から帰って来た。
	駐在勤務からの帰任
	帰省
	気分
	近々掛川で暮らす予定あり。
	国保加入
	自営
	自宅介護
	就職活動
	住替え
	諸事情による
	相続
	騒音問題により
	病院通院等の為
	特に理由ありません。
37件	無記入

4 . 転出者理由調査

(1) 調査概要

- 1 調査目的

我が国は2008年をピークに人口減少が続き、この状況が続けば「人口減少が地域経済の縮小を呼び、地域経済の縮小が人口減少を加速させる」という負のスパイラルに陥るリスクが高まる。

掛川市の人口は、2010年で116,363人となっているが、国立社会保障・人口問題研究所によると、2040年には10万人を割り込むと推計されており、人口減少問題への対策が急務となっている。

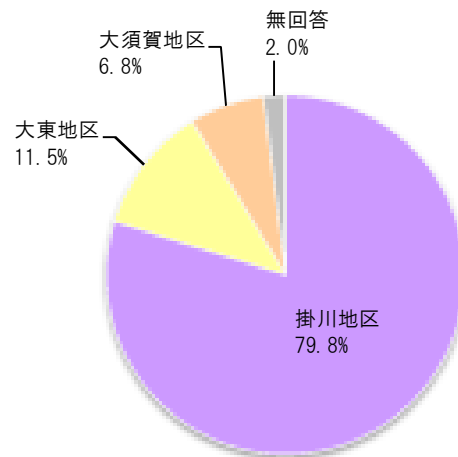
この問題に対応し、かつさらに掛川市を発展させていくため、掛川市では今後の掛川市の中長期的な市政運営の指針を示す第2次掛川市総合計画（掛川市地域創生総合戦略）の策定を進めている。

市民サービスの向上と着実な行政運営に活かすとともに、第2次掛川市総合計画（掛川市地域創生総合戦略）の策定に役立てるため、転出者理由調査を実施する。
- 2 調査対象 平成27年3月1日～5月31日に転出届をされた方 767 人
- 3 抽出方法 —
- 4 調査方法 市民課窓口への届出時に記入
- 5 調査期間 平成27年3月～5月
- 6 回収結果 767 票
- 7 有効回答数（率） 767 票 （ — ）
- 8 報告書を読むに当たっての留意点
 - 回答比率は全て百分率で表し、小数点第1位または第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならないことがあります。
 - 複数回答の設問では、回答者数を基数としているため、百分率の合計は100%を上まわります。

人口移動に関するアンケート調査【転出】

問1 転出される方がお住まいいただいた地区

選択肢	件数	比率
1. 掛川地区	612	79.8%
2. 大東地区	88	11.5%
3. 大須賀地区	52	6.8%
無回答	15	2.0%
計	767	100.0%



回答者の転出前の居住地は、「掛川地区」79.8%、「大東地区」11.5%、「大須賀地区」6.8%で掛川地区が全体の約8割を占めている。掛川市全体の地域別別人口(平成27年6月末日現在)の比率と比較すると、大東地区と大須賀地区の比率がやや低く、掛川地区がやや高くなっているものの、概ね同様の結果となっている。

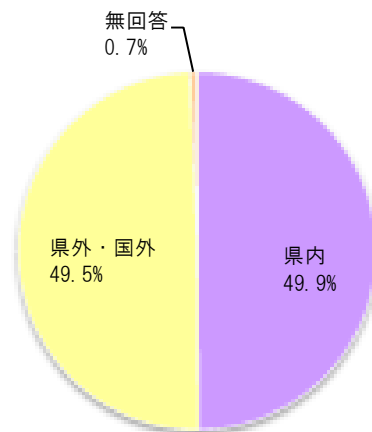
■ 掛川市 中学校区別人口(H27年6月末日現在)

地区	件数	比率
1. 掛川地区	85,827	73.0%
2. 大東地区	20,377	17.3%
3. 大須賀地区	11,323	9.6%
計	117,527	100.0%

問2 転出先

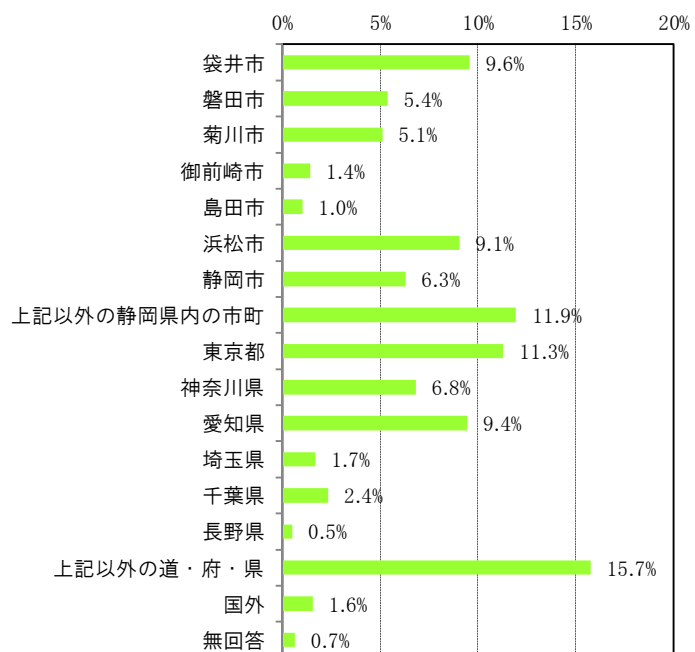
選択肢	件数	比率
県内	380	49.9%
県外・国外	377	49.5%
無回答	5	0.7%
計	762	100.0%

複数回答による集計除外5人



	選択肢	件数	比率
県内	1. 袋井市	73	9.6%
	2. 磐田市	41	5.4%
	3. 菊川市	39	5.1%
	4. 御前崎市	11	1.4%
	5. 島田市	8	1.0%
	6. 浜松市	69	9.1%
	7. 静岡市	48	6.3%
	8. 上記以外の静岡県内の市町	91	11.9%
県外・国外	1. 東京都	86	11.3%
	2. 神奈川県	52	6.8%
	3. 愛知県	72	9.4%
	4. 埼玉県	13	1.7%
	5. 千葉県	18	2.4%
	6. 長野県	4	0.5%
	7. 上記以外の道・府・県	120	15.7%
	8. 国外	12	1.6%
	無回答	5	0.7%
	計	762	100.0%

複数回答による集計除外5人



回答者の転出先は、「県内」49.9%、「県外・国外」49.5%でほぼ半々となっている。

県内では「袋井市」9.6%、「浜松市」9.1%、「静岡市」6.3%の順に多いが、11.9%の回答があった「上記以外の静岡県内の市町」の内訳としては、「藤枝市」「焼津市」「富士宮市」「富士市」にそれぞれ10件前後の回答があった。

「県外・国外」では、「東京都」11.3%が最も多く、次いで隣接する「愛知県」9.4%、東京都に近い「神奈川県」6.8%となっている。15.7%の回答があった「上記以外の道・府・県」の内訳としては、「大阪府」「兵庫県」「北海道」「京都府」にそれぞれ10件以上の回答があった。

県内【8. 上記以外の静岡県内の市町】

市町名	件数	市町名	件数
藤枝市	11	裾野市	1
焼津市	9	松崎町	1
富士宮市	9	函南町	1
富士市	9	湖西市	4
長泉町	7	御殿場市	4
沼津市	6	三島市	4
森町	6	下田市	2
牧之原市	5	静岡市	2
伊東市	4	無記入	1
掛川市	1		
熱海市	2		
東伊豆町	2	計	91

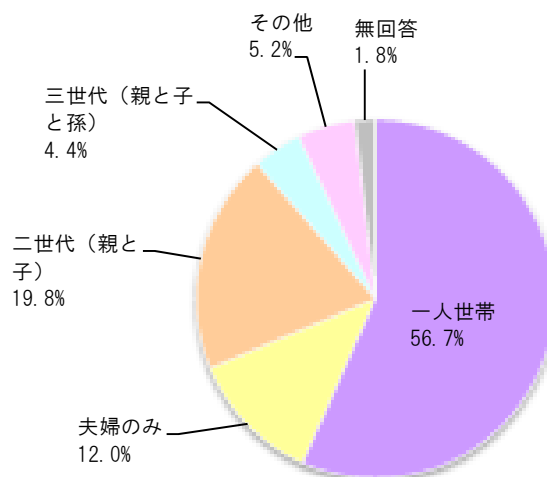
県外・国外【7. 上記以外の道・府・県】

都道府県名	件数	都道府県名	件数	都道府県名	件数
大阪府	15	宮城県	3	愛媛県	1
兵庫県	14	群馬県	3	高知県	1
北海道	13	山口県	3	大分県	1
京都府	10	富山県	2	鹿児島県	1
三重県	8	広島県	2	無記入	1
栃木県	6	熊本県	2		
岐阜県	6	秋田県	1		
茨城県	5	山梨県	1		
石川県	5	鳥取県	1		
滋賀県	4	島根県	1		
奈良県	4	岡山県	1		
福岡県	4	徳島県	1	計	120

問3 転出される世帯の構成

選択肢	件数	比率
1. 一人世帯	434	56.7%
2. 夫婦のみ	92	12.0%
3. 二世帯(親と子)	152	19.8%
4. 三世帯(親と子と孫)	34	4.4%
5. その他	40	5.2%
無回答	14	1.8%
計	766	100.0%

複数回答による集計除外1人



回答者の世帯構成は「一人世帯」が56.7%で半数以上を占め、次いで「二世帯」19.8%、「夫婦のみ」12.0%の順となっており、「三世帯」は4.4%と少なかった。

「その他」5.2%は記入内容から子供・本人・学生寮等となっている。

【5. その他の記入内容】

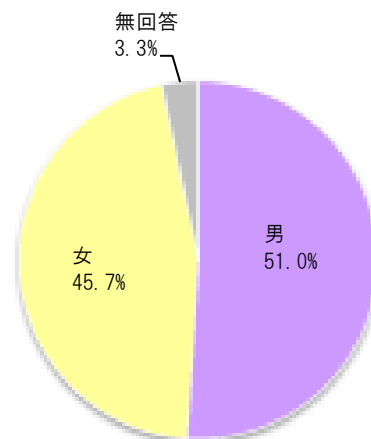
件数	記入内容
9件	子供
4件	子供のみ
2件	本人
各1件	2人 彼女 娘と彼
	学生寮 本人のみ
	親と子と祖父母
19件	無記入

問4 転出される方の年齢・性別

【性別】

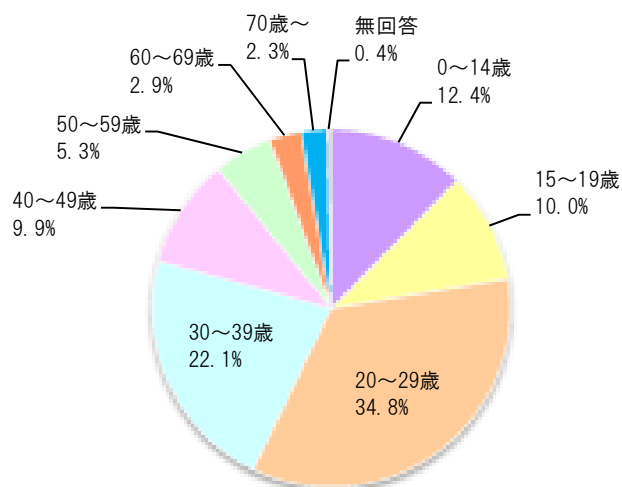
選択肢	件数	比率
1. 男	531	51.0%
2. 女	476	45.7%
無回答	34	3.3%
計	1,041	100.0%

転出者の性別は、「男性」51.0%、「女性」45.7%で男性がやや多くなっている。



【年齢】

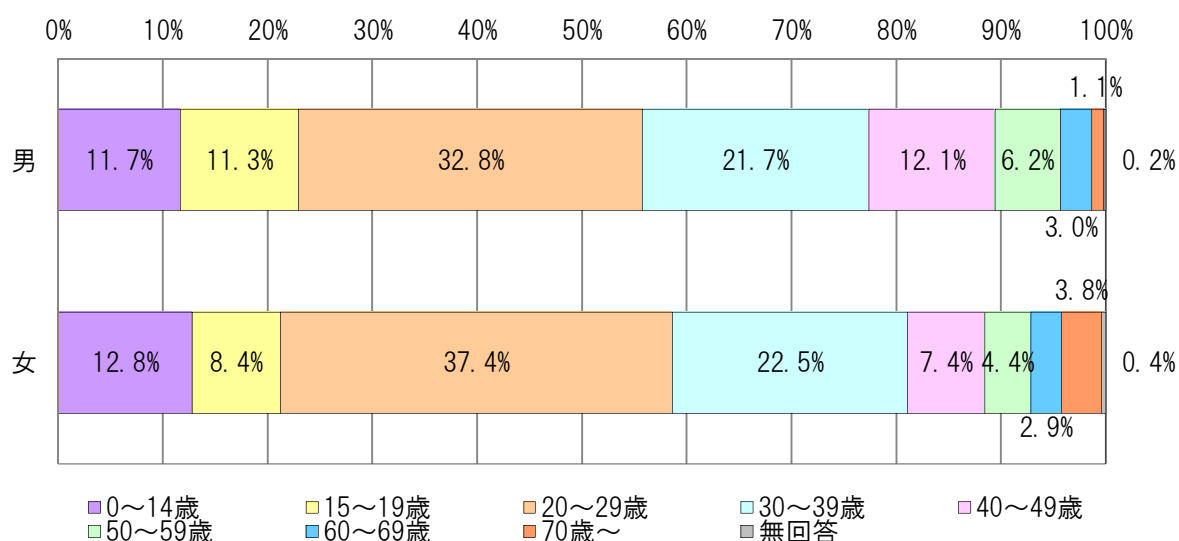
選択肢	件数	比率
1. 0～14歳	129	12.4%
2. 15～19歳	104	10.0%
3. 20～29歳	362	34.8%
4. 30～39歳	230	22.1%
5. 40～49歳	103	9.9%
6. 50～59歳	55	5.3%
7. 60～69歳	30	2.9%
8. 70歳～	24	2.3%
無回答	4	0.4%
計	1,041	100.0%



転出者の年代は、「20～29歳」が34.8%、「30～39歳」が22.1%、「0～14歳」が12.4%、「15～19歳」が10.0%で、39歳以下の若い世代が転出者の約8割を占める。

【年齢・性別】

選択肢	男		女		性別無回答		計	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率
1. 0～14歳	62	11.7%	61	12.8%	6	17.6%	129	12.4%
2. 15～19歳	60	11.3%	40	8.4%	4	11.8%	104	10.0%
3. 20～29歳	174	32.8%	178	37.4%	10	29.4%	362	34.8%
4. 30～39歳	115	21.7%	107	22.5%	8	23.5%	230	22.1%
5. 40～49歳	64	12.1%	35	7.4%	4	11.8%	103	9.9%
6. 50～59歳	33	6.2%	21	4.4%	1	2.9%	55	5.3%
7. 60～69歳	16	3.0%	14	2.9%	0	0.0%	30	2.9%
8. 70歳～	6	1.1%	18	3.8%	0	0.0%	24	2.3%
無回答	1	0.2%	2	0.4%	1	2.9%	4	0.4%
計	531	100.0%	476	100.0%	34	100.0%	1,041	100.0%



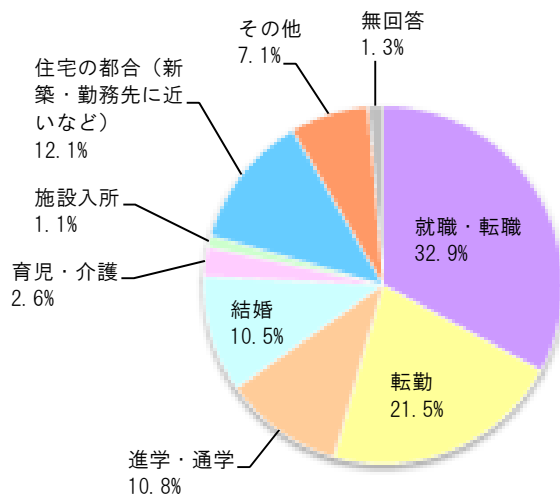
転出者の年齢を性別に見ると、男女ともに30歳代以下が8割前後を占めており、男女とも「20～29歳」が32.8%と37.4%でもっとも多くなっている。次いで、「30～39歳」が21.7%と22.5%、「0～14歳」が11.7%と12.8%の順となっている。

40歳代以上については、男性では「40～49歳代」、女性では「70歳～」で、やや多くなっているものの、全体としては性別による年齢差は特に見られなかった。

問5 転出される理由

選択肢	件数	比率
1. 就職・転職	250	32.9%
2. 転勤	163	21.5%
3. 進学・通学	82	10.8%
4. 結婚	80	10.5%
5. 育児・介護	20	2.6%
6. 施設入所	8	1.1%
7. 住宅の都合（新築・勤務先に近いなど）	92	12.1%
8. その他	54	7.1%
無回答	10	1.3%
計	759	100.0%

複数回答による集計除外8人



転出の理由としては、「就職・転職」が32.9%でもっとも多く、次いで「転勤」21.5%と仕事に関連する理由が半数以上を占めた。「住宅の都合」は12.1%、「結婚」は10.5%となっているが、「施設入所」1.1%、「育児・介護」2.6%は少なかった。

「その他」は7.1%だが、記入内容から離婚、家庭の都合等となっている。中には「住宅の都合」「仕事の都合」ではないかと推察されるものも含まれるが、回答者の意志を尊重して回答通りの整理とした。

【8. その他の記入内容】

件数	記入内容
4件	離婚
各1件	離婚裁判のため
	アパートの2年契約終了のため
	一人暮らし
	家の都合
	家庭の都合
	会社の寮に入居
	会社都合
	掛川市が嫌だから
	健康上
	高齢の為
	合宿免許
	仕事の都合
	自宅に戻る
	実家に戻るため
	主人の実家
	息子と同居
	体調崩して家かえる
	定年
	同棲
	農業研修
	病気により入院あり、60日
	病気による療養
	浜松に住みたくなった。
	里帰り終了のため
	留学
25件	無記入

5 . 転居者理由調査

(1) 調査概要

- 1 調査目的

我が国は2008年をピークに人口減少が続き、この状況が続けば「人口減少が地域経済の縮小を呼び、地域経済の縮小が人口減少を加速させる」という負のスパイラルに陥るリスクが高まる。

掛川市の人口は、2010年で116,363人となっているが、国立社会保障・人口問題研究所によると、2040年には10万人を割り込むと推計されており、人口減少問題への対策が急務となっている。

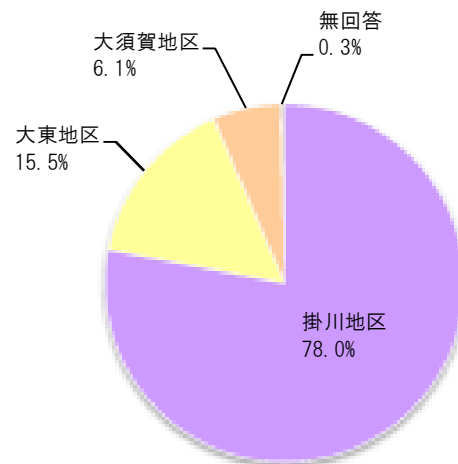
この問題に対応し、かつさらに掛川市を発展させていくため、掛川市では今後の掛川市の中長期的な市政運営の指針を示す第2次掛川市総合計画（掛川市地域創生総合戦略）の策定を進めている。

市民サービスの向上と着実な行政運営に活かすとともに、第2次掛川市総合計画（掛川市地域創生総合戦略）の策定に役立てるため、転居者理由調査を実施する。
- 2 調査対象 平成27年3月1日～5月31日に転居届をされた方 309 人
- 3 抽出方法 —
- 4 調査方法 市民課窓口への届出時に記入
- 5 調査期間 平成27年3月～5月
- 6 回収結果 309 票
- 7 有効回答数（率） 309 票 （ — ）
- 8 報告書を読むに当たっての留意点
 - 回答比率は全て百分率で表し、小数点第1位または第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならないことがあります。
 - 複数回答の設問では、回答者数を基数としているため、百分率の合計は100%を上まわります。

人口移動に関するアンケート調査【市内転居】

問1 転居される方がお住まいいただいた地区

選択肢	件数	比率
1. 掛川地区	241	78.0%
2. 大東地区	48	15.5%
3. 大須賀地区	19	6.1%
無回答	1	0.3%
計	309	100.0%



回答者の転居前の居住地は、「掛川地区」78.0%、「大東地区」15.5%、「大須賀地区」6.1%で掛川地区が全体の約8割を占めている。

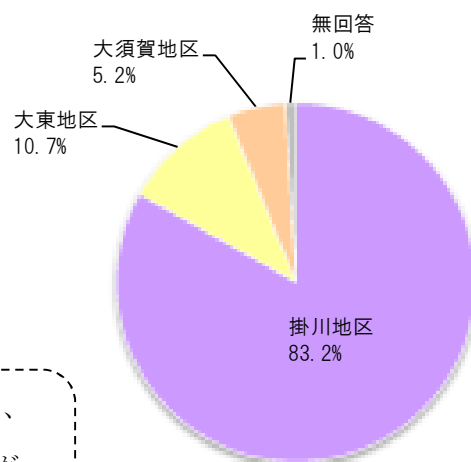
掛川市全体の地域別別人口(平成27年6月末日現在)の比率と比較すると、大東地区と大須賀地区の比率がわずかに低く、掛川地区がわずかに高くなっているものの、概ね同様の結果となっている。

■ 掛川市 中学校区別人口(H27年6月末日現在)

地区	件数	比率
1. 掛川地区	85,827	73.0%
2. 大東地区	20,377	17.3%
3. 大須賀地区	11,323	9.6%
計	117,527	100.0%

問2 転居後にお住まいいただく地区

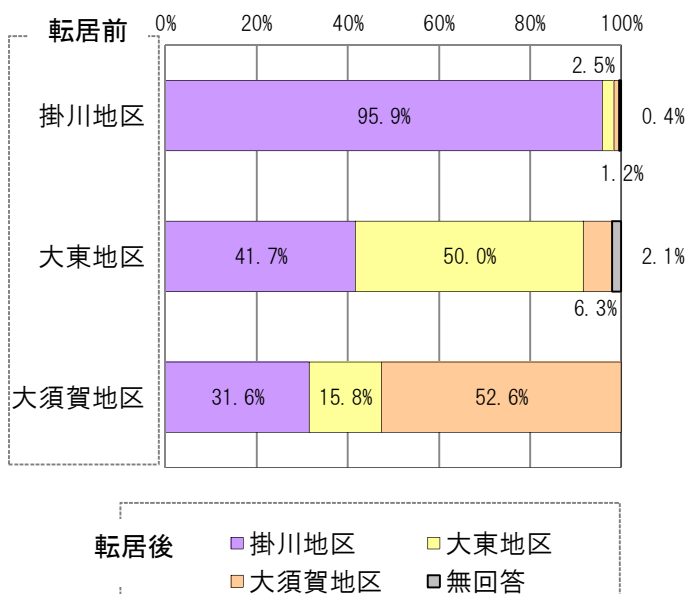
選択肢	件数	比率
1. 掛川地区	257	83.2%
2. 大東地区	33	10.7%
3. 大須賀地区	16	5.2%
無回答	3	1.0%
計	309	100.0%



回答者の転居後の居住地は、「掛川地区」83.2%、「大東地区」10.7%、「大須賀地区」5.2%で掛川地区が全体の8割以上を占めている。

■転居における地区移動の状況

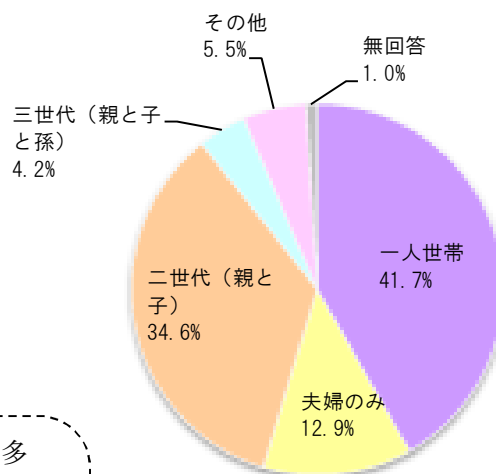
転居前	転居後	件数	比率
掛川地区	掛川地区	231	95.9%
	大東地区	6	2.5%
	大須賀地区	3	1.2%
	無回答	1	0.4%
	計	241	100.0%
大東地区	掛川地区	20	41.7%
	大東地区	24	50.0%
	大須賀地区	3	6.3%
	無回答	1	2.1%
	計	48	100.0%
大須賀地区	掛川地区	6	31.6%
	大東地区	3	15.8%
	大須賀地区	10	52.6%
	無回答	0	0.0%
	計	19	100.0%



回答者の転居先の居住地は、掛川地区からは地区内に9割以上が転居しているが、大東地区と大須賀地区からは地区内の転居は半数程度で、大東地区ではほぼ4割、大須賀地区ではほぼ3割が掛川地区に転居している。

問3 転居される世帯の構成

選択肢	件数	比率
1. 一人世帯	129	41.7%
2. 夫婦のみ	40	12.9%
3. 二世帯(親と子)	107	34.6%
4. 三世帯(親と子と孫)	13	4.2%
5. その他	17	5.5%
無回答	3	1.0%
計	309	100.0%



回答者の世帯構成は「一人世帯」が41.7%で最も多く、次いで「二世帯」34.6%、「夫婦のみ」12.9%の順となっており、「三世帯」は4.2%と少なかった。

「その他」5.5%は記入内容から施設入所・同居人・ルームシェア等となっている。

【5. その他の記入内容】

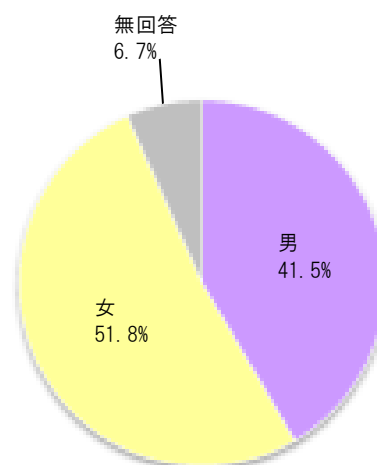
件数	記入内容
5件	施設(特養・老人ホーム・アグリ結)
2件	同居人
1件	ルームシェア
9件	無記入

問4 転居される方の年齢・性別

【性別】

選択肢	件数	比率
1. 男	235	41.5%
2. 女	293	51.8%
無回答	38	6.7%
計	566	100.0%

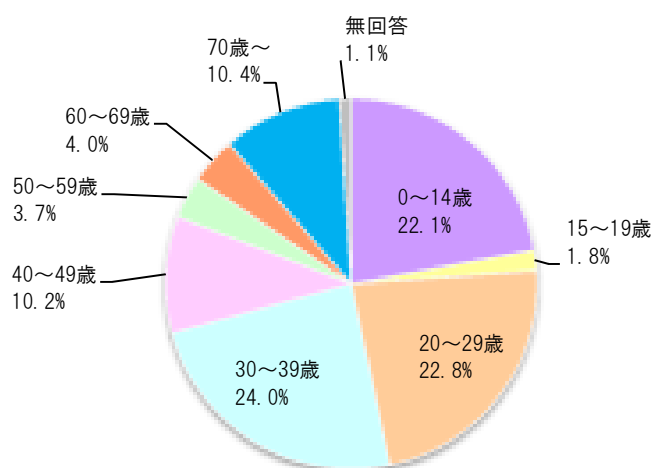
複数回答による集計除外4人



転居者の性別は、「男性」41.5%、「女性」51.8%で女性がやや多くなっている。

【年齢】

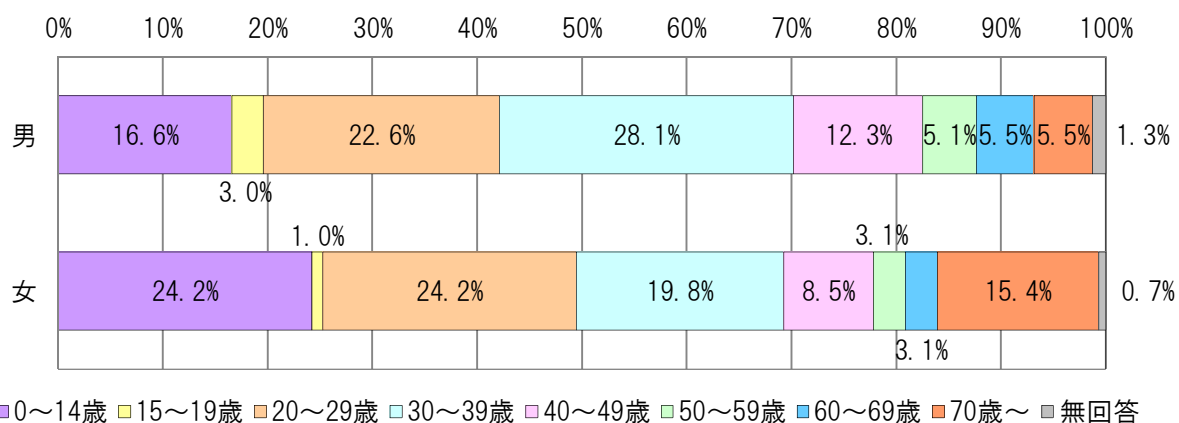
選択肢	件数	比率
1. 0～14歳	126	22.1%
2. 15～19歳	10	1.8%
3. 20～29歳	130	22.8%
4. 30～39歳	137	24.0%
5. 40～49歳	58	10.2%
6. 50～59歳	21	3.7%
7. 60～69歳	23	4.0%
8. 70歳～	59	10.4%
無回答	6	1.1%
計	570	100.0%



転居者の年代は、「30～39歳」が24.0%、「20～29歳」が22.8%、「0～14歳」が22.1%で、この3つの世代で転居者の約7割を占める。若い世代では「15～19歳」が1.8%と目立って少ない。

■年齢・性別

選択肢	男		女		性別無回答		計	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率
1. 0～14歳	39	16.6%	71	24.2%	14	36.8%	124	21.9%
2. 15～19歳	7	3.0%	3	1.0%	0	0.0%	10	1.8%
3. 20～29歳	53	22.6%	71	24.2%	5	13.2%	129	22.8%
4. 30～39歳	66	28.1%	58	19.8%	12	31.6%	136	24.0%
5. 40～49歳	29	12.3%	25	8.5%	4	10.5%	58	10.2%
6. 50～59歳	12	5.1%	9	3.1%	0	0.0%	21	3.7%
7. 60～69歳	13	5.5%	9	3.1%	1	2.6%	23	4.1%
8. 70歳～	13	5.5%	45	15.4%	1	2.6%	59	10.4%
無回答	3	1.3%	2	0.7%	1	2.6%	6	1.1%
計	235	100.0%	293	100.0%	38	100.0%	566	100.0%



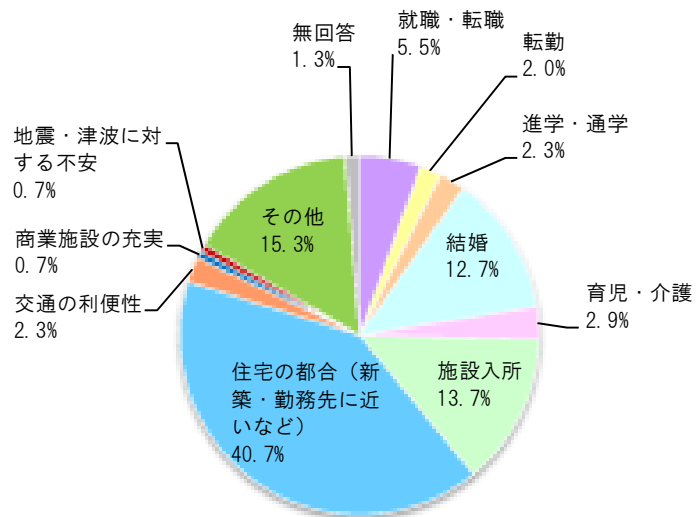
転居者の年齢を性別に見ると、男女ともに30歳代以下が約7割を占めているが、男性は「30～39歳」が28.1%、女性は「0～14歳」「20～29歳」がともに24.2%でもっとも多くなっている。

また、50歳代以上で、男性は「50～59歳」「60～69歳」「70歳～」が5.1%、5.5%、5.5%とほぼ同じ割合となっているのに比べ、女性は3.1%、3.1%15.4%と「70歳～」の割合が目立って高くなっており、転居者の年齢が性別で異なる傾向が見られた。

問5 転居される理由

選択肢	件数	比率
1. 就職・転職	17	5.5%
2. 転勤	6	2.0%
3. 進学・通学	7	2.3%
4. 結婚	39	12.7%
5. 育児・介護	9	2.9%
6. 施設入所	42	13.7%
7. 住宅の都合(新築・勤務先に近いなど)	125	40.7%
8. 交通の利便性	7	2.3%
9. 商業施設の充実	2	0.7%
10. 地震・津波に対する不安	2	0.7%
11. その他	47	15.3%
無回答	4	1.3%
計	307	100.0%

複数回答による集計除外2人



転居の理由としては、「住宅の都合」が40.7%と目立って多く、次いで「その他」15.3%、「施設入所」13.7%、「結婚」12.7%となっている。

「その他」は15.3%とやや多いが、記入内容から親や子との同居、別居等となっている。中には「住宅の都合」ではないかと推察されるものも含まれるが、回答者の意志を尊重して回答通りの整理とした。

【11. その他の記入内容】

件数	記入内容
各2件	会社の都合
	同棲のため
	独立
各1件	家賃が安いところにした。
	会社都合、客が移動
	海外単身赴任で、嫁・子を実家近くへ。
	結婚前の同居
	今までのアパートが取り壊しになったため。
	子ども世帯との同居
	子供との同居
	実家に入る(親が亡くなったので)
	手狭になったため
	親と同居
	人間関係
	静かな所
	前の家が古いため。
	店をたてる
	同居
	病気療養の息子と住むため
	別居
	別居(家内の療養)
	娘が結婚し、一人になった。
	離婚
	両親他界の為。
	良い所があった為。
19件	無記入

6. 結婚・出産・子育て 意識等調査

第1章

結婚・出産・子育てに関する市民意識調査結果

1 調査の概要

1) 調査の目的

この調査は、人口減少問題に対応し、さらに掛川市を発展させていくため、今後の中長期的な市政運営の指針を示す「第2次掛川市総合計画」策定のための基礎資料とすることを目的とする。

2) 調査項目

- ・回答者の属性
- ・転入および転出状況について
- ・就業状況について
- ・婚姻状況について
- ・子ども数について
- ・居住環境等について
- ・子育て支援について
- ・結婚・出産・育児について（自由意見）

3) 調査の設計

- ・調査対象：掛川市在住（市内に住民票がある人）の20代から40代の男女
- ・調査方法：無作為抽出による郵送配布・郵送回収
- ・調査期間：平成27年6月17日～平成27年7月9日
- ・発送数：3,000通

4) 回収状況

対象者数	有効回収数	有効回収率
3,000人	1,090人	36.3%

*有効回収数：回収票から全く回答がないもの（白票）を除いた数

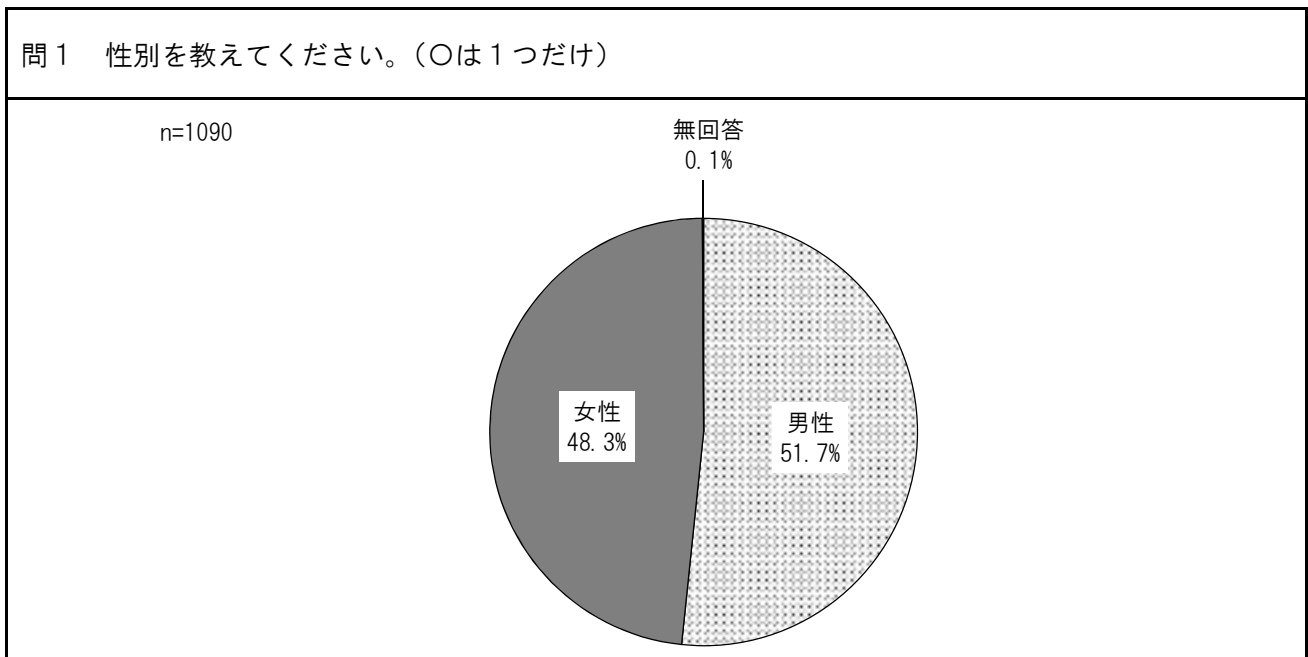
◎ 報告書を見る際の注意事項

- (1) 回答は各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（％）で示してある。
- (2) 百分率は小数点以下第2位を四捨五入して算出した。このため、百分率の合計が100%にならないことがある。
- (3) 1つの質問に2つ以上答えられる“複数回答可能”の場合は、回答比率の合計が100%を超える場合がある。
- (4) 本調査の比較対象として、「第14回出生動向基本調査」（国立社会保障・人口問題研究所 2010年）、「平成26年度少子化対策に関する県民意識調査」（静岡県健康福祉部 2014年）、「子育て世帯の居住環境に対する意向調査」（国土交通省 2010年）から引用した設問を含めた。しかし、一部において設問文や選択肢を変更した箇所がある。本報告書においても、これらの調査結果の一部を抜粋して掲載している。

2 調査結果

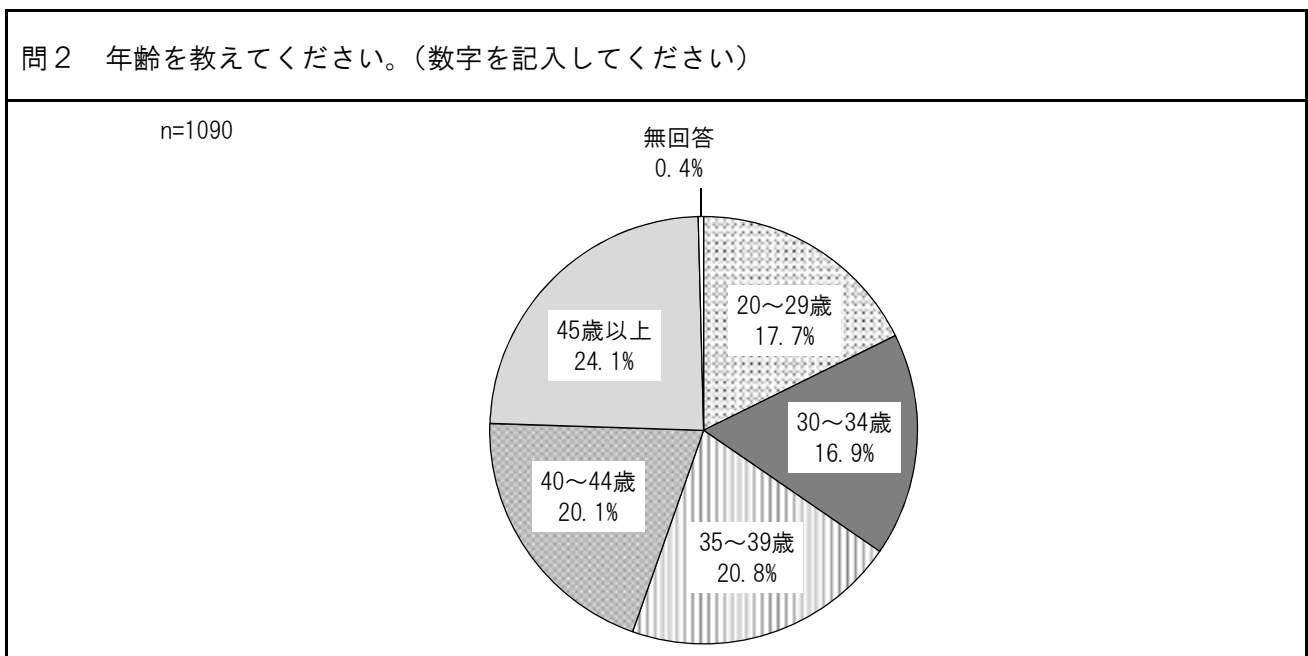
<回答者の属性>

1) 性別



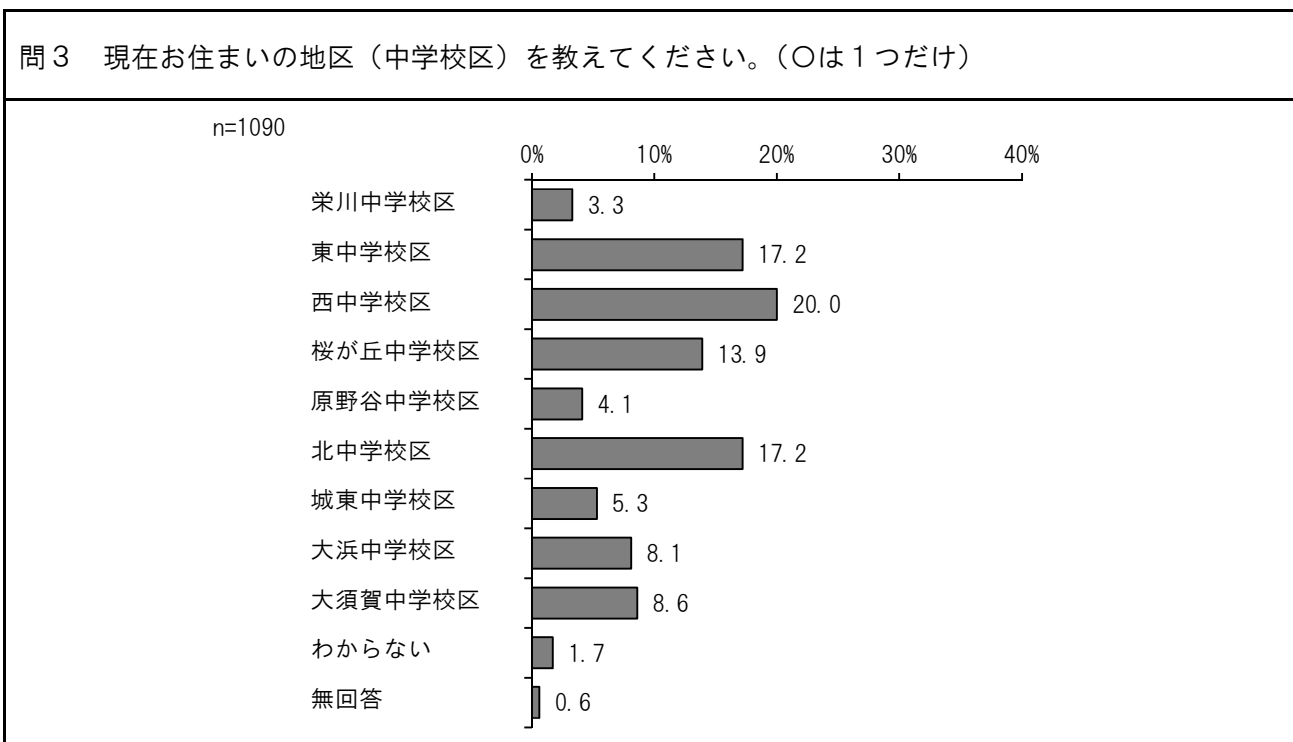
性別は、「男性」51.7%、「女性」48.3%となっている。

2) 年代



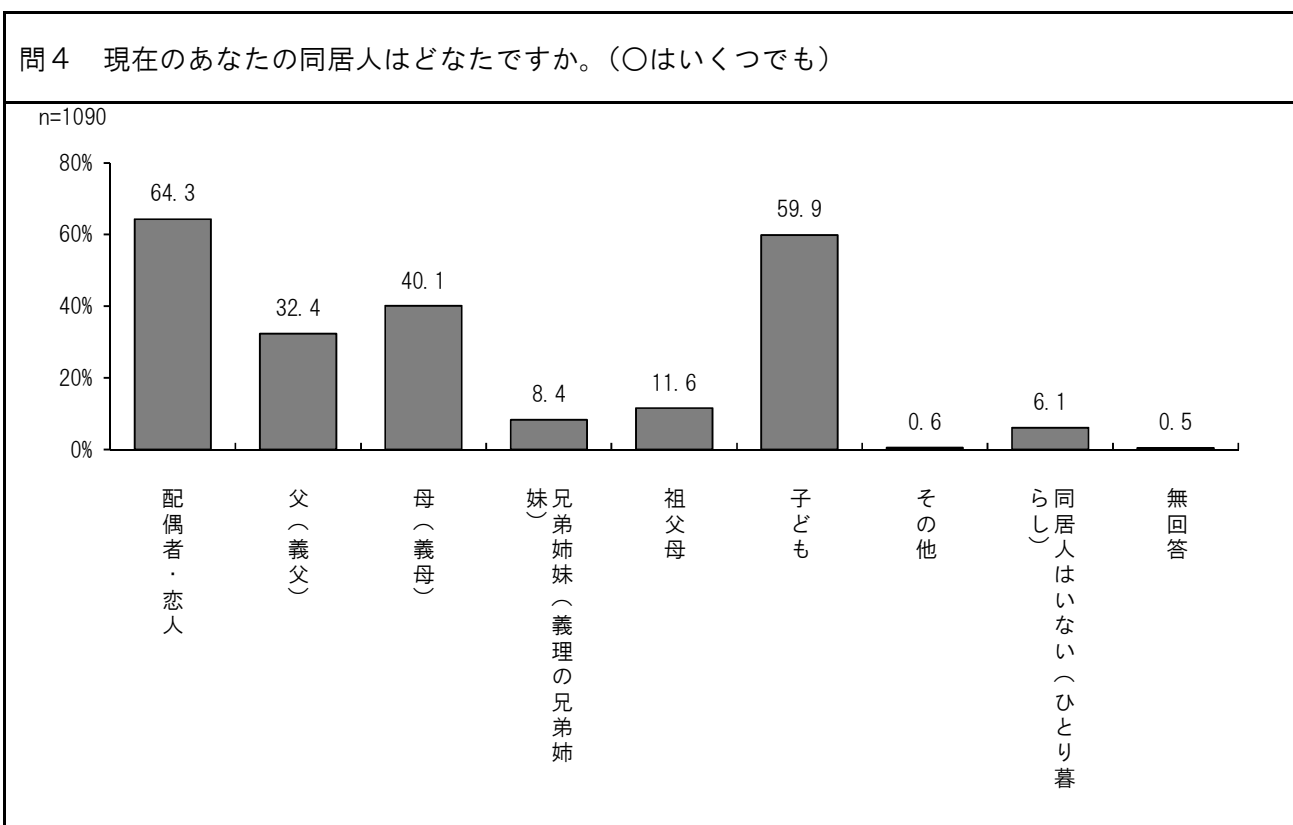
年代は、「45歳以上」が24.1%と最も多く、次いで「35~39歳」が20.8%、「40~44歳」が20.1%などとなっている。

3) 居住地区



居住地区は、「西中学校区」が20.0%と最も多く、次いで「東中学校区」、「北中学校区」がともに17.2%、「桜が丘中学校区」が13.9%などとなっている。

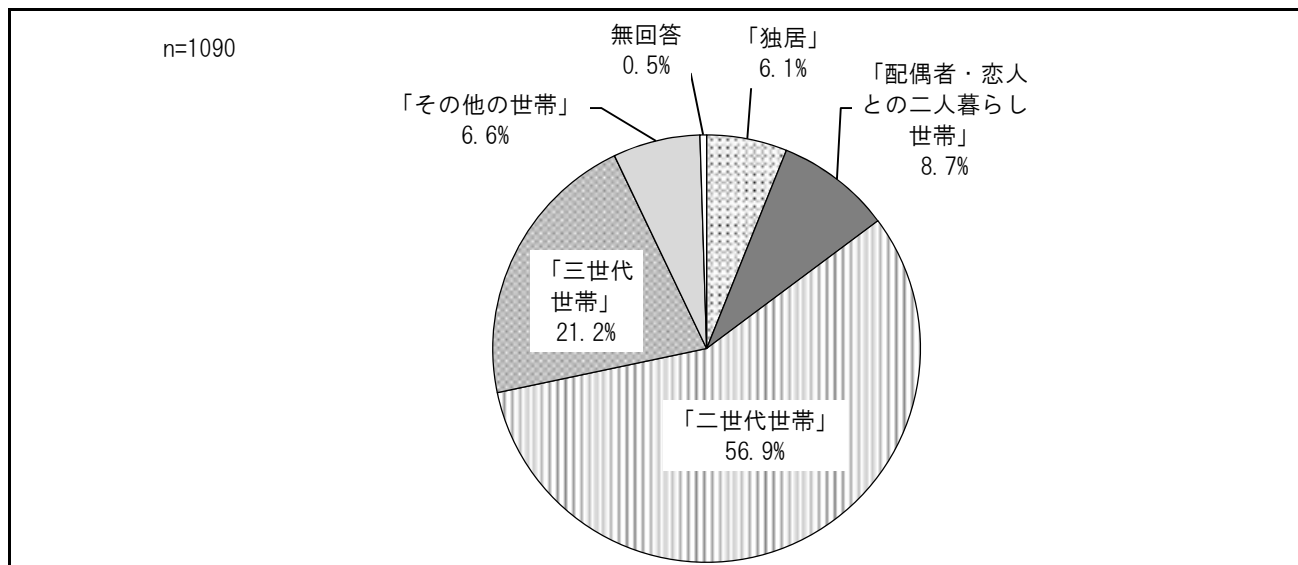
4) 同居人



同居人は、「配偶者・恋人」が64.3%と最も多く、次いで「子ども」が59.9%、「母（義母）」

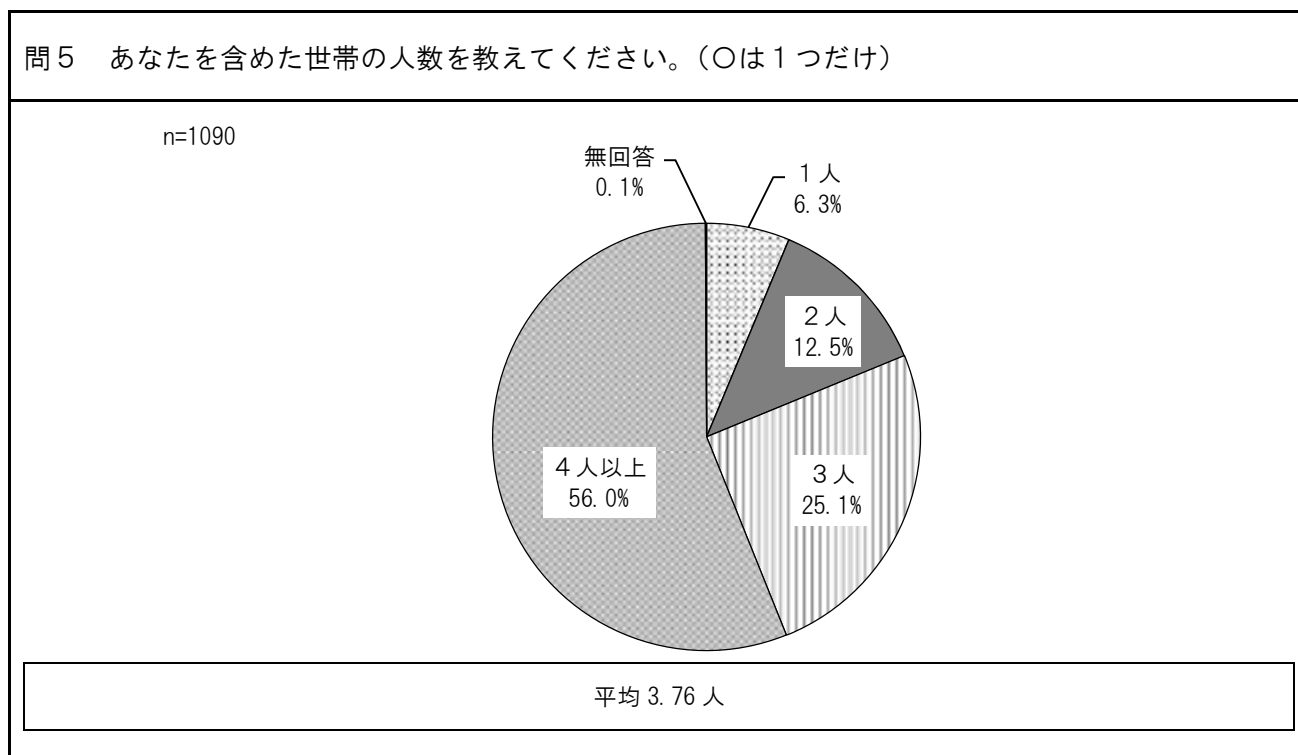
が 40.1%などとなっている。

5) 世帯構成



世帯構成は、『二世世代世帯』が 56.9%と最も多く、次いで『三世世代世帯』が 21.2%、『配偶者・恋人との二人暮らし世帯』が 8.7%などとなっている。

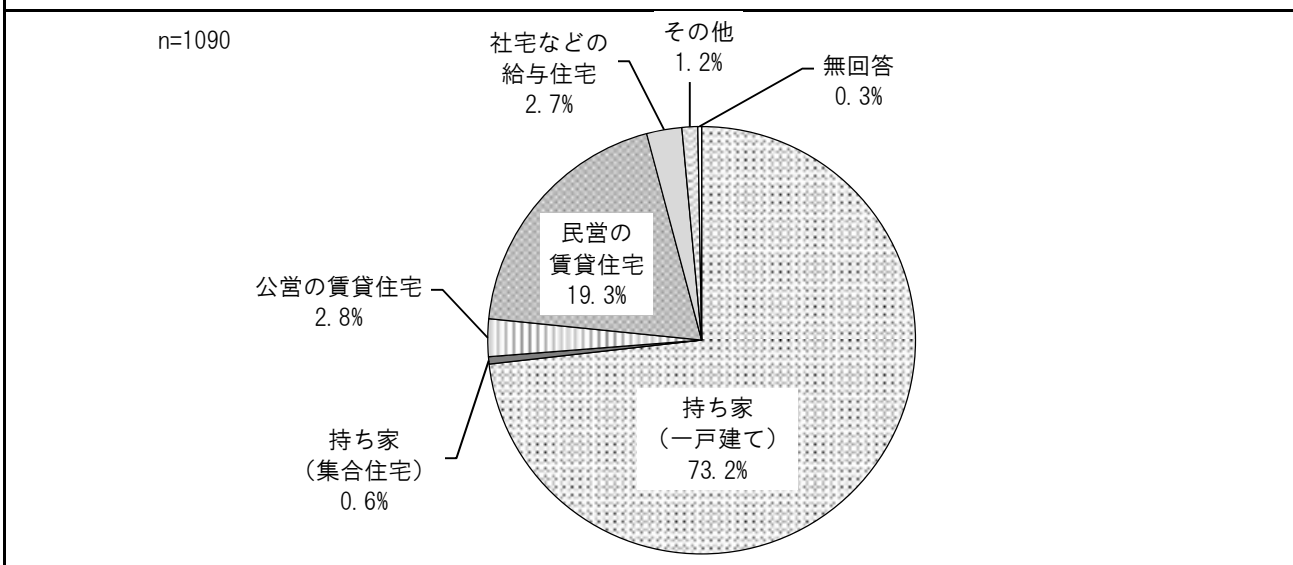
6) 世帯人数



世帯人数は、「4人以上」が 56.0%と最も多く、次いで「3人」が 25.1%、「2人」が 12.5%などとなっている。また、平均は 3.76 人となっている。

7) 住宅種類

問6 現在居住している住宅の種類を教えてください。(○は1つだけ)

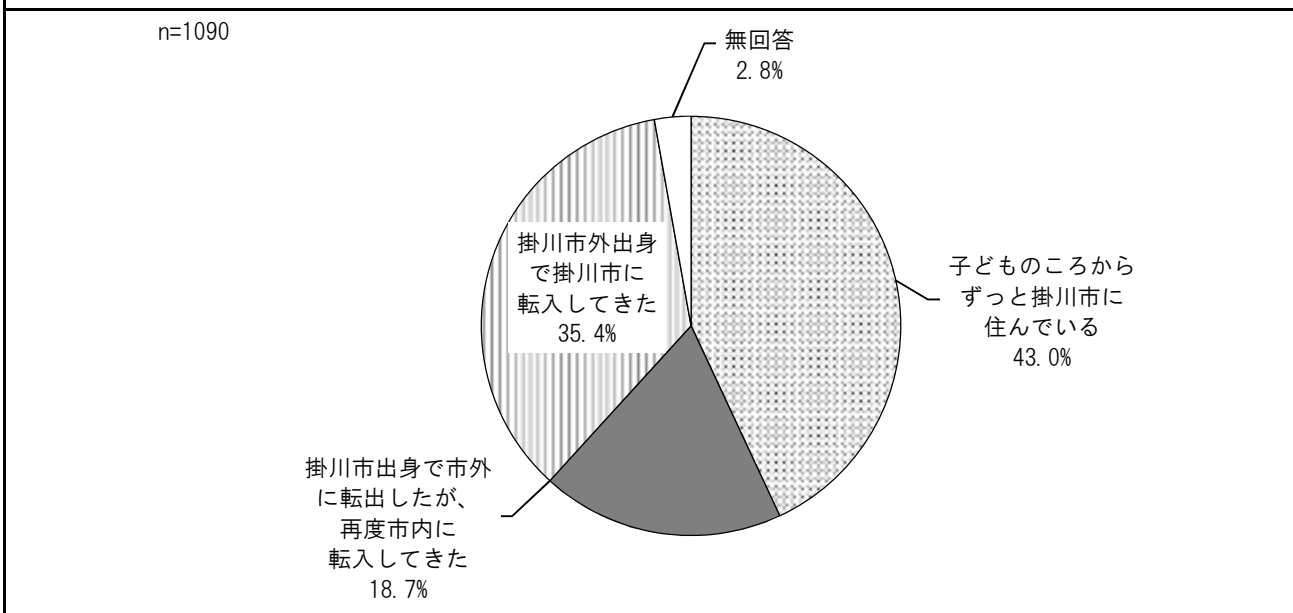


住宅種類は、「持ち家（一戸建て）」が73.2%と最も多く、次いで「民営の賃貸住宅」が19.3%、「公営の賃貸住宅」が2.8%などとなっている。

<転入および転出状況について>

8) 掛川市における居住歴

問7 あなたはずっと掛川市に住んでいますか。(○は1つだけ)



掛川市における居住歴は、「子どものころからずっと掛川市に住んでいる」が43.0%と最も多く、次いで「掛川市外出身で掛川市に転入してきた」が35.4%、「掛川市出身で市外に転出したが、再度市内に転入してきた」が18.7%となっている。

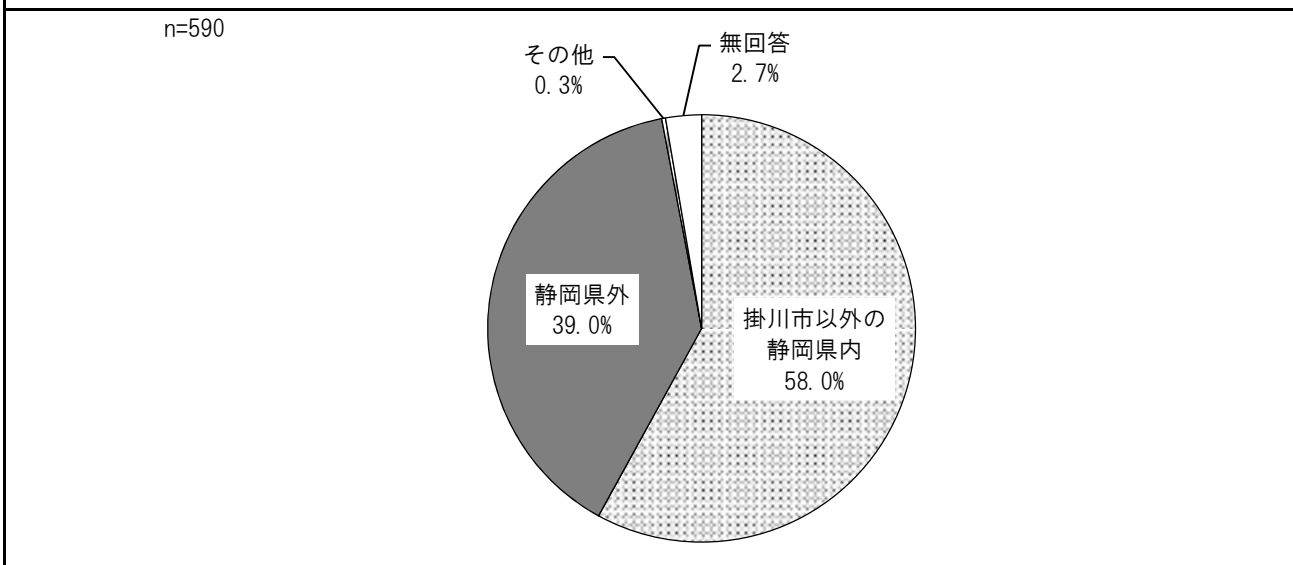
「掛川市出身で市外に転出したが、再度市内に転入してきた」と「掛川市外出身で掛川市に転入してきた」を合わせた『転入してきた』は54.1%で、半数を超えている。

9) 転入前の居住市町村

問7で「2・3 転入してきた」と回答した方にお聞きします。

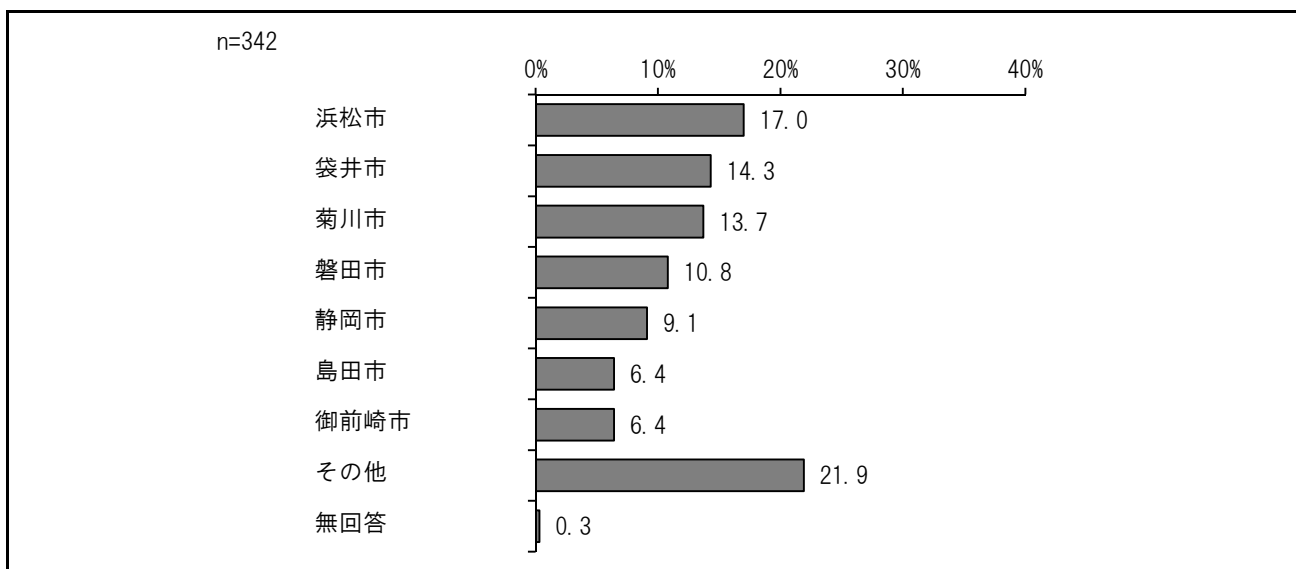
問7-1 掛川市に転入する前に住んでいた市町村を教えてください。(○は1つだけ)

※()内に具体的に記入してください。



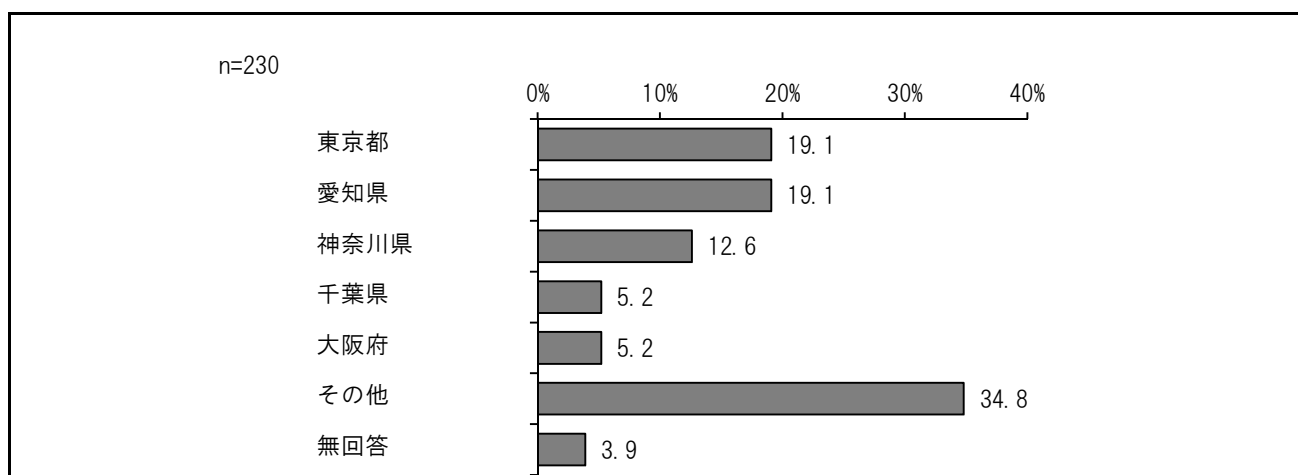
転入前の居住市町村は、「掛川市以外の静岡県内」が58.0%、「静岡県外」が39.0%などとなっている。

10) 転入前の居住市町（静岡県内）



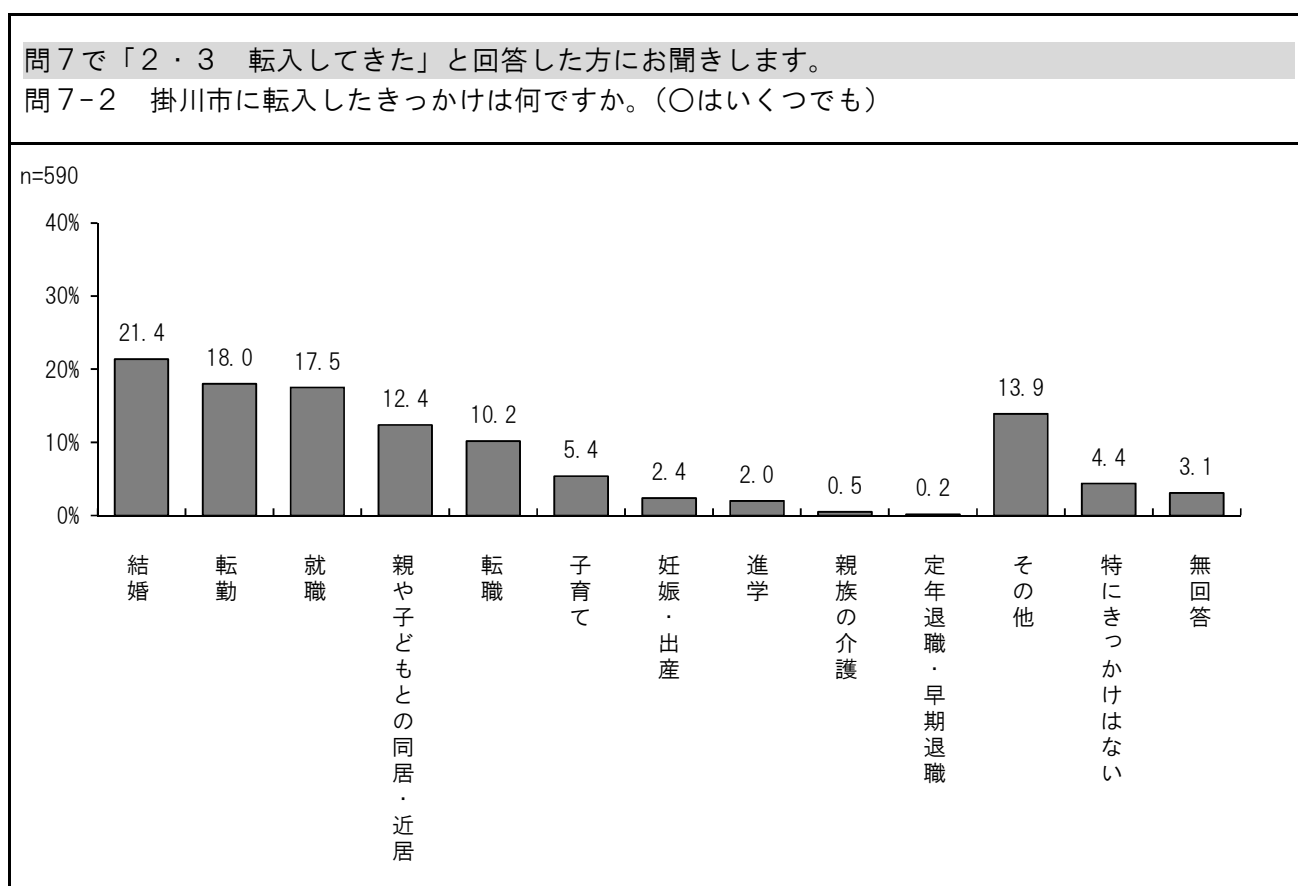
転入前の静岡県内の居住市町は、「浜松市」が17.0%と最も多く、次いで「袋井市」が14.3%、「菊川市」が13.7%などとなっている。

11) 転入前の居住都道府県



転入前の居住都道府県は、「東京都」、「愛知県」がともに 19.1%と最も多く、次いで「神奈川県」が 12.6%、「千葉県」、「大阪府」がともに 5.2%などとなっている。

12) 転入したきっかけ



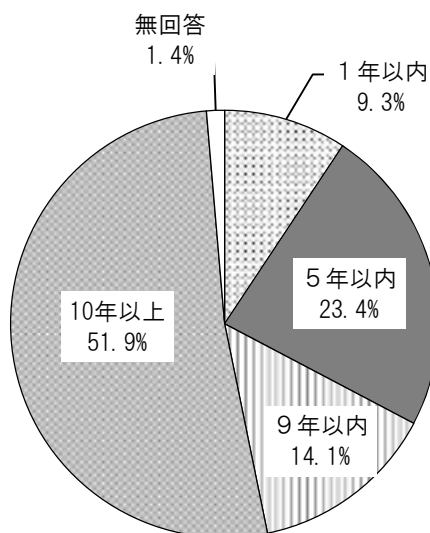
転入したきっかけは、「結婚」が 21.4%と最も多く、次いで「転勤」が 18.0%、「就職」が 17.5%などとなっている。

また、「その他」と回答した 82 人のうち、『自身あるいは親が家・土地を購入した』と回答した人は 30 人、『離婚』と回答した人は 11 人となっている。

13) 転入してからの年数

問7で「2・3 転入してきた」と回答した方にお聞きます。
 問7-3 掛川市に住んで何年ですか。(数字を記入してください)

n=590

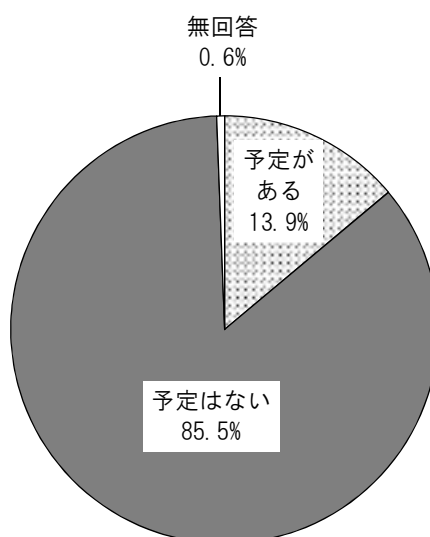


転入してからの年数は、「10年以上」が51.9%と最も多く、次いで「5年以内」が23.4%、「9年以内」が14.1%などとなっている。

14) 転出予定の有無

問8 今後、掛川市から転出する予定はありますか。(○は1つだけ)

n=1090

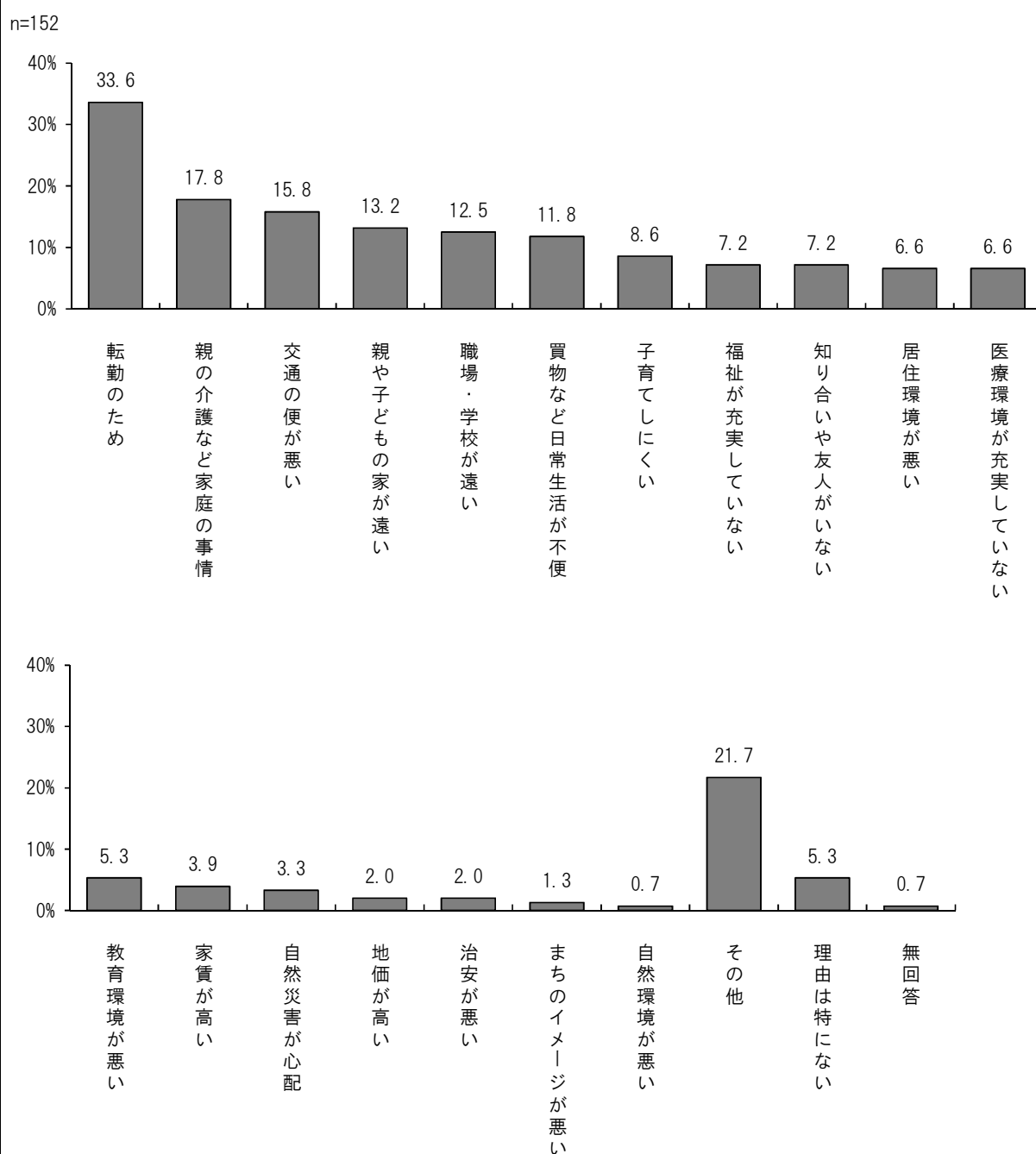


転出予定の有無は、「予定がある」13.9%、「予定はない」85.5%となっている。

15) 転出する理由

問8で「1 予定がある」と回答した方にお聞きます。

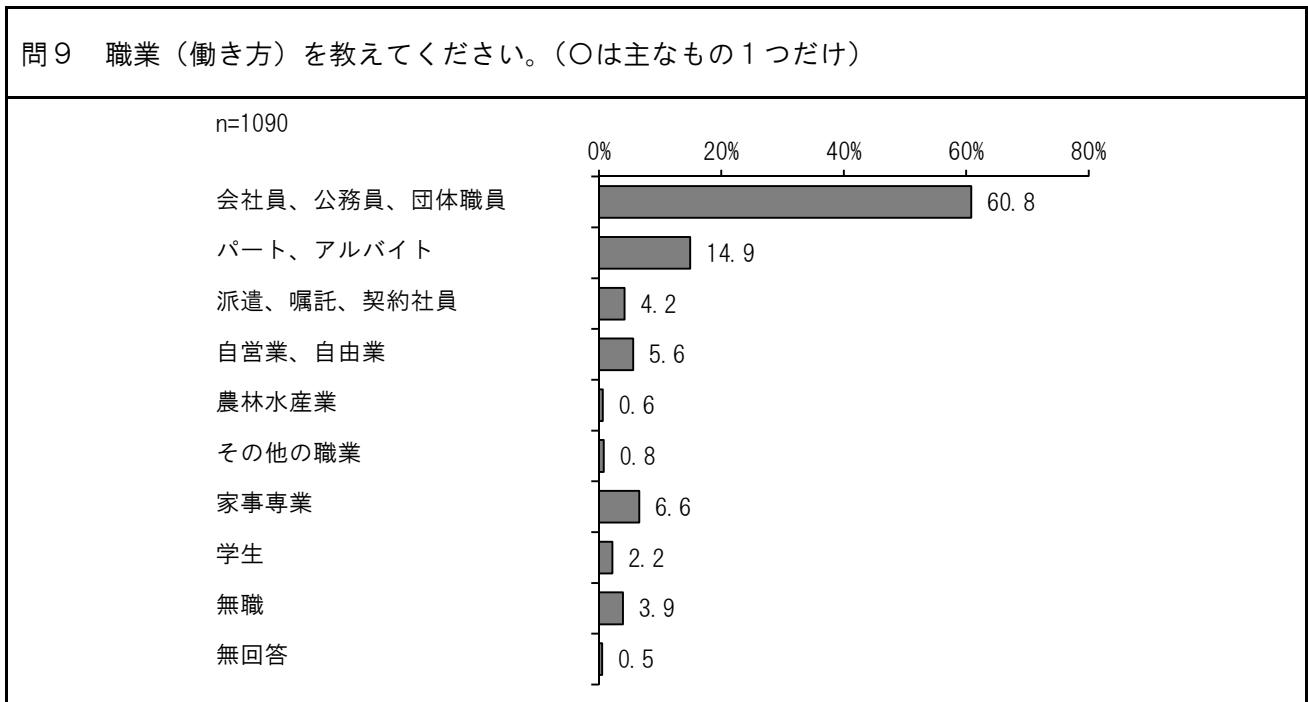
問8-1 転出する理由を教えてください。(〇はいくつでも)



転出する理由は、「転勤のため」が33.6%と最も多く、次いで「親の介護など家庭の事情」が17.8%、「交通の便が悪い」が15.8%などとなっている。

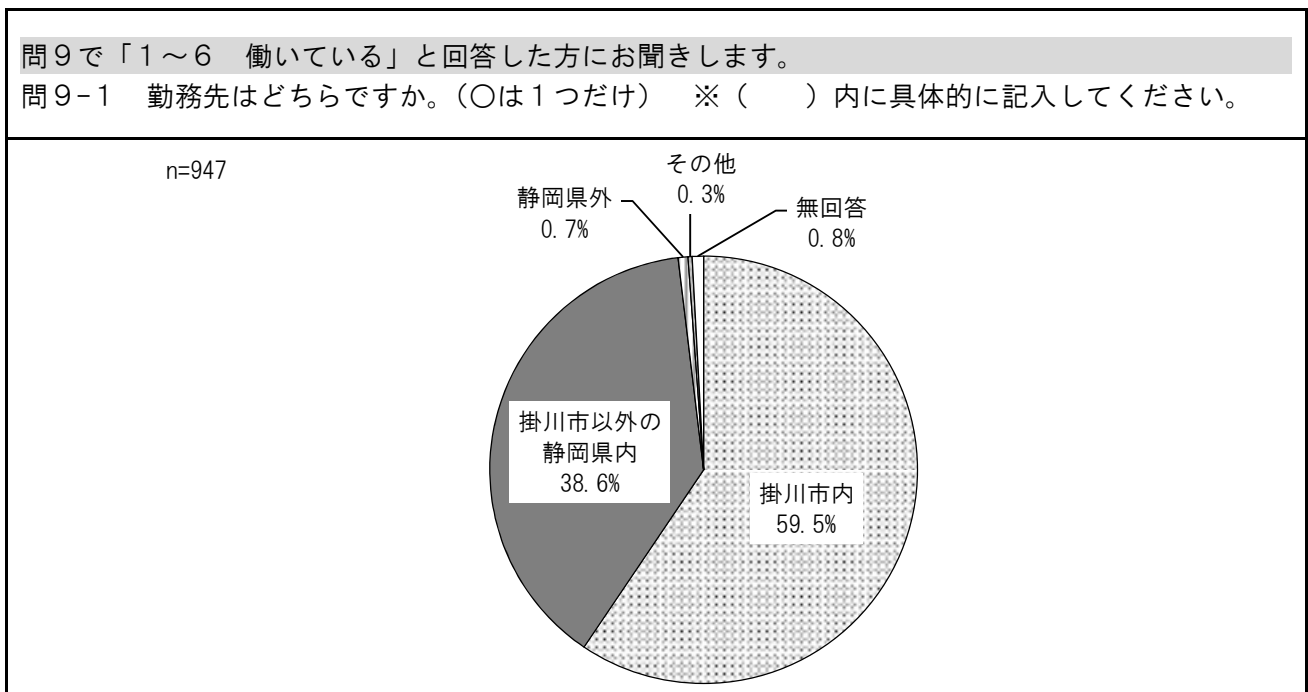
<就業状況について>

16) 職業



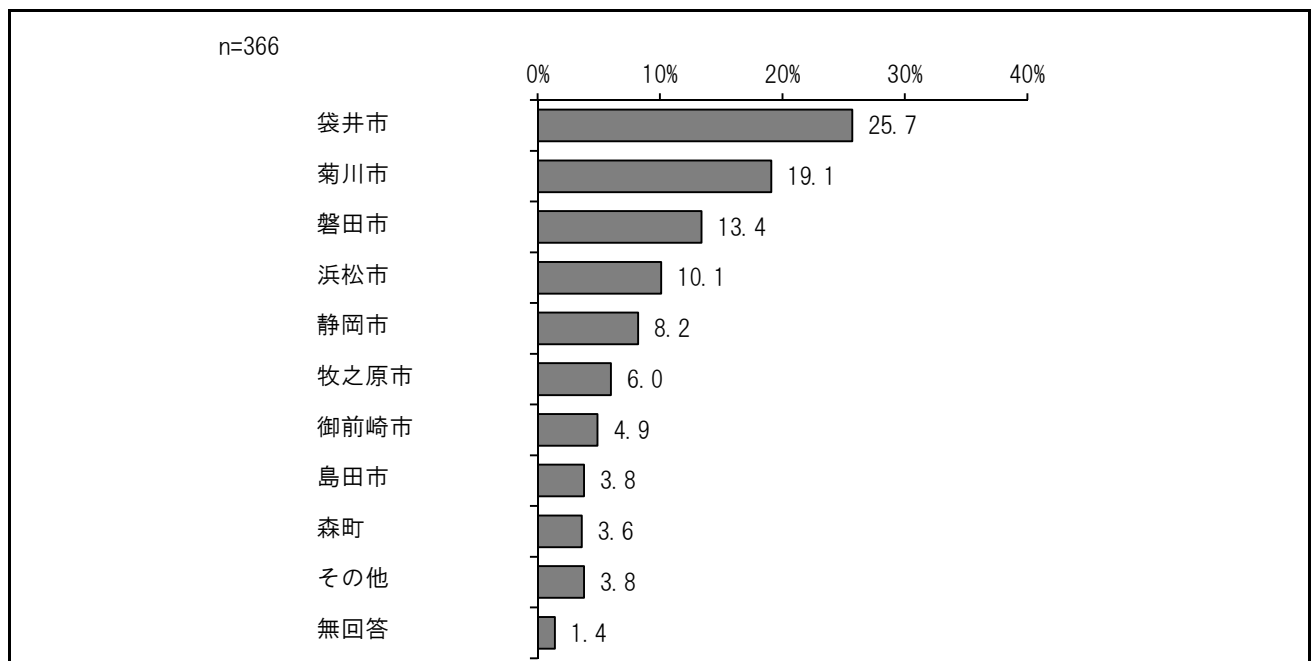
職業は、「会社員、公務員、団体職員」が 60.8%と最も多く、次いで「パート、アルバイト」が 14.9%、「家事専業」が 6.6%などとなっている。

17) 勤務先



勤務先は、「掛川市内」が 59.5%と最も多く、次いで「掛川市以外の静岡県内」が 38.6%、「静岡県外」が 0.7%などとなっている。

18) 勤務先（掛川市以外の静岡県内）



掛川市以外の静岡県内の勤務先は、「袋井市」が 25.7%と最も多く、次いで「菊川市」が 19.1%、「磐田市」が 13.4%などとなっている。

19) 勤務先（静岡県外）

n=7

愛知県	5 人
大阪府	1 人
福岡県	1 人

静岡県外の勤務先は、「愛知県」が 5 人、「大阪府」、「福岡県」がともに 1 人となっている。

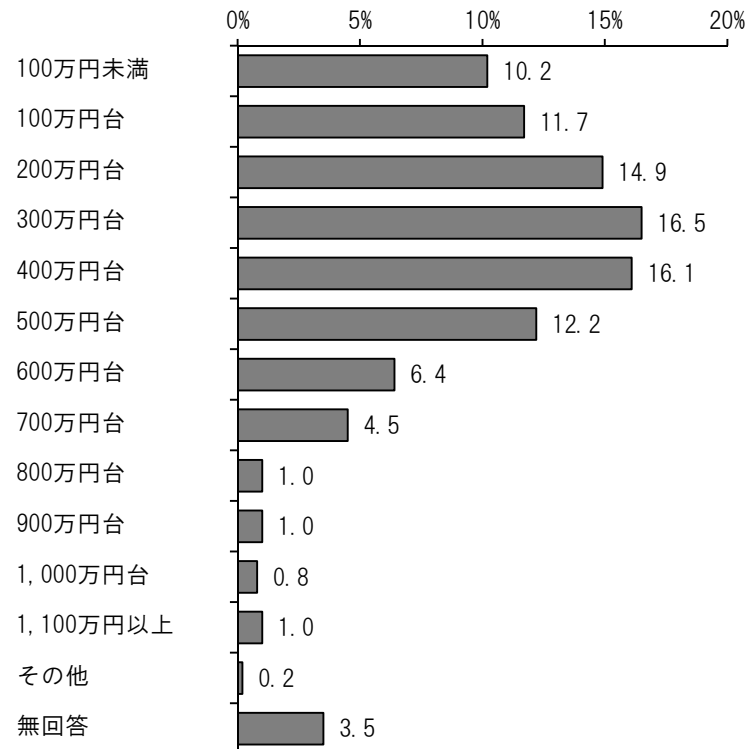
20) 年収

問9で「1～6 働いている」と回答した方にお聞きます。

問9-2 直近1年間のあなたの年収について、その概算を教えてください。(○は1つだけ)

※複数収入がある場合は、合算してお答えください。

n=947



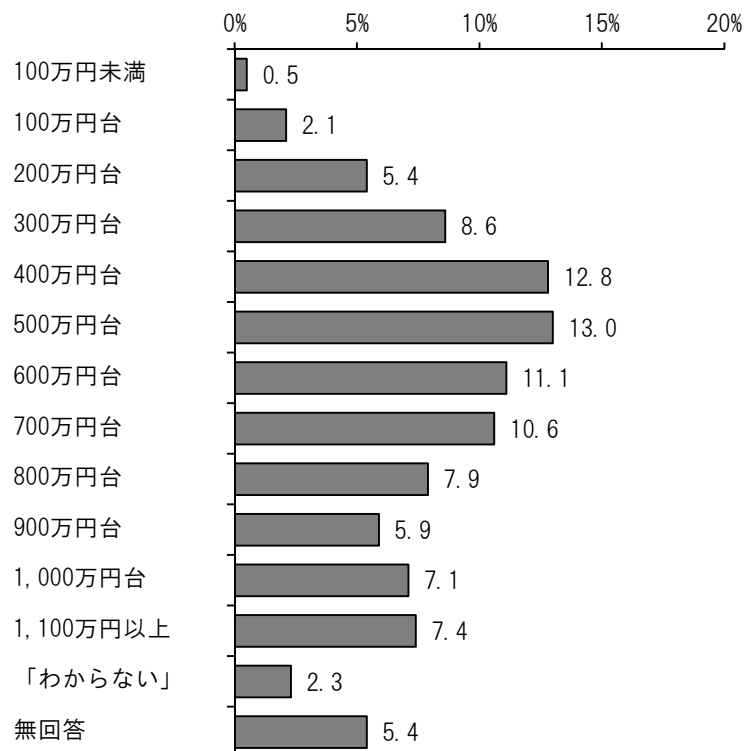
年収は、「300 万円台」が 16.5%と最も多く、次いで「400 万円台」が 16.1%、「200 万円台」が 14.9%などとなっている。

21) 世帯年収

問9で「1～6 働いている」と回答した方にお聞きます。

問9-3 分かる範囲で、あなたの世帯の世帯年収（世帯員全員の年収の合計）を教えてください。（○は1つだけ）

n=947



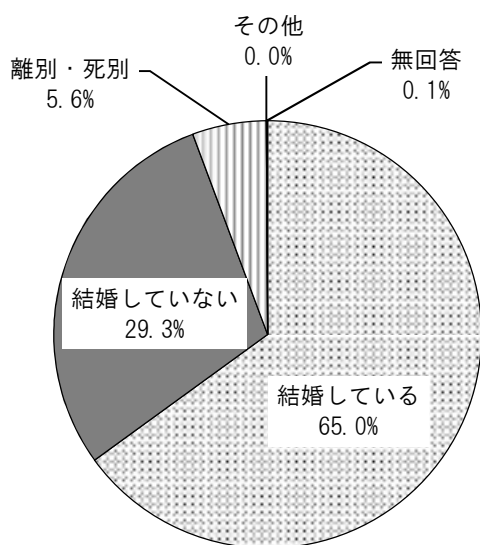
世帯年収は、「500万円台」が13.0%と最も多く、次いで「400万円台」が12.8%、「600万円台」が11.1%となっている。

<婚姻状況について>

22) 婚姻状況

問10 あなたは、現在結婚していますか。(○は1つだけ)

n=1090



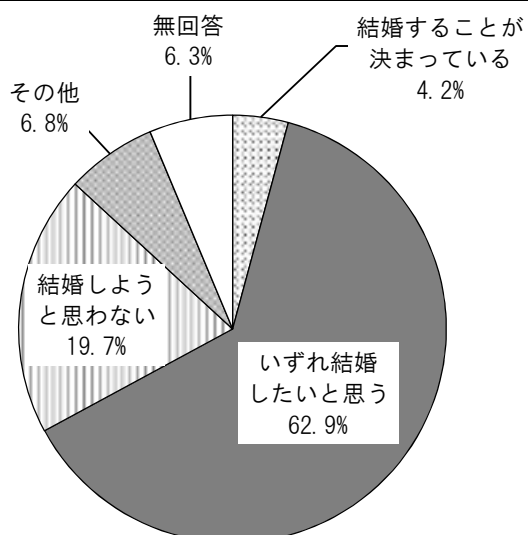
婚姻状況は、「結婚している」が65.0%と最も多く、次いで「結婚していない」が29.3%、「離別・死別」が5.6%などとなっている。

23) 結婚意向

問10で「2～4 結婚していない」と回答した方にお聞きます。

問10-1 あなたは、今後結婚したいと思いますか。(○は1つだけ)

n=380

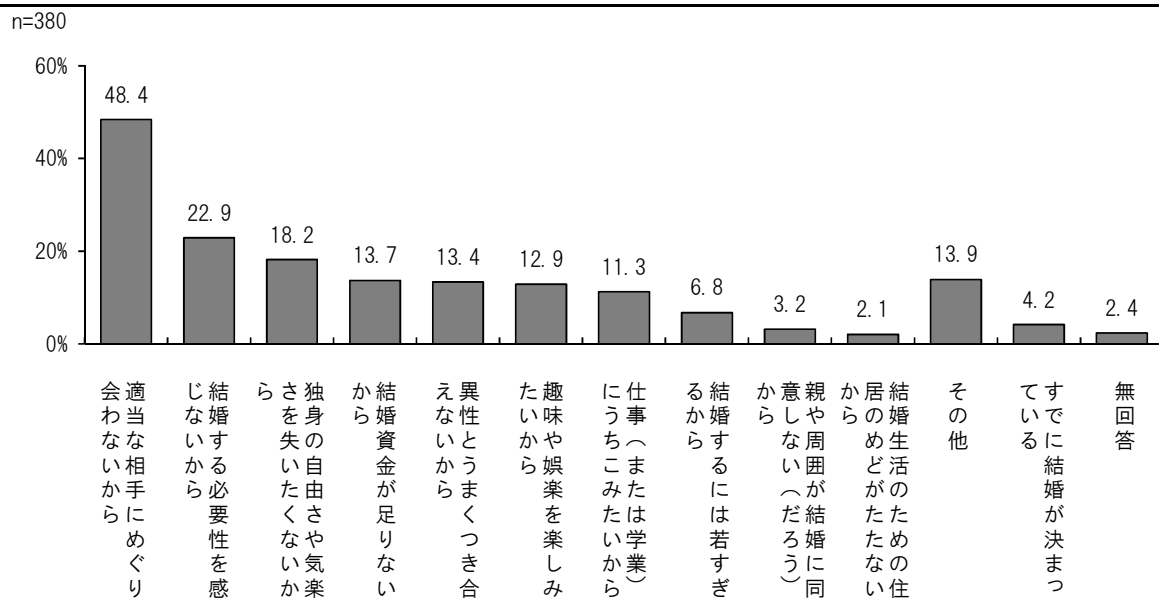


結婚意向は、「いずれ結婚したいと思う」が62.9%と最も多く、次いで「結婚しようと思わない」が19.7%、「結婚することが決まっている」が4.2%などとなっている。

24) 現在独身でいる理由

問10で「2～4 結婚していない」と回答した方にお聞きします。

問10-2 あなたが現在独身でいる理由は何ですか。(〇は3つまで)



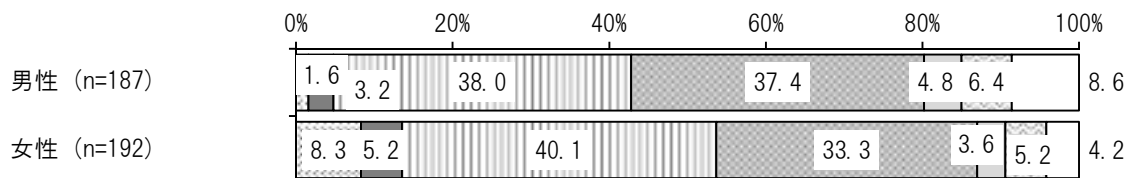
現在独身でいる理由は、「適当な相手にめぐり会わないから」が48.4%と最も多く、次いで「結婚する必要性を感じないから」が22.9%、「独身の自由さや気楽さを失いたくないから」が18.2%などとなっている。

25) 【女性】理想の人生・【男性】パートナーに希望する人生

問10で「2～4 結婚していない」と回答した方にお聞きます。

問 10-3 **女性** あなたの理想とする人生はどのタイプですか。(○は1つだけ)

男性 パートナー(あるいは妻)となる女性にはどのようなタイプの人生を送ってほしいと思いますか。(○は1つだけ)



☐ 結婚せず、仕事を続ける

☒ 結婚はするが子どもは持たず、仕事を続ける

☐ 結婚し、子どもを持つが、仕事も続ける

☐ 結婚し子どもを持つが、結婚あるいは出産の機会に一旦退職し、子育て後に再び仕事を持つ

☐ 結婚し子どもを持ち、結婚あるいは出産の機会に退職し、その後は仕事を持たない

☐ その他

☐ 無回答

男性がパートナー(あるいは妻)となる女性に送ってほしいと思う人生は、「結婚し、子どもを持つが、仕事も続ける」が 38.0%と最も多く、次いで「結婚し子どもを持つが、結婚あるいは出産の機会に一旦退職し、子育て後に再び仕事を持つ」が 37.4%、「結婚し子どもを持ち、結婚あるいは出産の機会に退職し、その後は仕事を持たない」が 4.8%などとなっている。

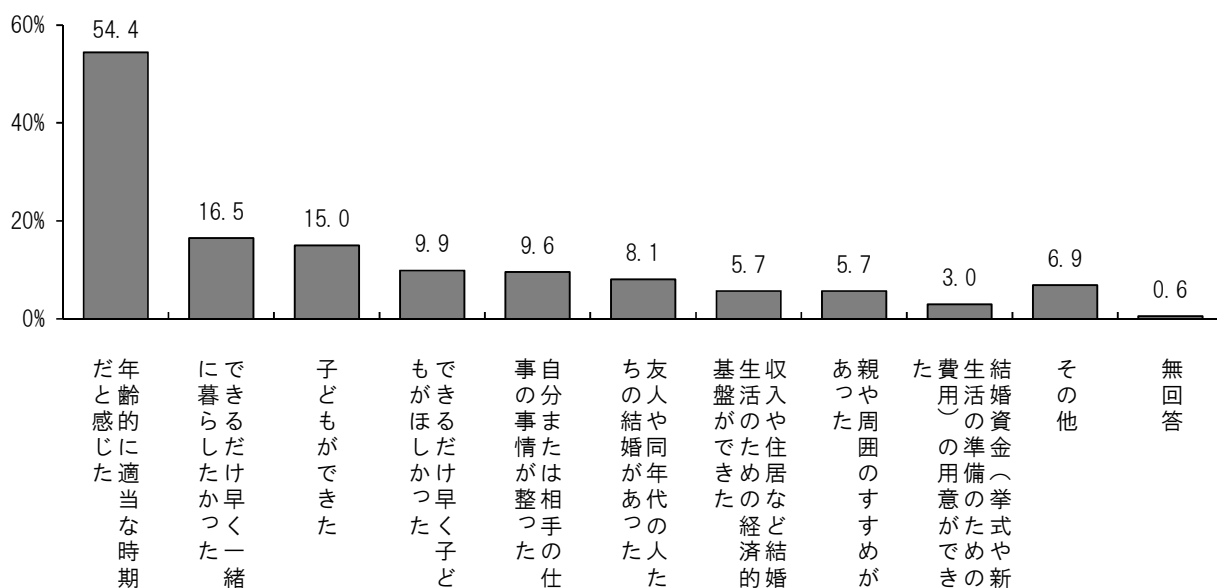
女性が理想とする人生は、「結婚し、子どもを持つが、仕事も続ける」が 40.1%と最も多く、次いで「結婚し子どもを持つが、結婚あるいは出産の機会に一旦退職し、子育て後に再び仕事を持つ」が 33.3%、「結婚せず、仕事を続ける」が 8.3%などとなっている。

26) 結婚を決めた直接のきっかけ

問10で「1 結婚している」と回答した方にお聞きます。

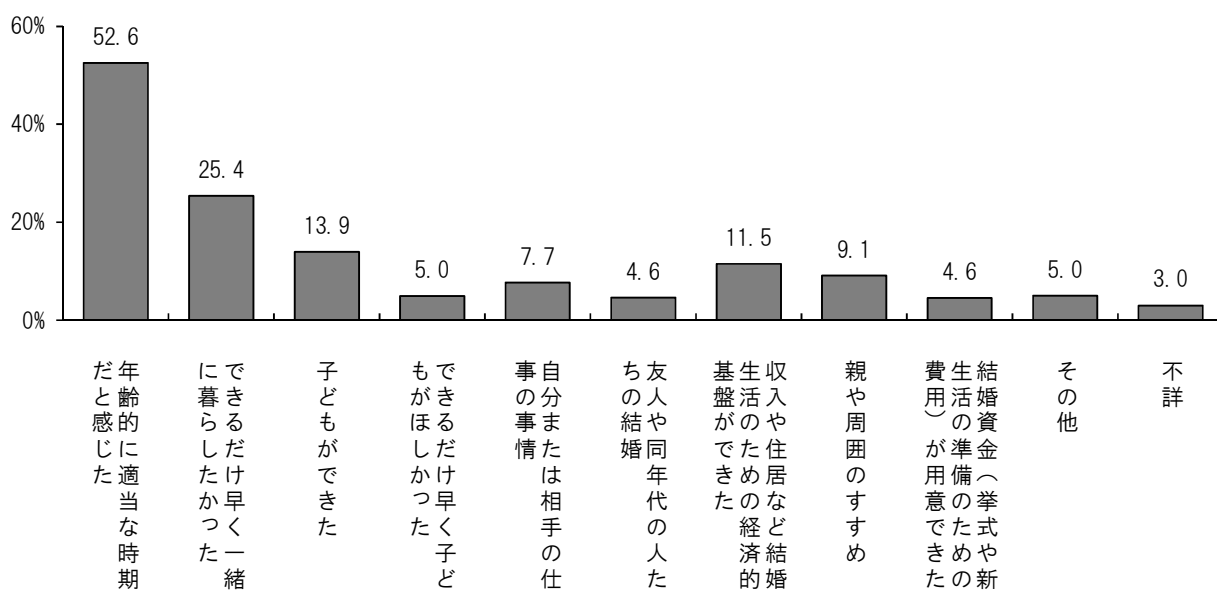
問10-4 あなたが最終的に結婚を決めた時の直接のきっかけは何ですか。(〇は2つまで)

女性 (n=333)



<第14回出生動向基本調査(2010年) 夫婦調査結果>

女性 (n=6705)



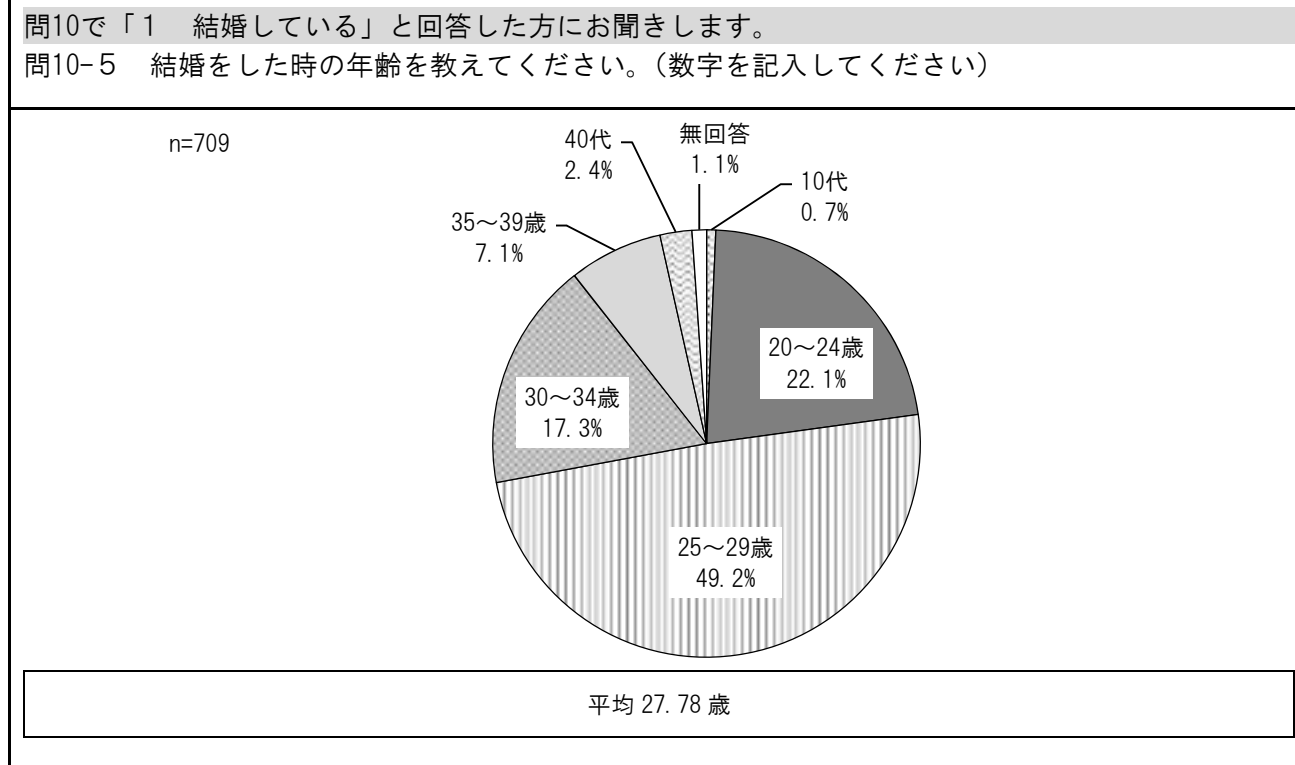
※出生動向基本調査における対象は、50歳未満の既婚女性

結婚を決めた直接のきっかけは、女性で「年齢的に適切な時期だと感じた」が 54.4%と最も多く、次いで「できるだけ早く一緒に暮らしたかった」が 16.5%、「子どもができた」が 15.0% などとなっている。出生動向基本調査結果と比較すると、「できるだけ早く一緒に暮らしたかった」が 8.9 ポイント低くなっている。

全体 (n=709)	%
年齢的に適当な時期だと感じた	54.9
できるだけ早く一緒に暮らしたかった	21.3
子どもができた	14.2
できるだけ早く子どもがほしかった	8.6
自分または相手の仕事の事情が整った	10.6
友人や同年代の人たちの結婚があった	6.5
収入や住居など結婚生活のための経済的基盤ができた	7.5
親や周囲のすすめがあった	6.1
結婚資金（挙式や新生活の準備のための費用）の用意ができた	2.4
その他	5.4
無回答	0.6

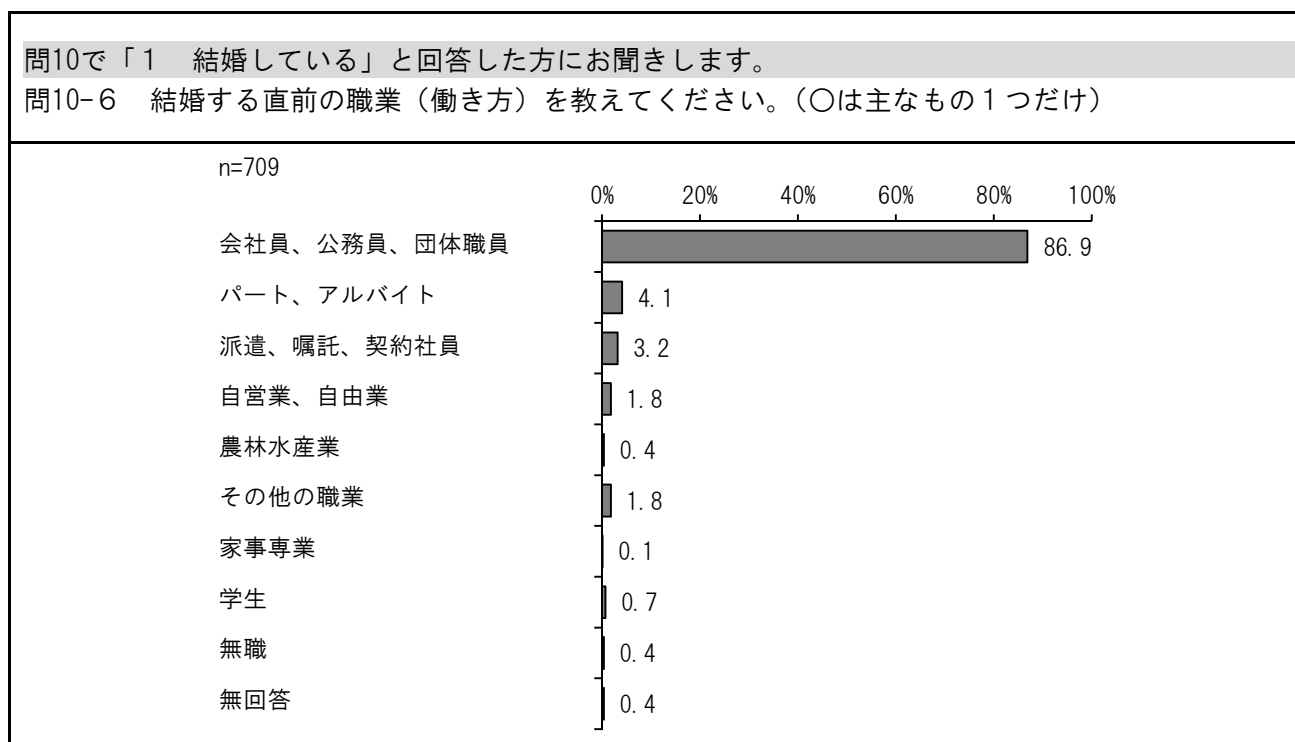
男性 (n=376)	%
年齢的に適当な時期だと感じた	55.3
できるだけ早く一緒に暮らしたかった	25.5
子どもができた	13.6
できるだけ早く子どもがほしかった	7.4
自分または相手の仕事の事情が整った	11.4
友人や同年代の人たちの結婚があった	5.1
収入や住居など結婚生活のための経済的基盤ができた	9.0
親や周囲のすすめがあった	6.4
結婚資金（挙式や新生活の準備のための費用）の用意ができた	1.9
その他	4.0
無回答	0.5

27) 結婚年齢



結婚年齢は、「25～29 歳」が 49.2%と最も多く、次いで「20～24 歳」が 22.1%、「30～34 歳」が 17.3%などとなっている。また、平均は 27.78 歳となっている。

28) 結婚直前の職業



結婚直前の職業は、「会社員、公務員、団体職員」が 86.9%と最も多く、次いで「パート、アルバイト」が 4.1%、「派遣、嘱託、契約社員」が 3.2%などとなっている。

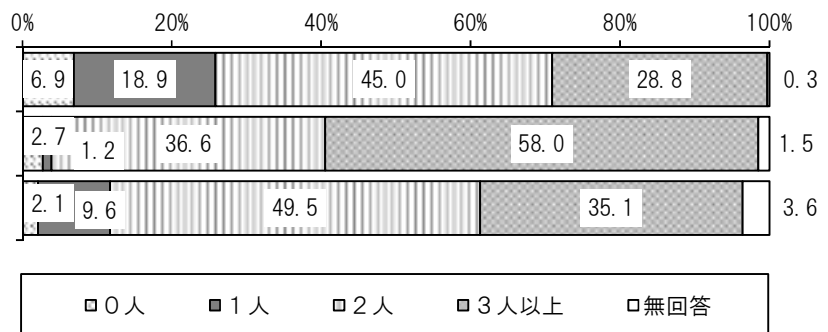
<子ども数について>

29) 子どもの数

問11 子どもは何人位欲しいですか。現在の子どもの数、理想の子どもの数、現実的な子どもの数（今後、現実的に持つつもりの子どもを含める）を教えてください。（それぞれ数字を記入してください）

既婚女性（n=333）

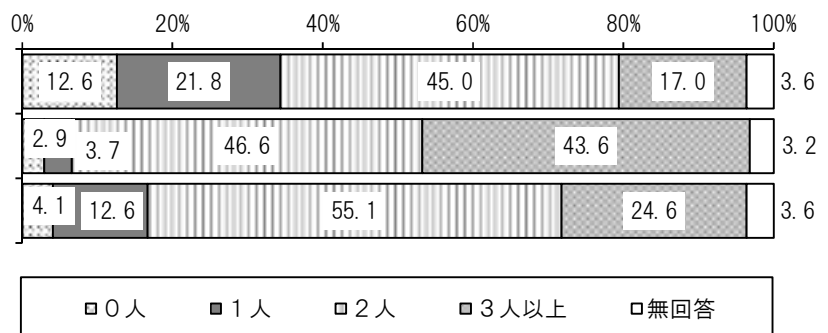
①現在の子どもの数



<第14回出生動向基本調査（2010年） 夫婦調査結果>

n=6705

①現在の子どもの数

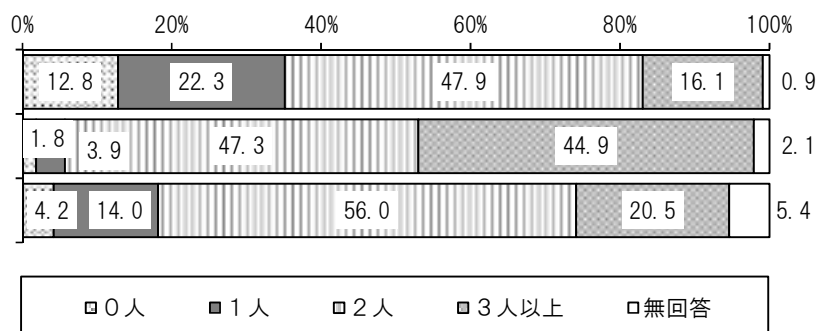


※出生動向基本調査における対象は、50歳未満の既婚女性

<平成26年度少子化対策に関する県民意識調査（2014年） 調査結果>

既婚女性（n=336）

①現在の子どもの数



現在の子どもの数は、既婚女性で「2人」が45.0%と最も多く、次いで「3人以上」が28.8%、「1人」が18.9%などとなっている。

理想の子どもの数は、既婚女性で「3人以上」が58.0%と最も多く、次いで「2人」が36.6%、「0人」が2.7%などとなっている。

現実的な子どもの数は、既婚女性で「2人」が49.5%と最も多く、次いで「3人以上」が35.1%、「1人」が9.6%などとなっている。

出生動向基本調査と比較すると、現在の子どもの数は、「3人以上」が11.8ポイント高くなっている。理想の子どもの数は、「2人」が10ポイント低く、「3人以上」が14.4ポイント高くなっている。現実的な子どもの数（全部で持つつもりの子どもの数）は、「3人以上」が10.5ポイント高くなっている。

県民意識調査と比較すると、現在の子どもの数は、「3人以上」が12.7ポイント高くなっている。理想の子どもの数は、「2人」が10.7ポイント低く、「3人以上」が13.1ポイント高くなっている。現実的な子どもの数（全部で持つつもりの子どもの数）は、「3人以上」が14.6ポイント高くなっている。

①現在の子ども数

全体 (n=1090)	%
0 人	33. 5
1 人	18. 0
2 人	30. 2
3 人以上	15. 6
無回答	2. 8

②理想の子ども数

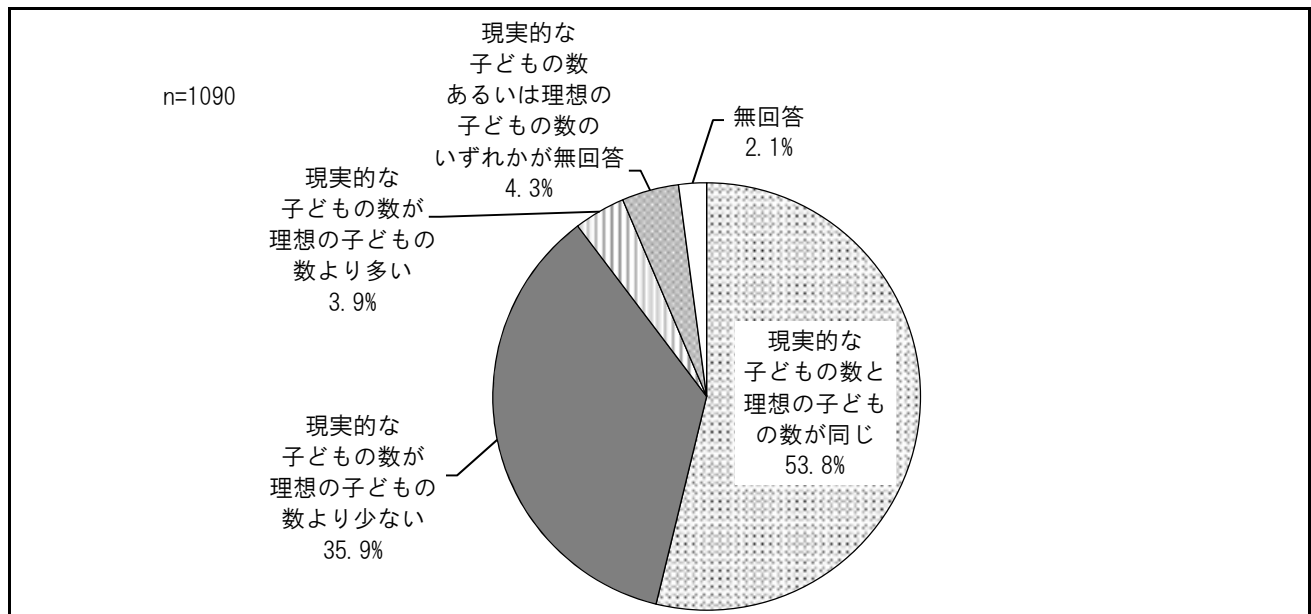
全体 (n=1090)	%
0 人	7. 2
1 人	4. 1
2 人	41. 7
3 人以上	43. 9
無回答	2. 9

③現実的な子ども数

全体 (n=1090)	%
0 人	9. 4
1 人	15. 3
2 人	47. 6
3 人以上	22. 1
無回答	5. 6

①現在の子ども数	平均 1. 31 人
②理想の子ども数	平均 2. 32 人
③現実的な子ども数	平均 1. 90 人

30) 子どもの数の理想と現実



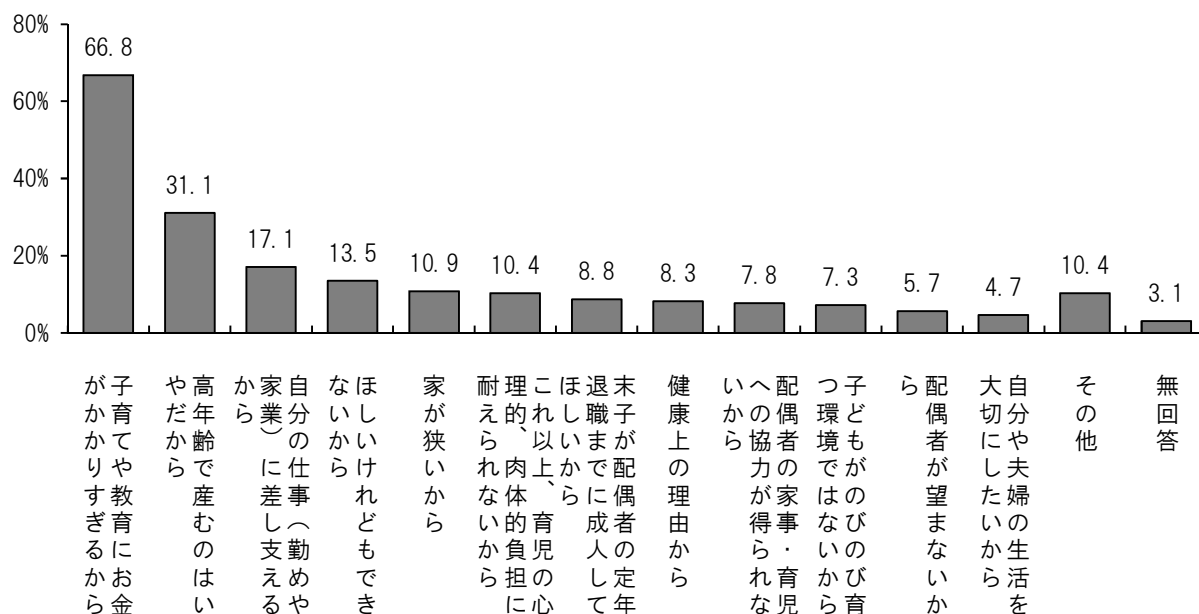
子どもの数の理想と現実は、「現実的な子どもの数と理想の子どもの数が同じ」が 53.8%と最も多く、次いで「現実的な子どもの数が理想の子どもの数より少ない」が 35.9%、「現実的な子どもの数が理想の子どもの数より多い」が 3.9%となっている。

31) 現実的な子どもの数が、理想の子どもの数より少ない理由

問11で②理想の子どもの数よりも③現実的な子どもの数が少ない方にお聞きします。

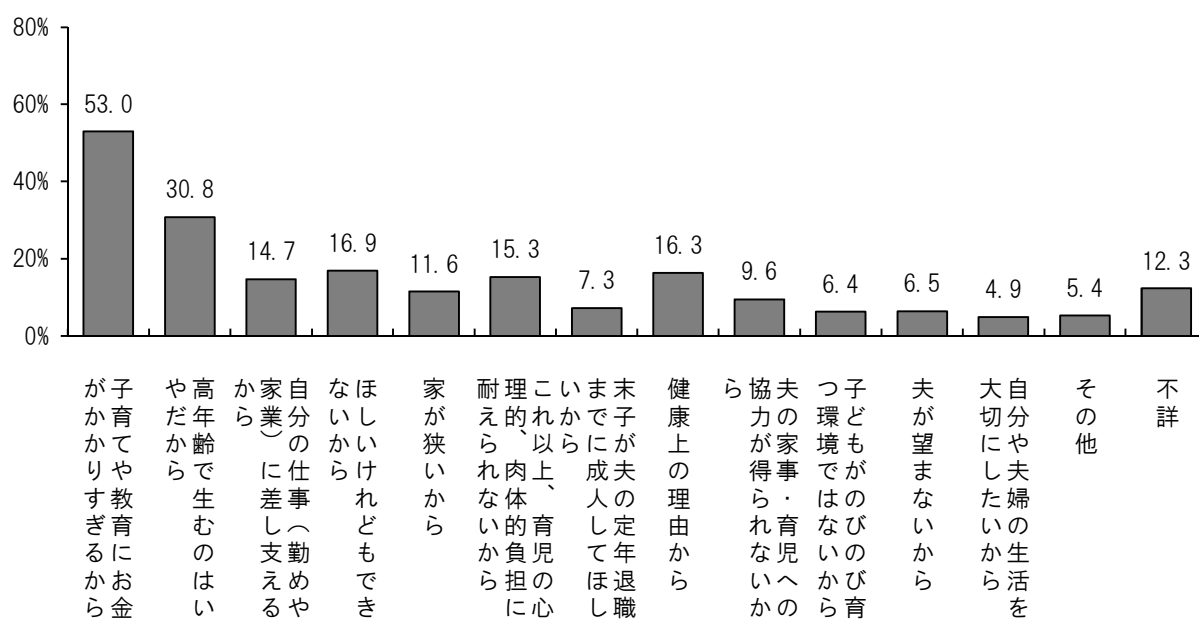
問12 現実的な子どもの数が、理想の子どもの数より少ない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

女性 (n=193)



<第14回出生動向基本調査(2010年) 夫婦調査結果>

女性 (n=2093)



※出生動向基本調査における対象は、予定子ども数が理想子ども数を下回る50歳未満の既婚女性

現実的な子どもの数が、理想の子どもの数より少ない理由は、女性で「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が66.8%と最も多く、次いで「高年齢で産むのはいやだから」が31.1%、「自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから」が17.1%などとなっている。

出生動向基本調査結果と比較すると、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が13.8ポイント高くなっている。

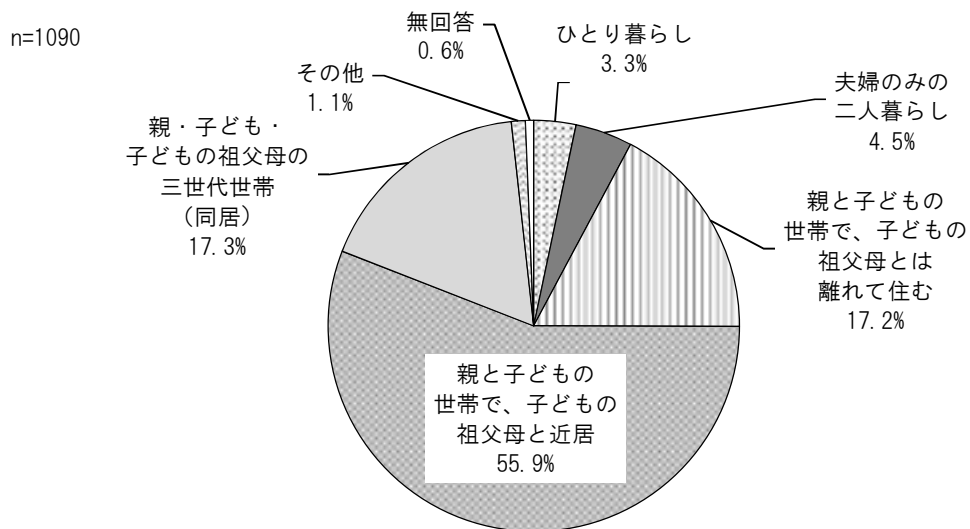
全体 (n=391)	%
子育てや教育にお金がかかりすぎるから	70.3
高年齢で産むのはいやだから	24.8
自分の仕事（勤めや家業）に差し支えるから	15.1
ほしいけれどもできないから	13.0
家が狭いから	11.5
これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから	10.5
末子が配偶者の定年退職までに成人してほしいから	6.4
健康上の理由から	8.7
配偶者の家事・育児への協力が得られないから	4.3
子どもがのびのび育つ環境ではないから	6.4
配偶者が望まないから	5.4
自分や夫婦の生活を大切にしたいから	5.9
その他	8.4
無回答	2.3

男性 (n=198)	%
子育てや教育にお金がかかりすぎるから	73.7
高年齢で産むのはいやだから	18.7
自分の仕事（勤めや家業）に差し支えるから	13.1
ほしいけれどもできないから	12.6
家が狭いから	12.1
これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから	10.6
末子が配偶者の定年退職までに成人してほしいから	4.0
健康上の理由から	9.1
配偶者の家事・育児への協力が得られないから	1.0
子どもがのびのび育つ環境ではないから	5.6
配偶者が望まないから	5.1
自分や夫婦の生活を大切にしたいから	7.1
その他	6.6
無回答	1.5

<居住環境等について>

32) 理想の家族形態

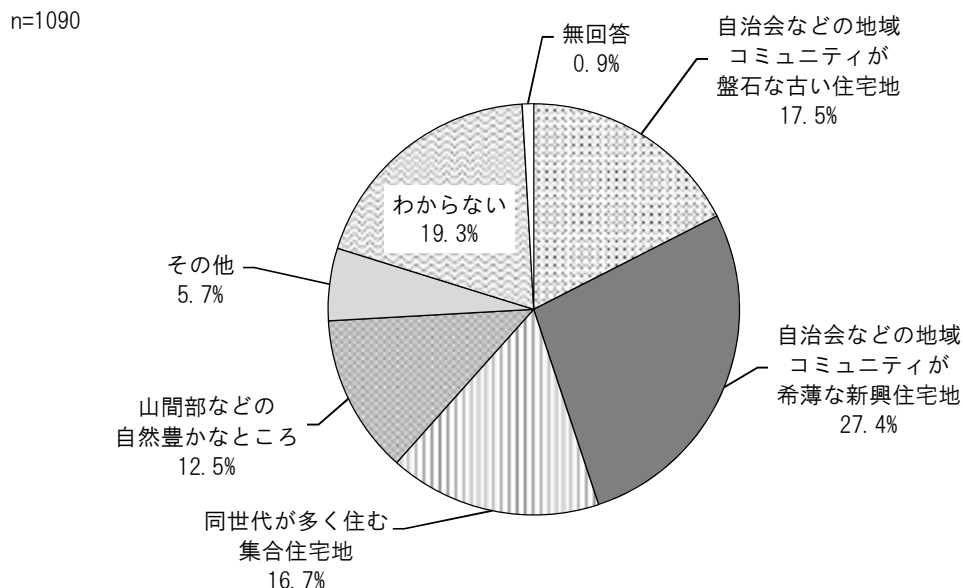
問13 理想の家族形態を教えてください。(○は1つだけ)



理想の家族形態は、「親と子どもの世帯で、子どもの祖父母と近居」が55.9%と最も多く、次いで「親・子ども・子どもの祖父母の三世帯世帯（同居）」が17.3%、「親と子どもの世帯で、子どもの祖父母とは離れて住む」が17.2%などとなっている。

33) 理想の住まいの場所

問14 理想の住まいの場所を教えてください。(○は1つだけ)



理想の住まいの場所は、「自治会などの地域コミュニティが希薄な新興住宅地」が27.4%と最も多く、次いで「自治会などの地域コミュニティが盤石な古い住宅地」が17.5%、「同世代が多く住む集合住宅地」が16.7%などとなっている。

34) 住居を住み替える際、重要だと思う居住環境要素

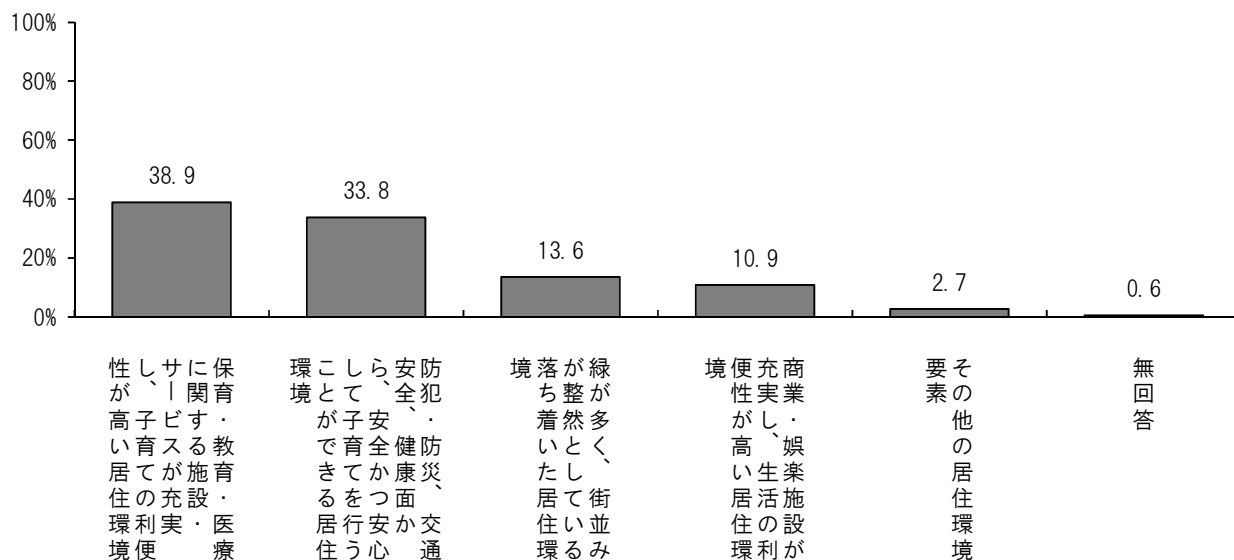
問15 住居を住み替える際、土地や建物以外の居住環境において、どんな要素が重要だと思いますか。
重要だと思う順に順位をつけてください。

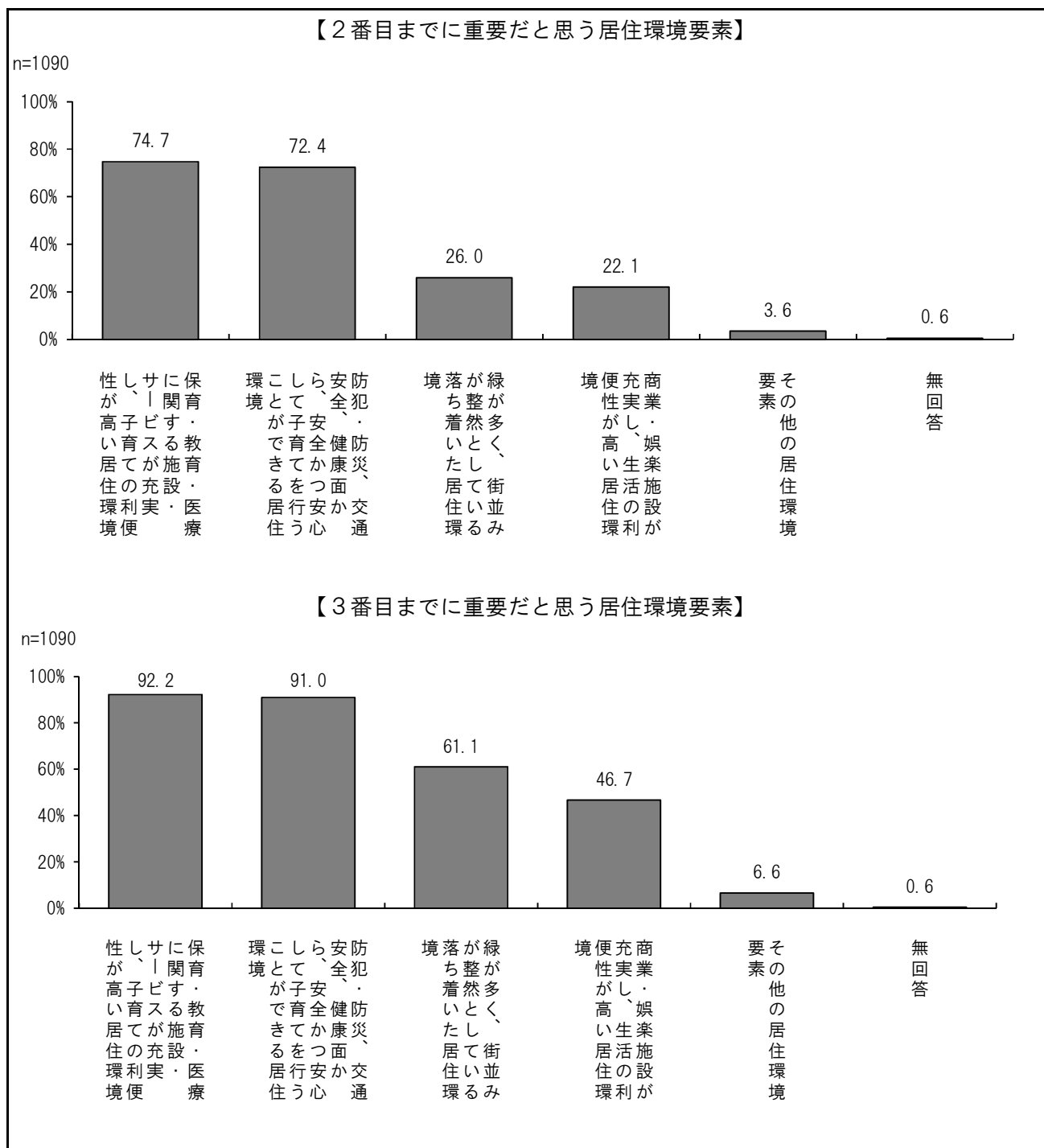
(一番重要だと思うものを1位として、重要な順に5位まで数字で記入してください。)

※居住環境とは、小学校区規模の日常生活圏の環境を指します(住宅内の要素(住宅の広さや間取り等)を除く)。

【最も重要だと思う居住環境要素】

n=1090



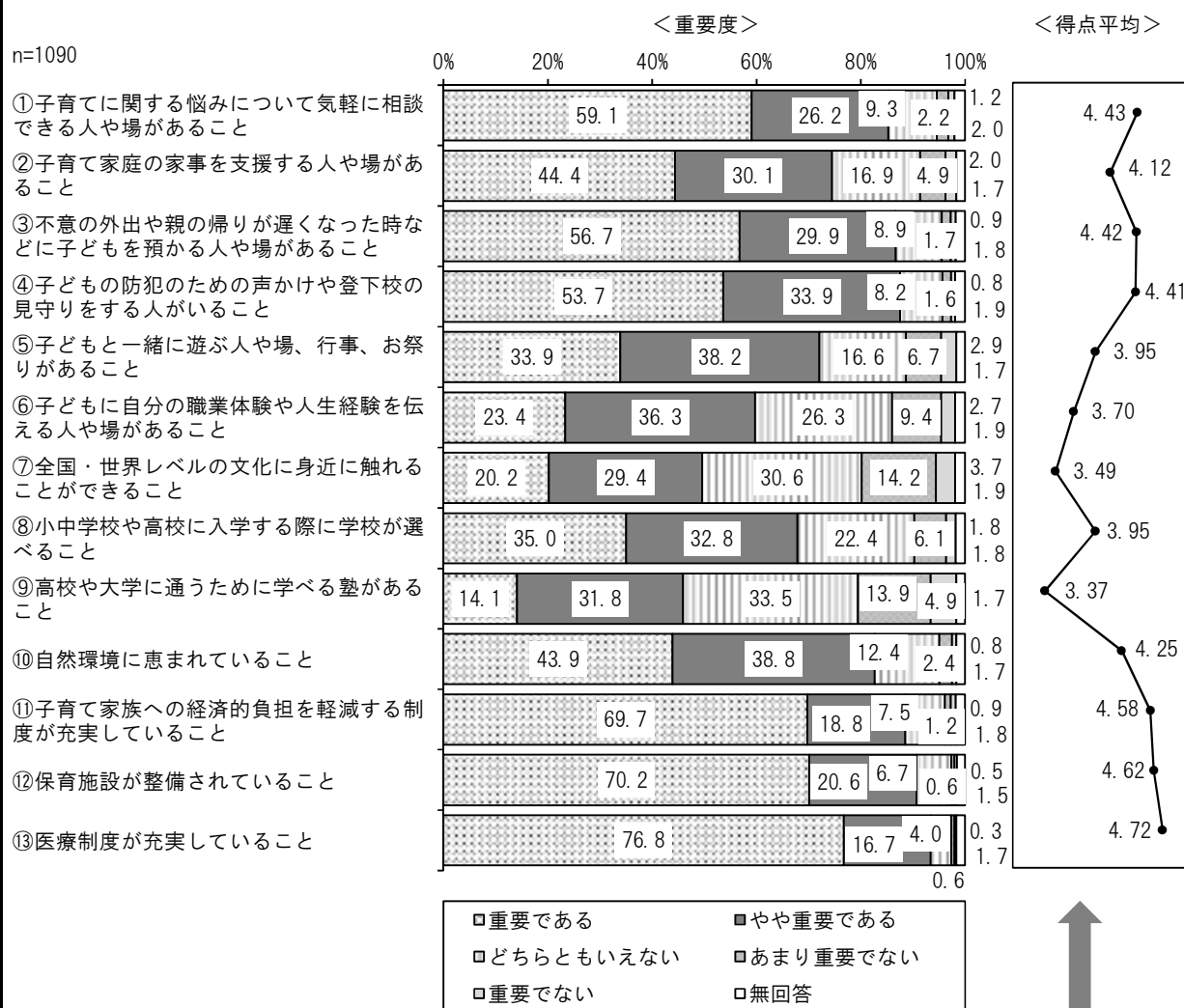


住居を住み替える際、最も重要だと思う居住環境要素は、「保育・教育・医療に関する施設・サービスが充実し、子育ての利便性が高い居住環境」が 38.9%と最も多く、次いで「防犯・防災、交通安全、健康面から、安全かつ安心して子育てを行うことができる居住環境」が 33.8%、「緑が多く、街並みが整然としている落ち着いた居住環境」が 13.6%などとなっている。

<子育て支援について>

35) 地域における子育て支援を支えるために必要なことの重要度

問16 少子化対策を進めるには、地域全体での子育て支援が必要だと言われています。あなたは、地域で子育てを支えるために、どんなことが重要だと思いますか。また、どんなことに満足していますか。
(〇はそれぞれ1つずつ)



<加点方法>

重要である (5点)

やや重要である (4点)

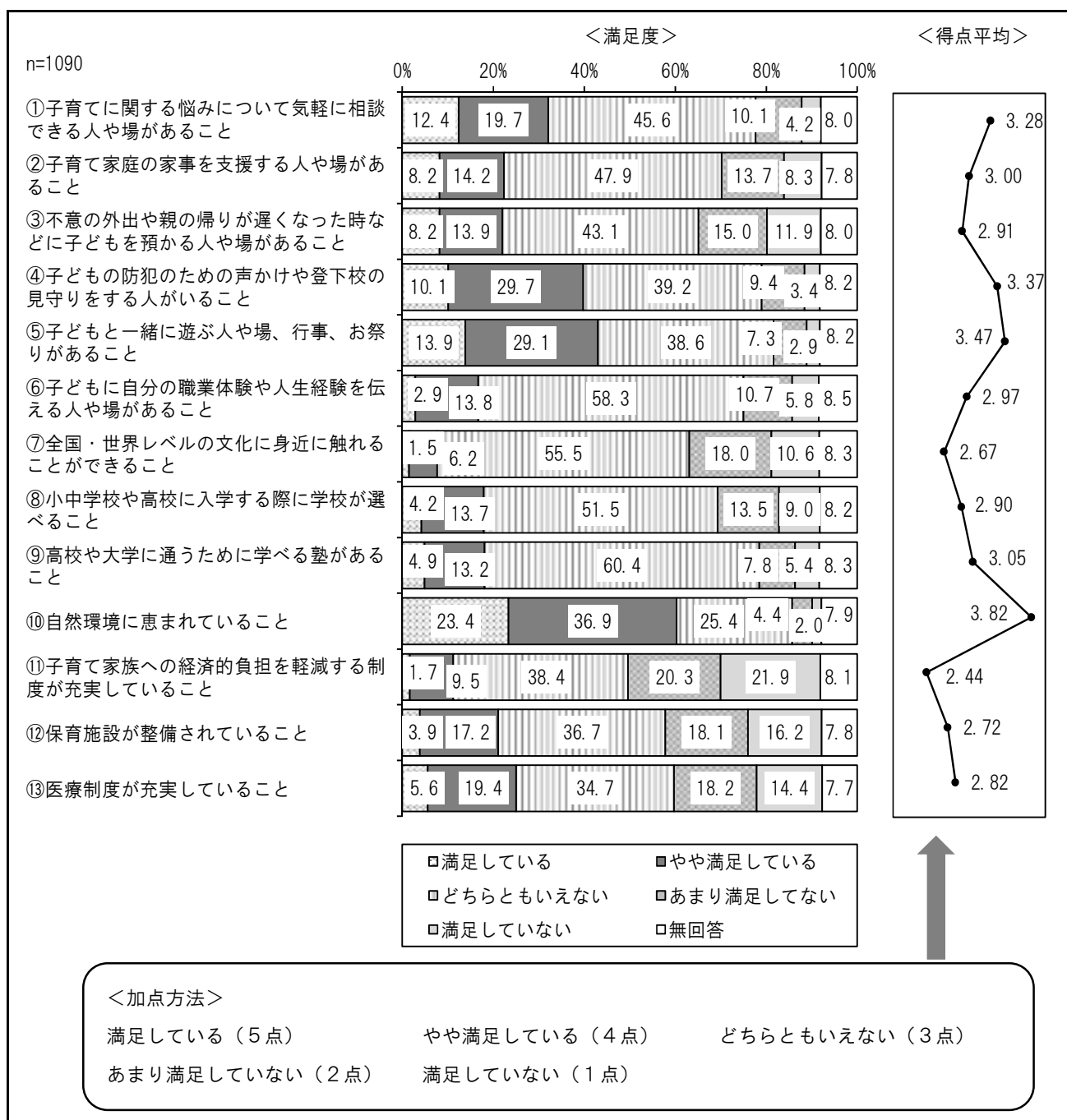
どちらともいえない (3点)

あまり重要でない (2点)

重要でない (1点)

『⑫保育施設が整備されていること』と『⑬医療制度が充実していること』において、「重要である」が7割を超えている。また、「重要である」に5点、「やや重要である」に4点、「どちらともいえない」に3点、「あまり重要でない」に2点、「重要でない」に1点を加点し平均点を出したところ、『⑬医療制度が充実していること』の4.72点などが高くなっている。

36) 地域における子育て支援を支えるために必要なことの満足度



『⑪子育て家族への経済的負担を軽減する制度が充実していること』において、「満足していない」が21.9%と2割を超えている。

また、「満足している」に5点、「やや満足している」に4点、「どちらともいえない」に3点、「あまり満足していない」に2点、「満足していない」に1点を加点し平均点を出したところ、『⑪子育て家族への経済的負担を軽減する制度が充実していること』の2.44点などが低くなっている。

順位表

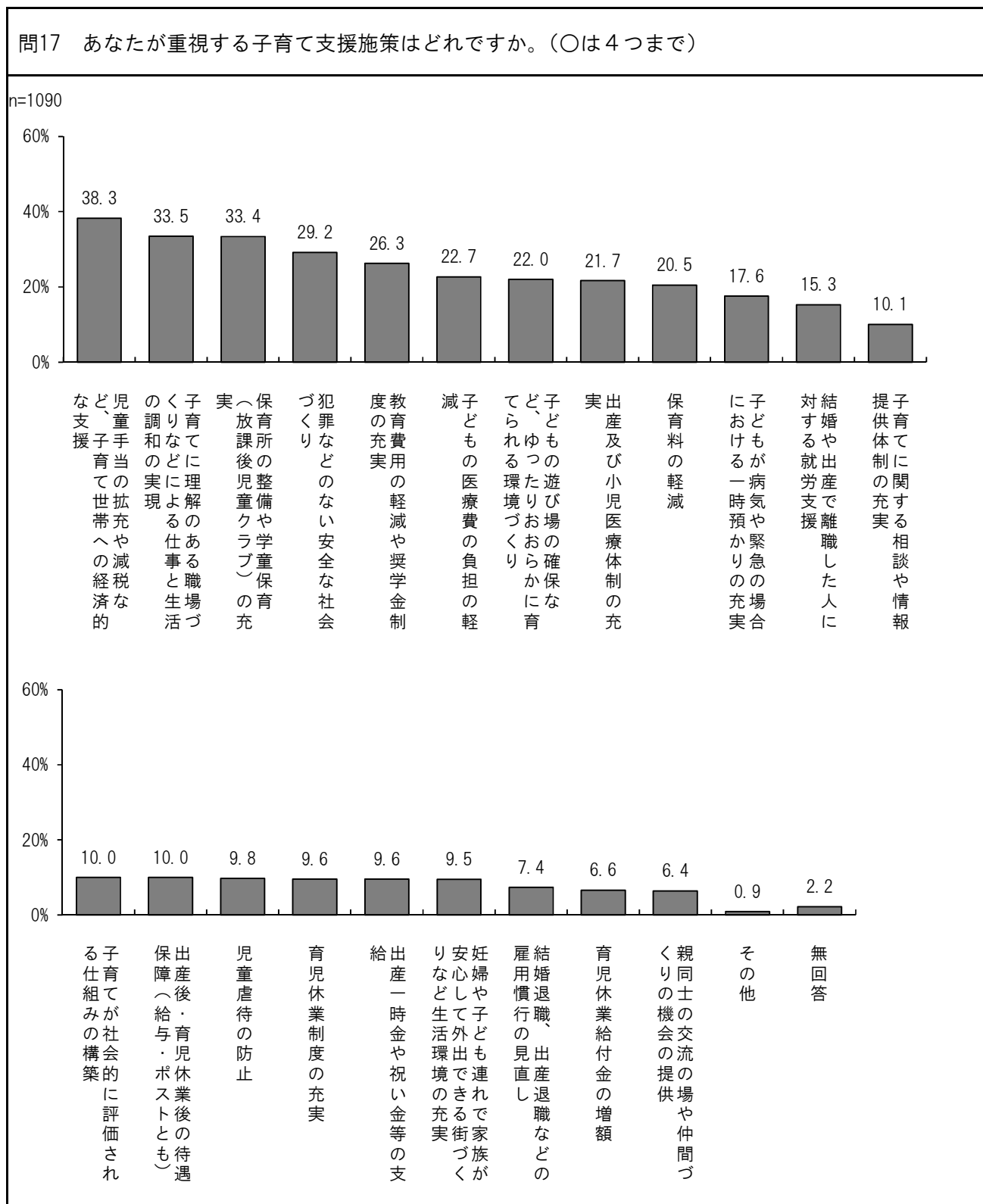
順位	重要度 上位5項目			満足度 上位5項目		
1	⑬	医療制度が充実していること	76.8%	⑩	自然環境に恵まれていること	23.4%
2	⑫	保育施設が整備されていること	70.2%	⑤	子どもと一緒に遊ぶ人や場、行事、お祭りがあること	13.9%
3	⑪	子育て家族への経済的負担を軽減する制度が充実していること	69.7%	①	子育てに関する悩みについて気軽に相談できる人や場があること	12.4%
4	①	子育てに関する悩みについて気軽に相談できる人や場があること	59.1%	④	子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りをする人がいること	10.1%
5	③	不意の外出や親の帰りが遅くなった時などに子どもを預かる人や場があること	56.7%	②	子育て家庭の家事を支援する人や場があること	8.2%
				③	不意の外出や親の帰りが遅くなった時などに子どもを預かる人や場があること	8.2%

順位	重要度 下位5項目			満足度 下位5項目		
1	⑨	高校や大学に通うために学べる塾があること	14.1%	⑦	全国・世界レベルの文化に身近に触れることができること	1.5%
2	⑦	全国・世界レベルの文化に身近に触れることができること	20.2%	⑪	子育て家族への経済的負担を軽減する制度が充実していること	1.7%
3	⑥	子どもに自分の職業体験や人生経験を伝える人や場があること	23.4%	⑥	子どもに自分の職業体験や人生経験を伝える人や場があること	2.9%
4	⑤	子どもと一緒に遊ぶ人や場、行事、お祭りがあること	33.9%	⑫	保育施設が整備されていること	3.9%
5	⑧	小中学校や高校に入学する際に学校が選べること	35.0%	⑧	小中学校や高校に入学する際に学校が選べること	4.2%

重要度の上位は、1位が『⑬医療制度が充実していること』(76.8%)、2位が『⑫保育施設が整備されていること』(70.2%)、3位が『⑪子育て家族への経済的負担を軽減する制度が充実していること』(69.7%) などとなっている。一方、重要度の下位は、1位が『⑨高校や大学に通うために学べる塾があること』(14.1%)、2位が『⑦全国・世界レベルの文化に身近に触れることができること』(20.2%)、3位が『⑥子どもに自分の職業体験や人生経験を伝える人や場があること』(23.4%) などとなっている。

満足度の上位は、1位が『⑩自然環境に恵まれていること』(23.4%)、2位が『⑤子どもと一緒に遊ぶ人や場、行事、お祭りがあること』(13.9%)、3位が『①子育てに関する悩みについて気軽に相談できる人や場があること』(12.4%) などとなっている。一方、満足度の下位は、1位が『⑦全国・世界レベルの文化に身近に触れることができること』(1.5%)、2位が『⑪子育て家族への経済的負担を軽減する制度が充実していること』(1.7%)、3位が『⑥子どもに自分の職業体験や人生経験を伝える人や場があること』(2.9%) などとなっている。

37) 重視する子育て支援施策



重視する子育て支援施策は、「児童手当の拡充や減税など、子育て世帯への経済的な支援」が38.3%と最も多く、次いで「子育てに理解のある職場づくりなどによる仕事と生活の調和の実現」が33.5%、「保育所の整備や学童保育(放課後児童クラブ)の充実」が33.4%などとなっている。

第2章

「子育てと仕事の両立環境整備事業」に かかるアンケート調査結果

1 調査の概要

1) 調査の目的

この調査は、子育てと仕事が両立しやすい職場づくりをより一層推進するため、「子育てと仕事の両立環境整備事業」を実施するにあたり、その基礎資料とすることを目的とする。

2) 調査項目

- ・企業は両立に取り組むべきかについて
- ・両立への取り組み状況について
- ・企業に必要な両立支援の取り組みについて
- ・両立支援のために希望する掛川市（行政）の取り組みについて
- ・事業所内保育施設の設置意向について
- ・少子化問題や結婚、妊娠・出産、仕事と子育ての両立支援について（自由意見）

3) 調査の設計

- ・調査対象：「子育てと仕事の両立環境整備事業」の対象事業所
- ・調査方法：郵送配布・郵送回収
- ・調査期間：平成 27 年 6 月 11 日～平成 27 年 7 月 9 日
- ・発 送 数：102 通

4) 回収状況

対象事業所数	有効回収数	有効回収率
102 社	66 社	64.7%

*有効回収数：回収票から全く回答がないもの（白票）を除いた数

◎ 報告書を見る際の注意事項

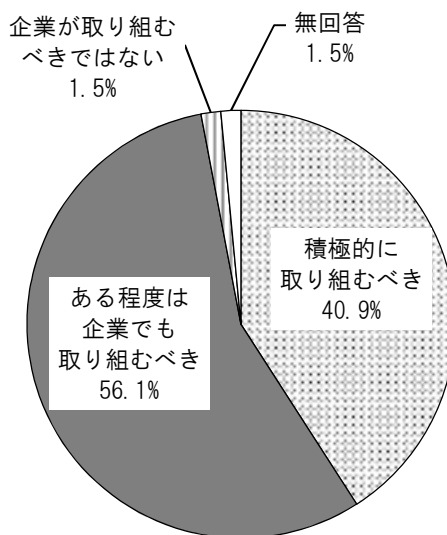
- (1) 回答は各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（％）で示してある。
- (2) 百分率は小数点以下第 2 位を四捨五入して算出した。このため、百分率の合計が 100%にならないことがある。
- (3) 1 つの質問に 2 つ以上答えられる“複数回答可能”の場合は、回答比率の合計が 100%を超える場合がある。

2 調査結果

1) 企業は両立に取り組むべきか

問1 子育てと仕事の両立について、企業は取り組むべきだと思いますか。(〇は1つ)

n=66



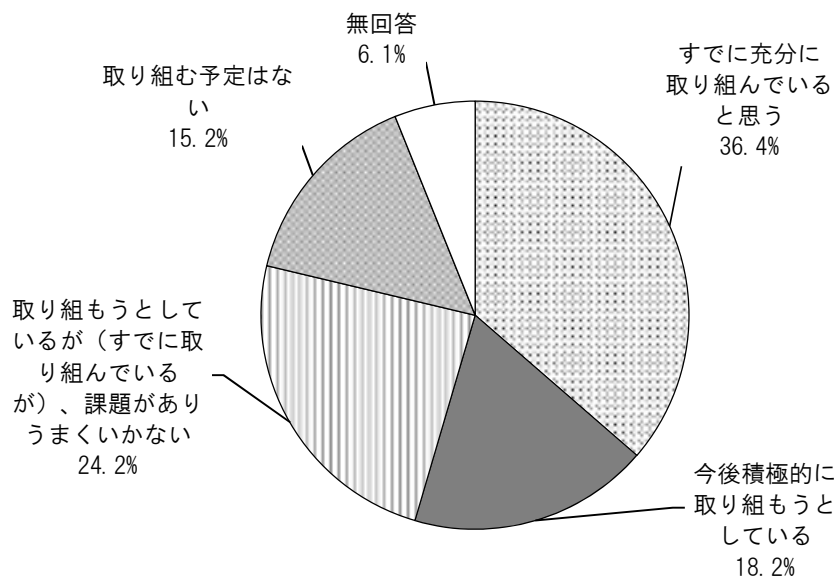
全体	66 社
積極的に取り組むべき	27 社
ある程度は企業でも取り組むべき	37 社
企業が取り組むべきではない	1 社
無回答	1 社

企業は両立に取り組むべきかについては、「ある程度は企業でも取り組むべき」が 56.1%と最も多く、次いで「積極的に取り組むべき」が 40.9%、「企業が取り組むべきではない」が 1.5%となっている。「積極的に取り組むべき」と「ある程度は企業でも取り組むべき」を合わせた『企業は取り組むべき』は 97.0%で、9割を超えている。

2) 両立への取り組み状況

問2 貴社の子育てと仕事の両立への取り組み状況を教えてください。(○は1つ)

n=66

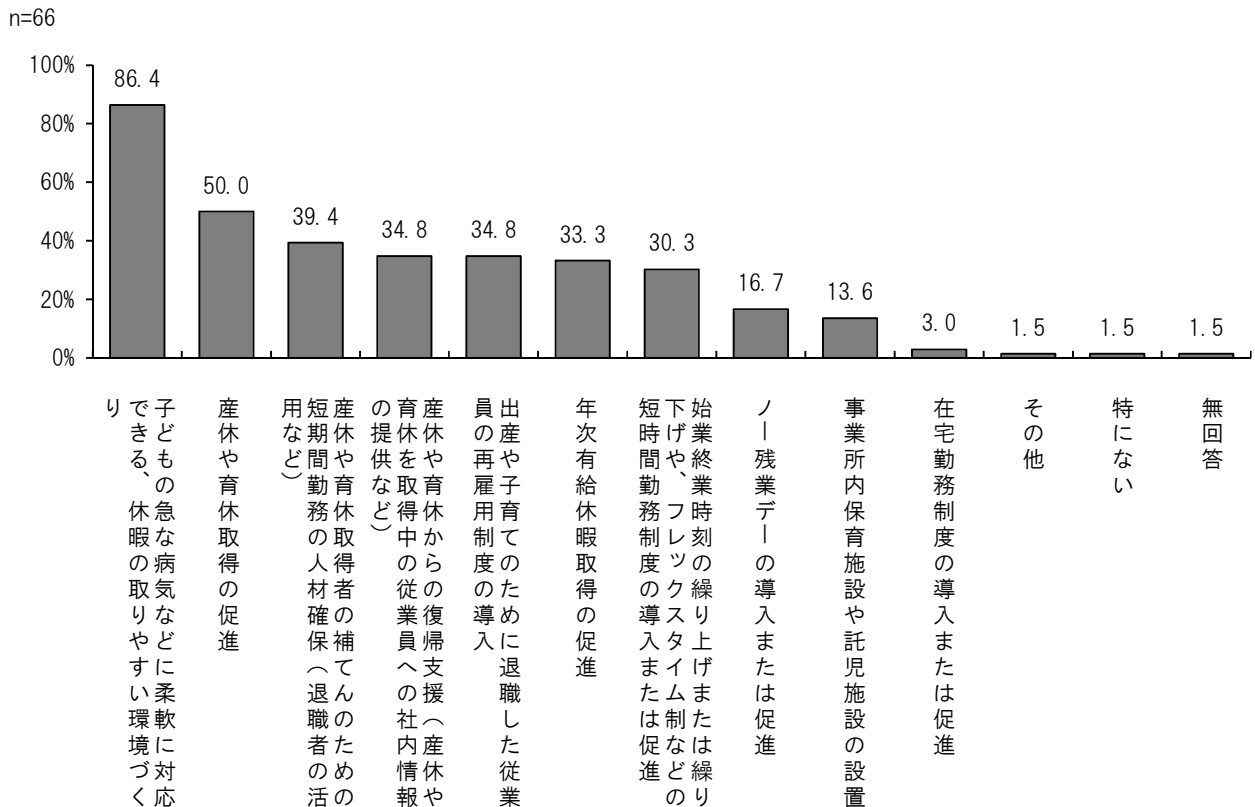


全体	66 社
すでに充分に取り組んでいると思う	24 社
今後積極的に取り組もうとしている	12 社
取り組もうとしているが(すでに取り組んでいるが)、課題がありうまくいかない	16 社
取り組む予定はない	10 社
無回答	4 社

両立への取り組み状況は、「すでに充分に取り組んでいると思う」が36.4%と最も多く、次いで「取り組もうとしているが(すでに取り組んでいるが)、課題がありうまくいかない」が24.2%、「今後積極的に取り組もうとしている」が18.2%、「取り組む予定はない」が15.2%となっている。

3) 企業に必要な両立支援の取り組み

問3 両立支援として企業にとって必要だと思う取り組みは何ですか。(〇はいくつでも)

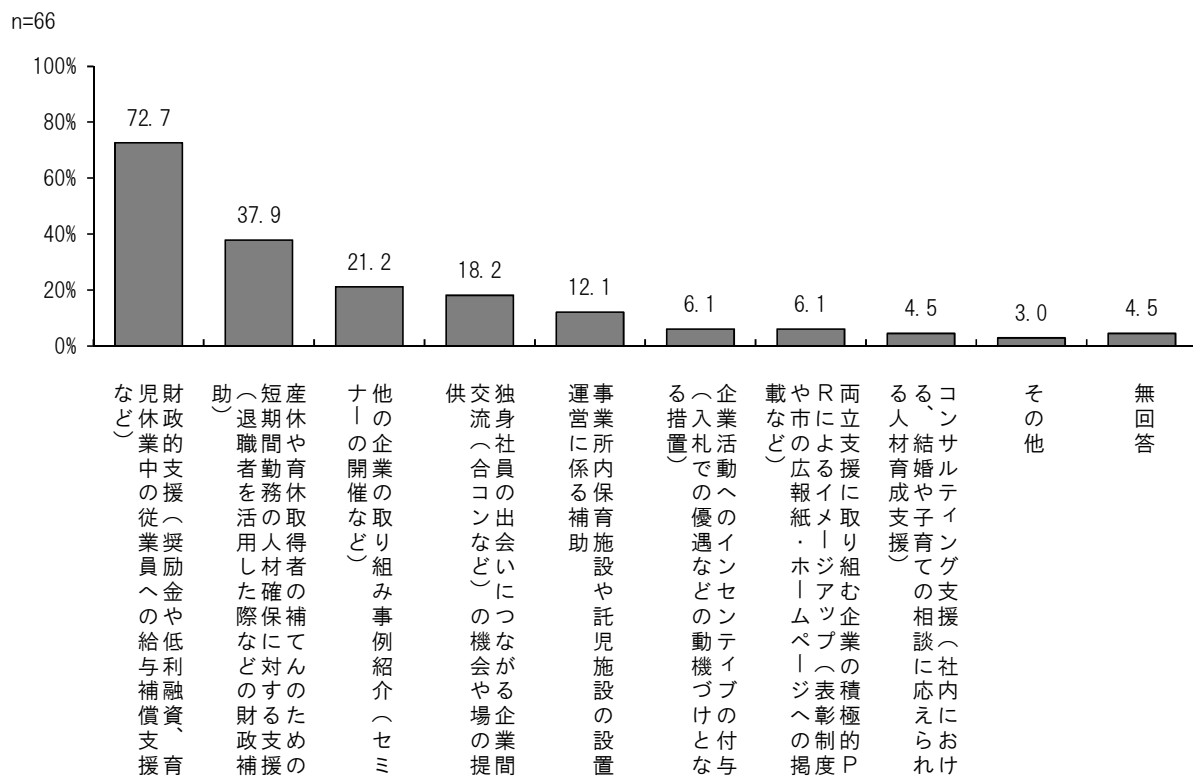


全体	66 社
子どもの急な病気などに柔軟に対応できる、休暇の取りやすい環境づくり	57 社
産休や育休取得の促進	33 社
産休や育休取得者の補てんのための短期間勤務の人材確保 (退職者の活用など)	26 社
産休や育休からの復帰支援 (産休や育休を取得中の従業員への社内情報の提供など)	23 社
出産や子育てのために退職した従業員の再雇用制度の導入	23 社
年次有給休暇取得の促進	22 社
始業終業時刻の繰り上げまたは繰り下げや、フレックスタイム制などの短時間勤務制度の導入または促進	20 社
ノー残業デーの導入または促進	11 社
事業所内保育施設や託児施設の設置	9 社
在宅勤務制度の導入または促進	2 社
その他	1 社
特にない	1 社
無回答	1 社

企業に必要な両立支援の取り組みは、「子どもの急な病気などに柔軟に対応できる、休暇の取りやすい環境づくり」が86.4%と最も多く、次いで「産休や育休取得の促進」が50.0%、「産休や育休取得者の補てんのための短期間勤務の人材確保 (退職者の活用など)」が39.4%などとなっている。

4) 両立支援のために希望する掛川市（行政）の取り組み

問4 両立支援のために掛川市（行政）に取り組んでもらいたいことは何ですか。（〇はいくつでも）

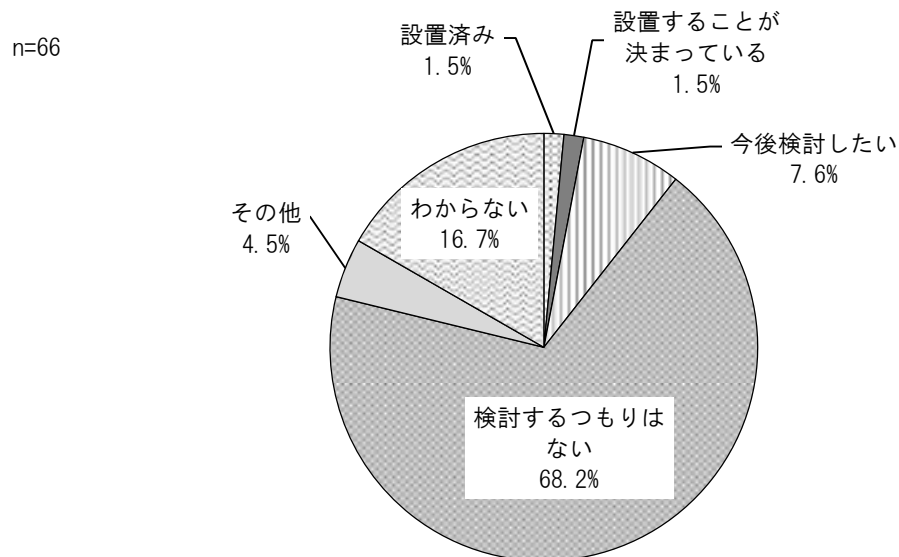


全体	66 社
財政的支援（奨励金や低利融資、育児休業中の従業員への給与補償支援など）	48 社
産休や育休取得者の補てんのための短期間勤務の人材確保に対する支援（退職者を活用した際などの財政補助）	25 社
他の企業の取り組み事例紹介（セミナーの開催など）	14 社
独身社員の出会につながる企業間交流（合コンなど）の機会や場の提供	12 社
事業所内保育施設や託児施設の設置運営に係る補助	8 社
企業活動へのインセンティブの付与（入札での優遇などの動機づけとなる措置）	4 社
両立支援に取り組む企業の積極的PRによるイメージアップ（表彰制度や市の広報紙・ホームページへの掲載など）	4 社
コンサルティング支援（社内における、結婚や子育ての相談に応えられる人材育成支援）	3 社
その他	2 社
無回答	3 社

両立支援のために希望する掛川市（行政）の取り組みは、「財政的支援（奨励金や低利融資、育児休業中の従業員への給与補償支援など）」が72.7%と最も多く、次いで「産休や育休取得者の補てんのための短期間勤務の人材確保に対する支援（退職者を活用した際などの財政補助）」が37.9%、「他の企業の取り組み事例紹介（セミナーの開催など）」が21.2%などとなっている。

5) 事業所内保育施設の設置意向

問5 事業所内保育施設の設置について、今後検討する意向はありますか。(〇は1つ)



全体	66 社
設置済み	1 社
設置することが決まっている	1 社
今後検討したい	5 社
検討するつもりはない	45 社
その他	3 社
わからない	11 社

事業所内保育施設の設置意向は、「検討するつもりはない」が68.2%と最も多く、次いで「今後検討したい」が7.6%、「設置済み」、「設置することが決まっている」がともに1.5%などとなっている。